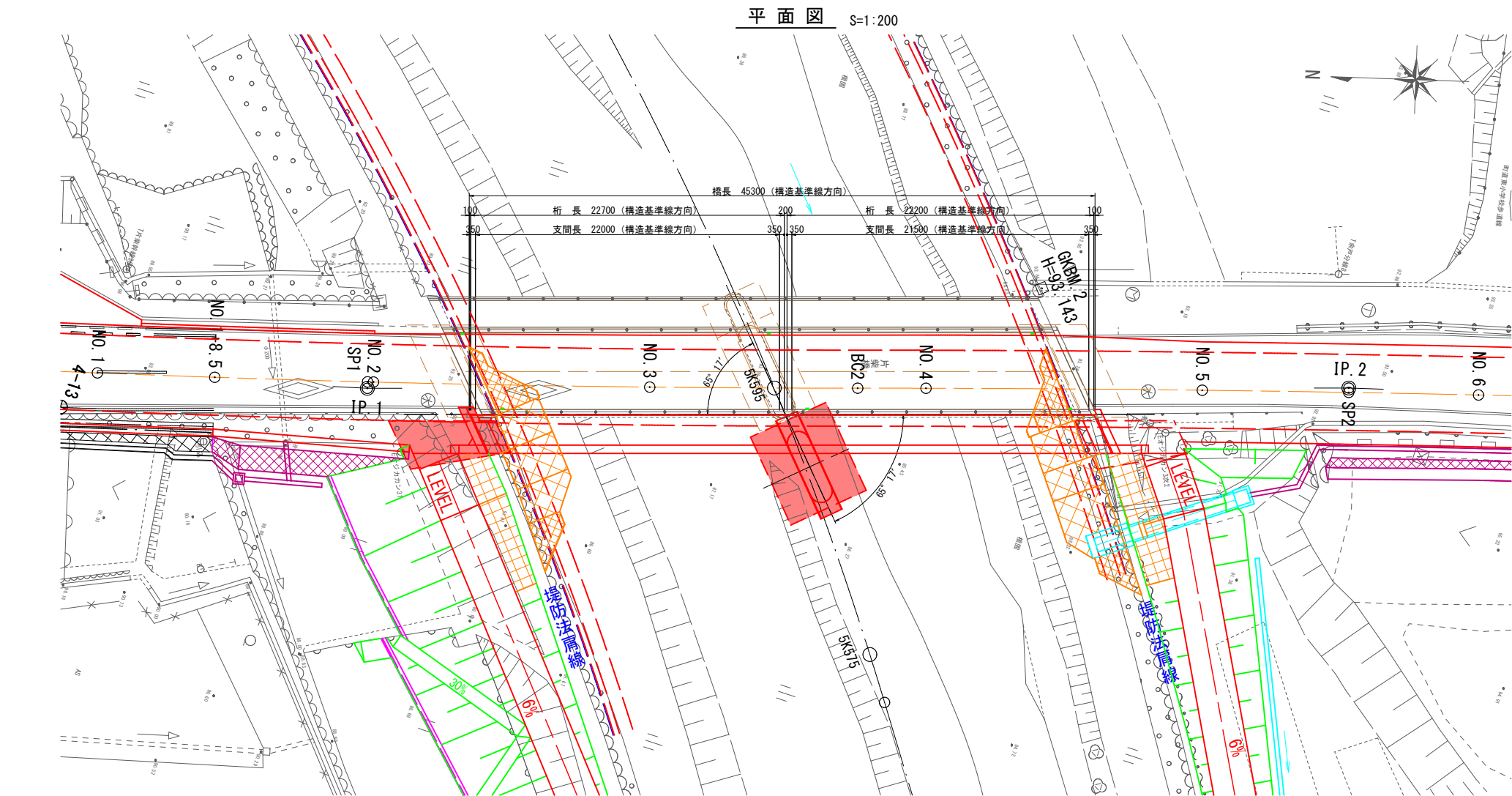
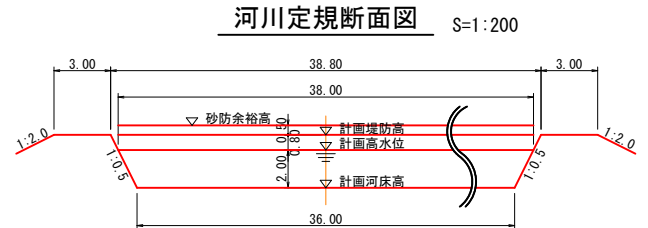
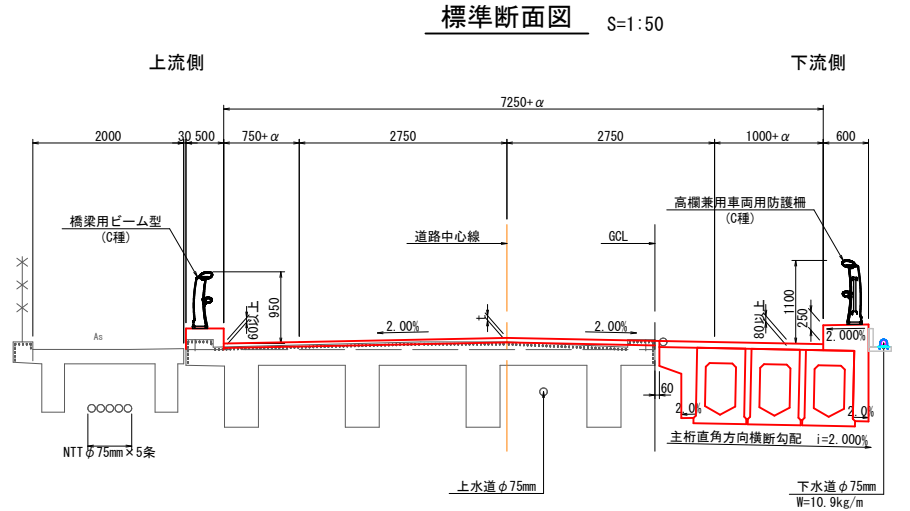
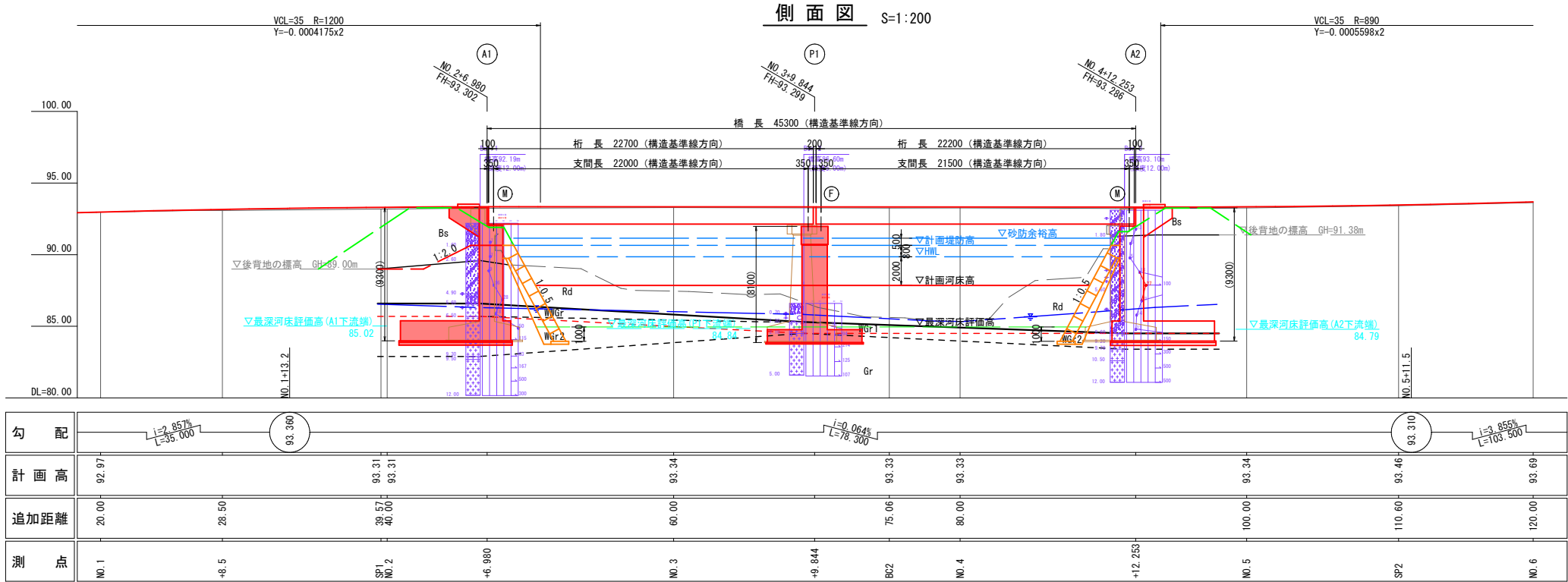


橋 梁 一 般 図



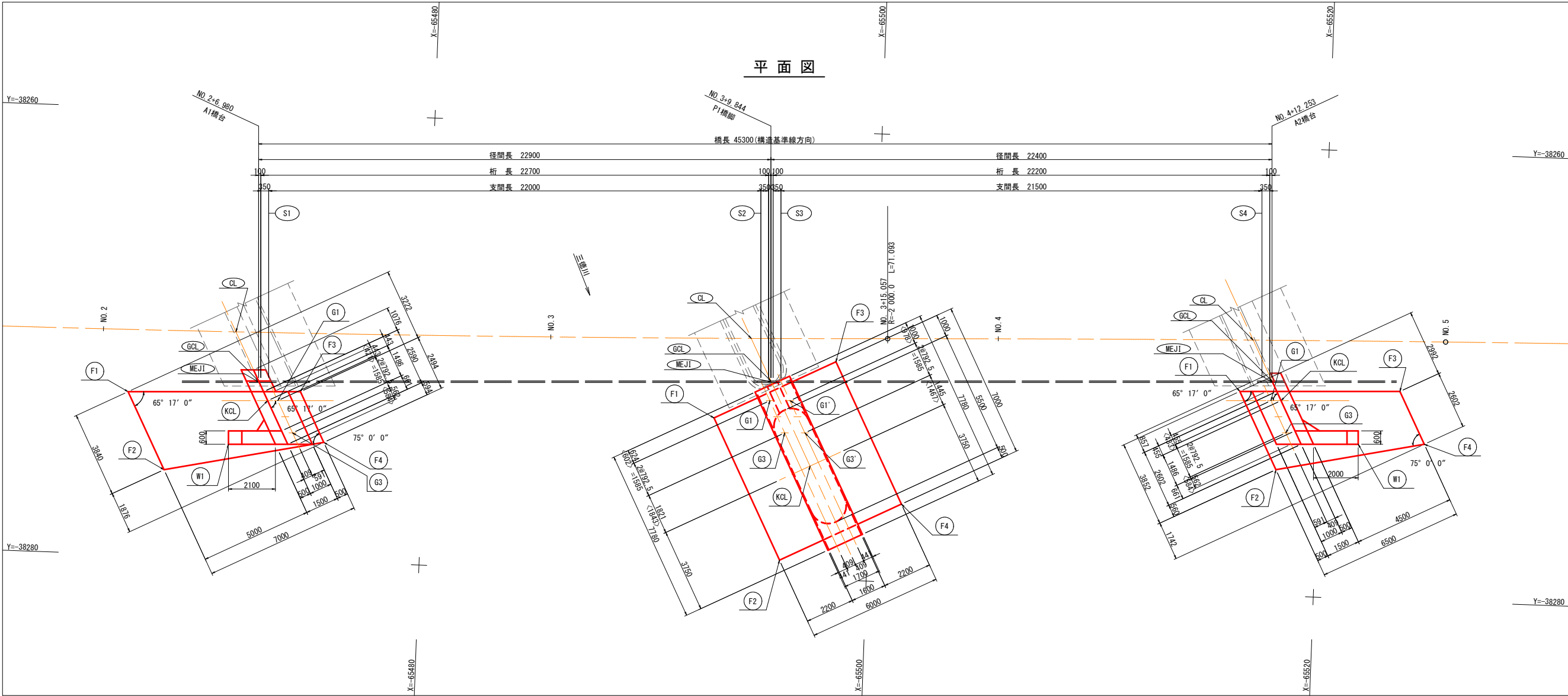
設計条件		既設橋	拡幅部
路線名	県道三朝中線		
河川名	三徳川 (計画高水流量 Q=360m ³ /sec)		
道路規格	第3種 第4級 V=40km/h		
橋長	44.200 m	45.300 m	
支間長	21.400 m + 21.400 m	22.000 m + 21.500 m	
有効幅員	7.500m		
縦断勾配	i=0.064%		
横断勾配	2.00% 2.00%		
斜角	(右) θ=65° 17'		
設計荷重	TL-14 (二等橋)	B活荷重	
雪荷重	1.0kN/m ²		
設計水平震度	I 種地盤 (地質調査による)		
構造形式	添架物	上水道、下水道、NTT	下水道
	上部工	PC単純ボステンション方式2径間T桁橋	プレテンション方式2径間連続PC床版橋
	下部工	逆T式橋台、壁式橋脚	逆T式橋台、張出し式橋脚
塩害区分	基礎工	直接基礎	直接基礎
	塩害区分	対策区分I (凍結防止剤散布)	対策区分I (凍結防止剤散布)
適用示方書等	アスリートコンクリート設計施工指針 (1955年)		道路橋示方書 (H29)
	コンクリート標準示方書 (1956年)		

08 公 共 実施設計

路線名	県道三朝中線
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図名	橋梁一般図
位置	東伯郡三朝町片柴
縮尺	図示 単位 M・MM
図号	全 31 葉中の内 1
令和 8 年度施行 鳥 取 県	
中部総合事務所 県土整備局	

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

下部工座標図 S=1:100



A1橋台

位 置		X座標	Y座標
道路中心	CL	-65471.4526	-38269.8715
構造基準線	GCL	-65472.5421	-38272.0315
拡幅端部	MEJ1	-65472.5719	-38272.0905
下部工基準線	KCL	-65472.9784	-38272.8965
フーチング	F1	-65466.7280	-38272.7173
	F2	-65468.4574	-38276.1459
	F3	-65474.4290	-38272.4417
	F4	-65475.5520	-38274.6682
支承(S1)	G1	-65473.4281	-38272.8804
		<-65473.4182>	<-38272.8607>
	G3	-65474.1420	-38274.2958
		<-65474.1321>	<-38274.2761>
ウイング	W1	-65471.2964	-38274.9079

P1橋脚

位 置		X座標	Y座標
道路中心	CL	-65494.4838	-38269.3416
構造基準線	GCL	-65495.4275	-38271.2126
拡幅端部	MEJ1	-65495.4572	-38271.2716
下部工基準線	KCL	-65497.3130	-38274.9509
フーチング	F1	-65492.9457	-38272.9537
	F2	-65496.0981	-38279.2037
	F3	-65498.3028	-38270.2516
	F4	-65501.4552	-38276.5016
支承	(S2)	G1	-65495.4140
		G1	<-65495.4041>
		G3	-65496.1279
		G3	<-65496.1180>
	(S3)	G1'	-65496.3135
		G1'	<-65496.3035>
		G3'	-65497.0274
		G3'	<-65497.0174>

A2橋台

位 置		X座標	Y座標
道路中心	CL	-65516.9062	-38268.6135
構造基準線	GCL	-65517.8131	-38270.4116
拡幅端部	MEJ1	-65517.8429	-38270.4705
下部工基準線	KCL	-65518.2494	-38271.2765
フーチング	F1	-65516.3940	-38270.9287
	F2	-65518.1290	-38274.3686
	F3	-65523.5449	-38270.6729
	F4	-65524.7169	-38272.9964
支承(S4)	G1	-65517.7997	-38271.2926
		<-65517.7898>	<-38271.2730>
	G3	-65518.5136	-38272.7080
		<-65518.5037>	<-38272.6884>
ウイング	W1	-65521.7650	-38273.1020

主要点大座標

測 点	X座標	Y座標	要 素
NO. 0+ 4.077	-65429.6075	-38269.8284	R= 1350.000
NO. 3+15.057	-65500.5760	-38269.1357	
NO. 7+ 6.150	-65571.6537	-38267.8365	R=2000.000

※ < >内数値は、下部工橋座面上での支承位置を示す。

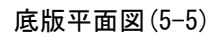
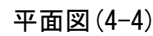
08 公 共 実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	下部工座標図		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	M・MM
図 号	全 3 1 葉中の内 2		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

S=1 : 50

※ 橋座高はパラペット前面を示す。



NO. 2+6.98
(GCL上)



※1.  部は、伸縮装置用後打ちを示す。

※2.  部は、縦目地用後打ちを示す。

※3. 平板荷重試験機の支持力確認を行うこと。

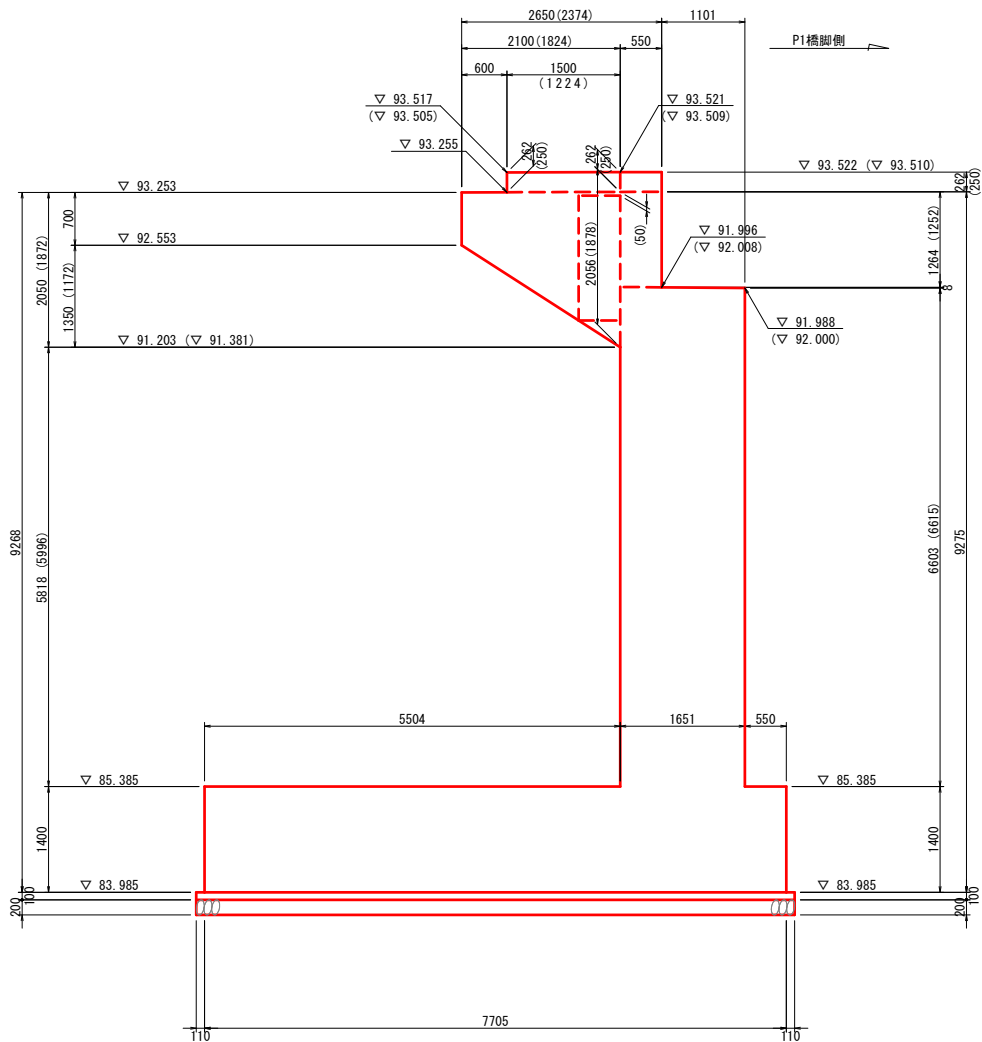
※3 平板動荷試験等の支持力確認を行うこと。

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

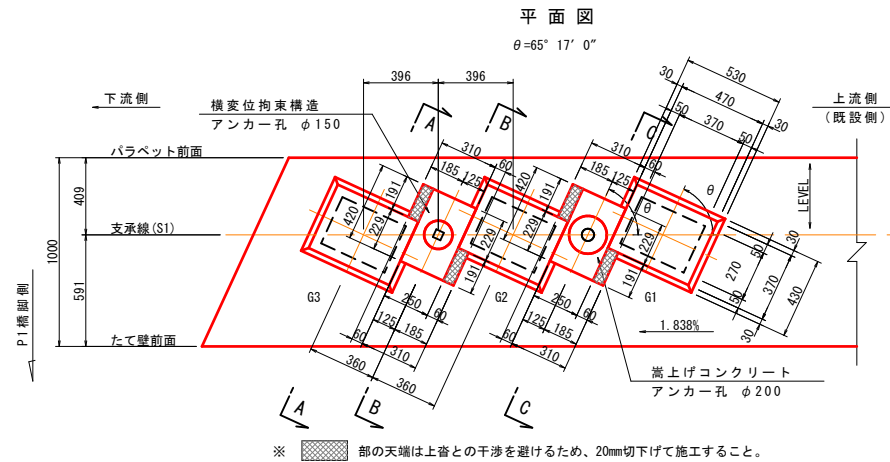
A1橋台構造一般図(その2) S=1:50

左側ウイング(6-6)

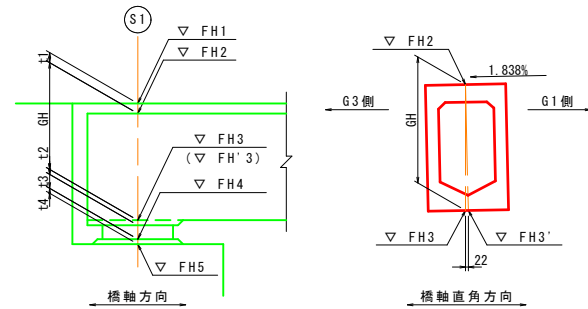
※ ()内数値は内側を示す。



沓座及びアンカー孔箱抜き詳細図 S=1:20



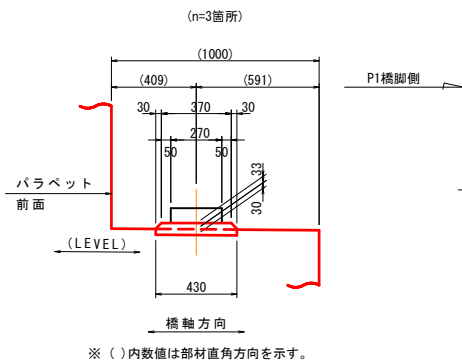
構造高図 S=1:30



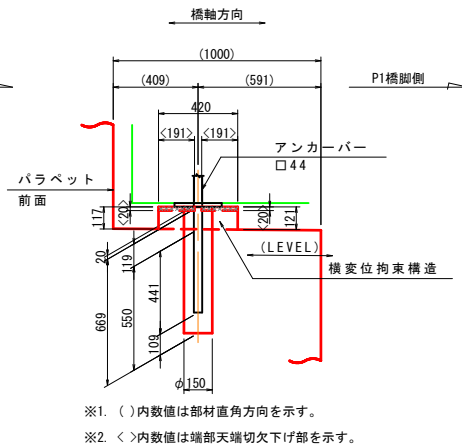
支点構造高表

		A1橋台(S1)	
		G1	G3
橋面計画高	FH1	93.286	93.513
舗装厚	t1	0.113	0.369
桁天端高	FH2	93.173	93.144
桁高	GH	1.000	1.000
桁下高(鉛直方向)	FH3	92.173	92.144
桁下高(撥付位置)	FH3'	92.173	92.144
レアー厚	t2	0.002	0.002
沓厚	t3	0.106	0.106
沓座モルタル天端高	FH4	92.065	92.036
沓座モルタル	t4	0.033	0.033
橋座計画高	FH5	92.032	92.003

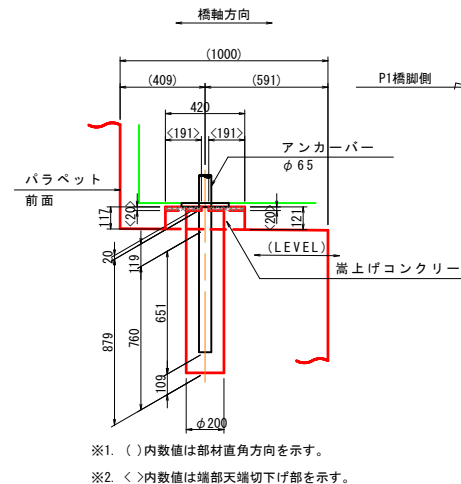
支承部(A-A)



横変位拘束構造(B-B)

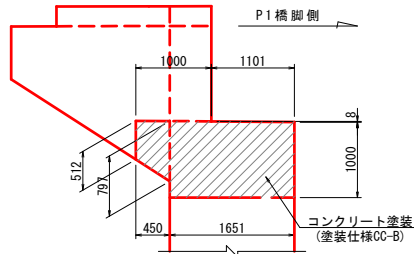


嵩上げコンクリート(C-C)

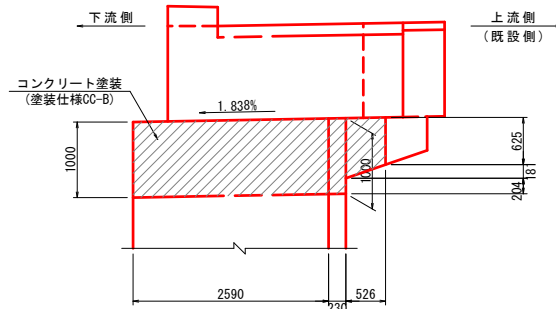


コンクリート表面保護工 S=1:50

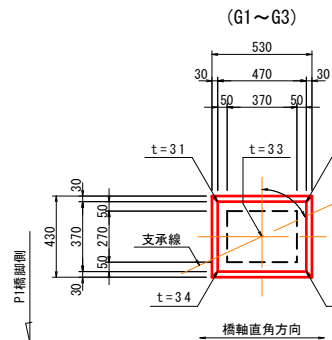
左側ウイング(側面)



正面図

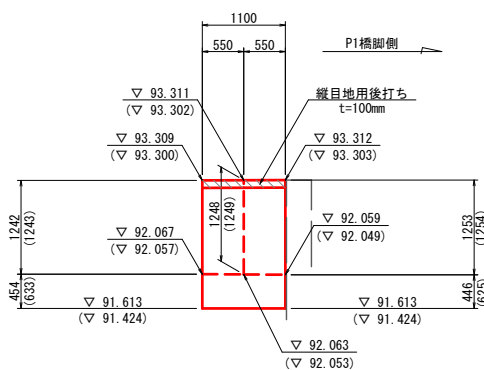


モルタル厚寸法図 S=1:20



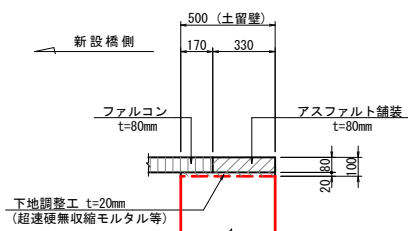
右側土留壁(7-7)

※ ()内数値は内側を示す。

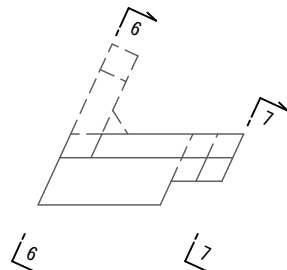


縦目地用後打ち詳細図 S=1:20

※ 伸縮装置詳細図参照のこと。



位置図



08	公共	実施設計			
路線名		県道三朝中線			
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)					
図名		A1橋台構造一般図(その2)			
位置		東伯郡三朝町片柴			
縮尺		図示	単位	M・	
図号		全 3 1 葉中の内 4			
令和 8 年度施行					鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局					

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

S=1 : 50



S=1 : 20

※ 伸縮装置詳細図参照のこと



注) 伸縮装置アンカー筋は、パラペット部施工時
セットすること。

S=1:50



注) 半円形フックを背面側に配置すること。

S=1:10

(パラペット



位置図

※⑤印表記はせんす補強鉄筋、※⑥印表記は構内定鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。

1. 道路標示方書・解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に於て定着体と半円フラップの設置方向を変更してもよい。

注) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

使用材料

1

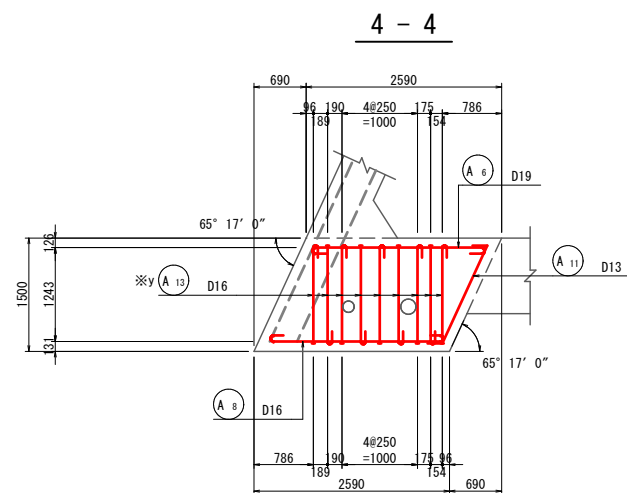
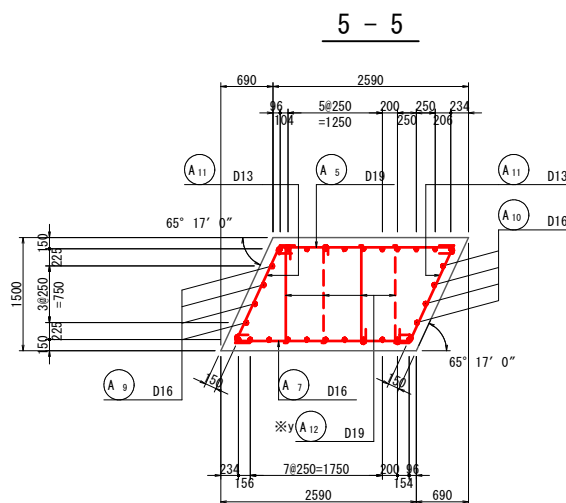
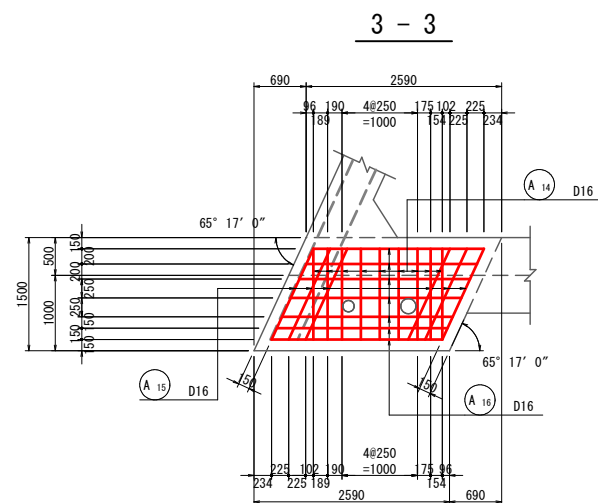
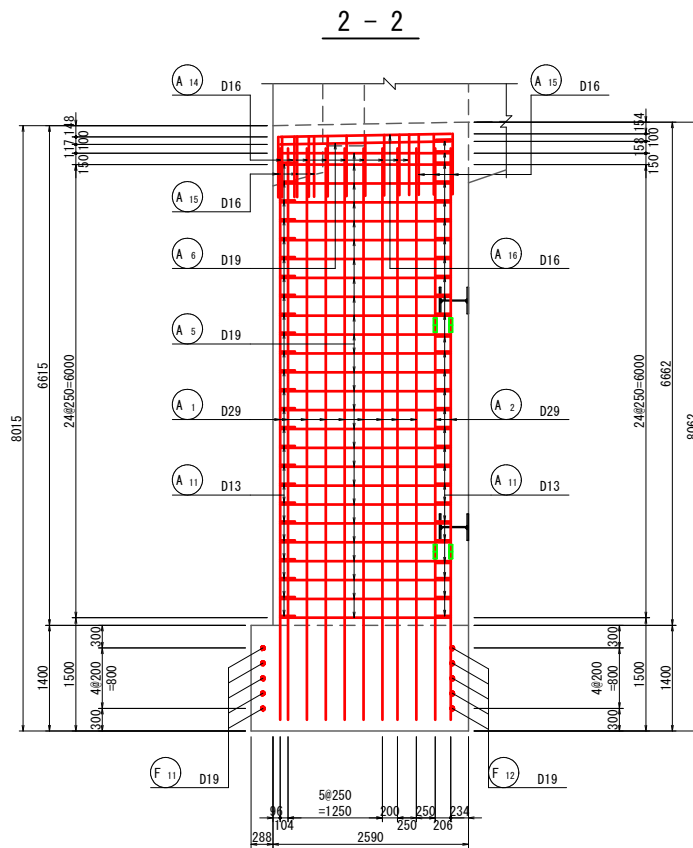
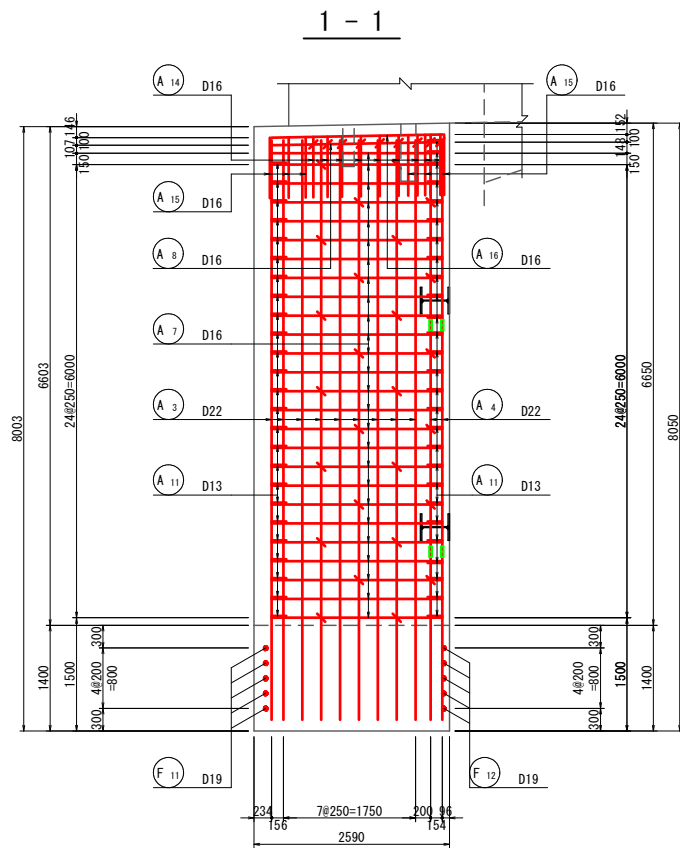
08 公共

実施設計

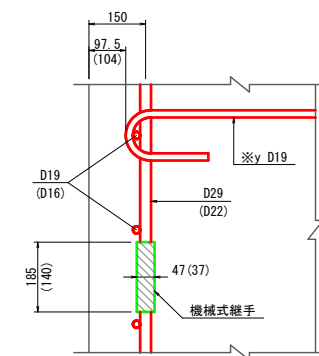
姓名	学号	性别	年龄	职业	住址	联系电话	电子邮箱	其他信息
----	----	----	----	----	----	------	------	------

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

A1橋台配筋図(その2) S=1:50

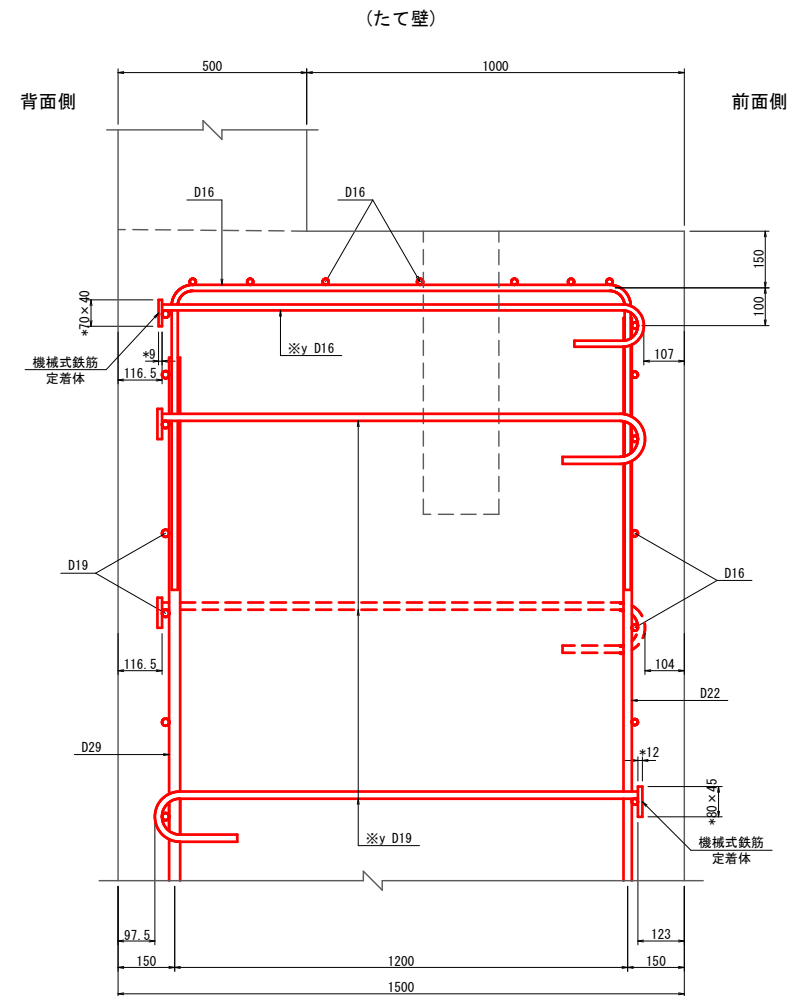


機械式継手部詳細図 S=1:10



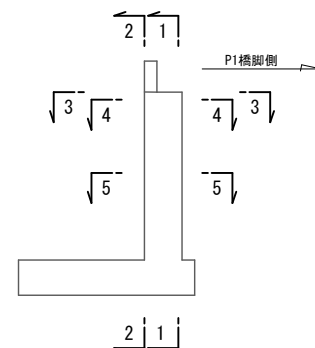
注) 機械式継手を取り囲む鉄筋の加工長は、施工時に使用する機械式継手の規格に合わせて適宜調整すること。(設計図の機械式継手径は参考値とする)

かぶり詳細図 S=1:10



注) 機械式鉄筋定着体については純かぶりを90mm以上確保できる製品を使用すること。(かぶり詳細図の*印寸法は参考値とする)

位置図



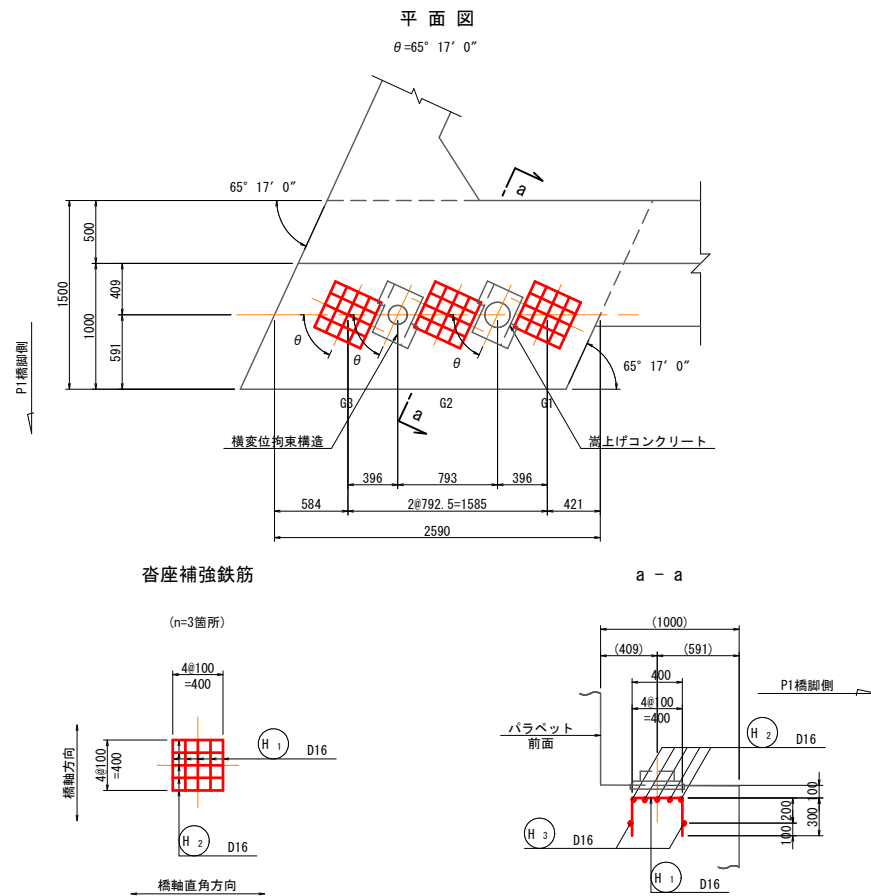
【機械式鉄筋定着工法特記事項】
※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

08 公共 実施設計	
路線名	県道三朝中線
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図名	A1橋台配筋図(その2)
位置	東伯郡三朝町片柴
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 31 葉中の内 6
令和 8 年度施行 鳥取県	
中部総合事務所 県土整備局	

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

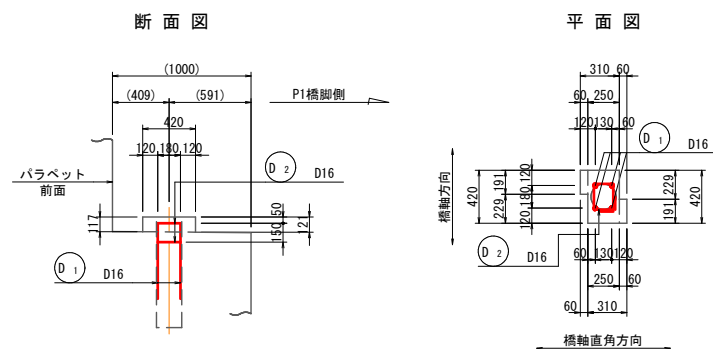
A1橋台配筋図(その3)

沓座補強配置図 S=1:30



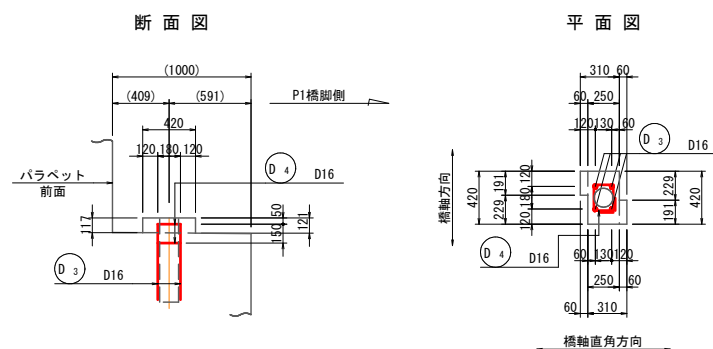
嵩上げコンクリート配筋図 S=1:30

注) アンカーボイドが鉄筋に干渉する箇所については現場にてアンカーボイドを削り鉄筋を設置すること。

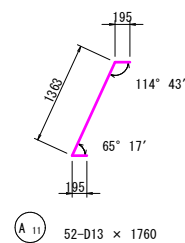
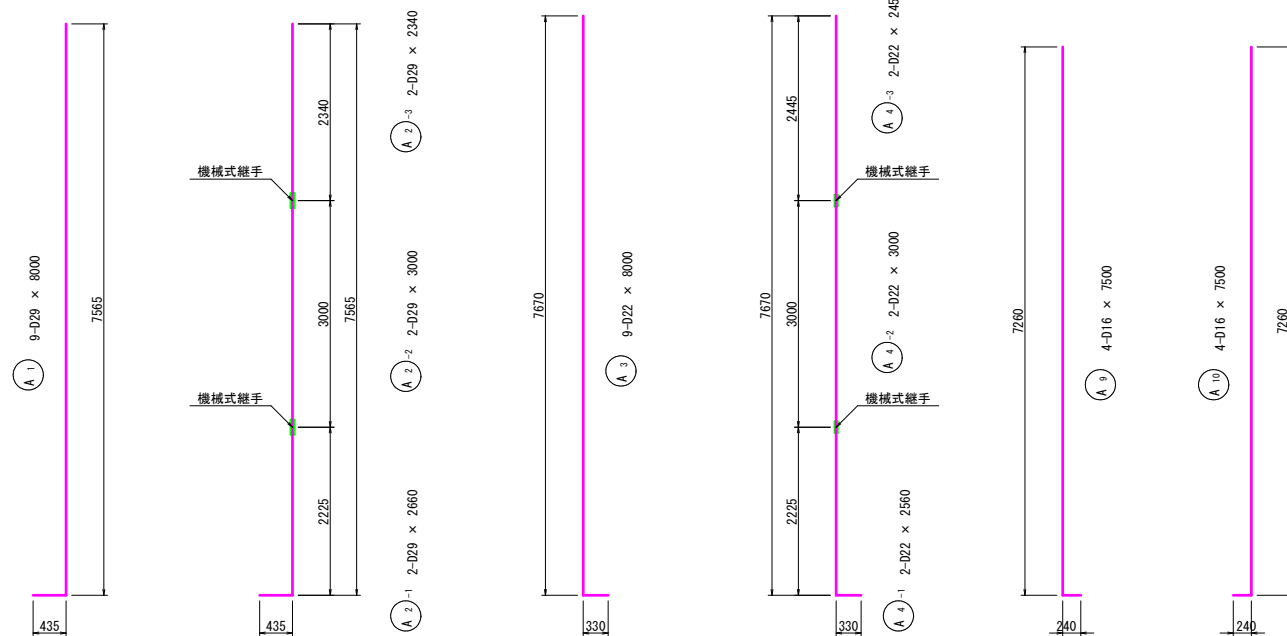


横変位拘束構造 S=1:30

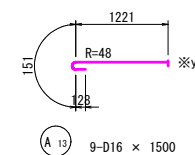
注) アンカーボイドが鉄筋に干渉する箇所については
現場にてアンカーボイドを削り鉄筋を設置すること。



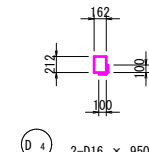
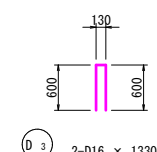
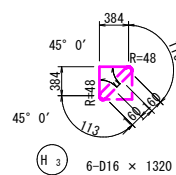
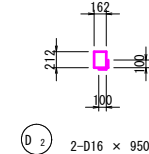
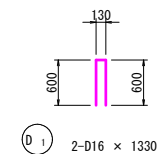
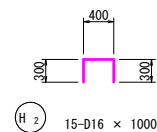
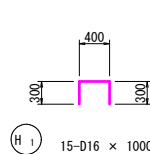
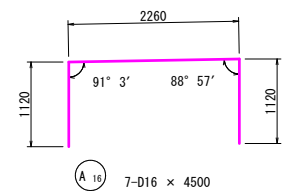
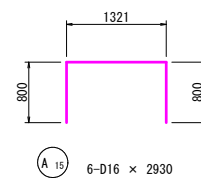
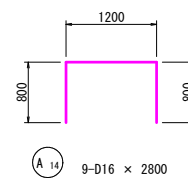
鉄筋加工図 S=1:50



注) 半円形フック・定着体を交互に配置すること。



注) 半円形フック・定着体を交互に配置すること。



【機械式筋帯定着工法特記事項】

※s印表記はスチレン樹脂を示すものであり下記の基準等を満足とする。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)

2. 機械式筋帯定着工法の筋帯設計ガイドライン (H28.7 機械式筋帯定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形鉄骨の設置方向を変更してもよい。

注) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

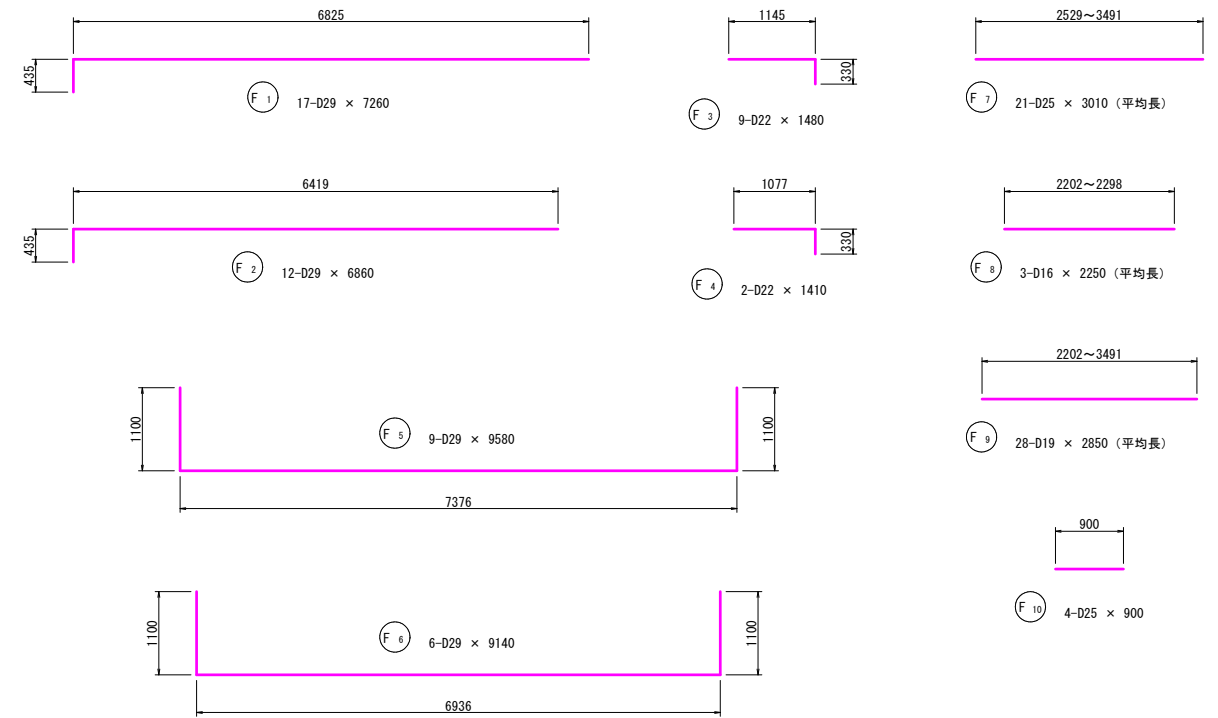
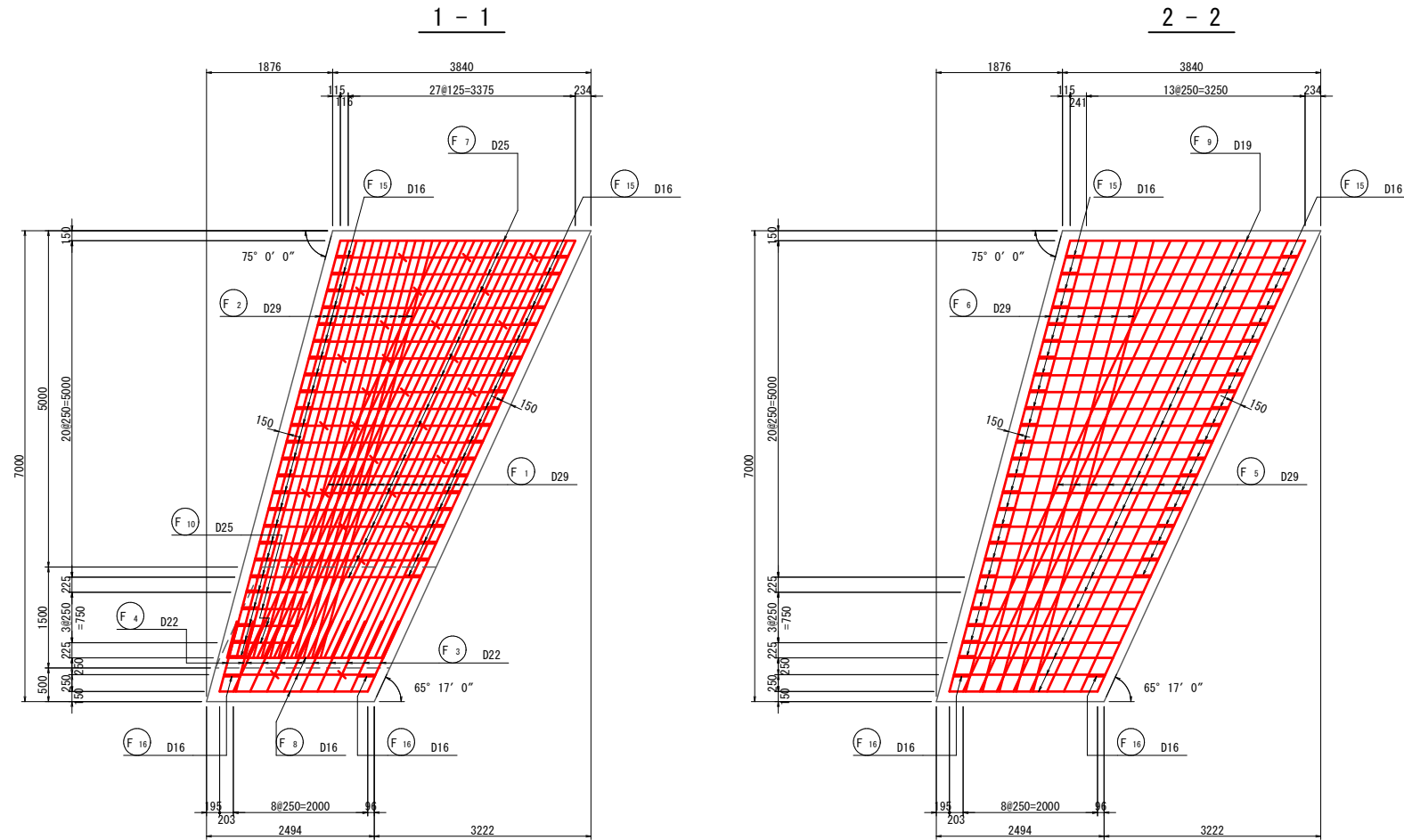
08 公共 実施設計

路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名	A1橋台配筋図 (その3)		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 3 1 葉中の内 7		
令和 8 年度施行			鳥取県
中部総合事務所 県土整備局			

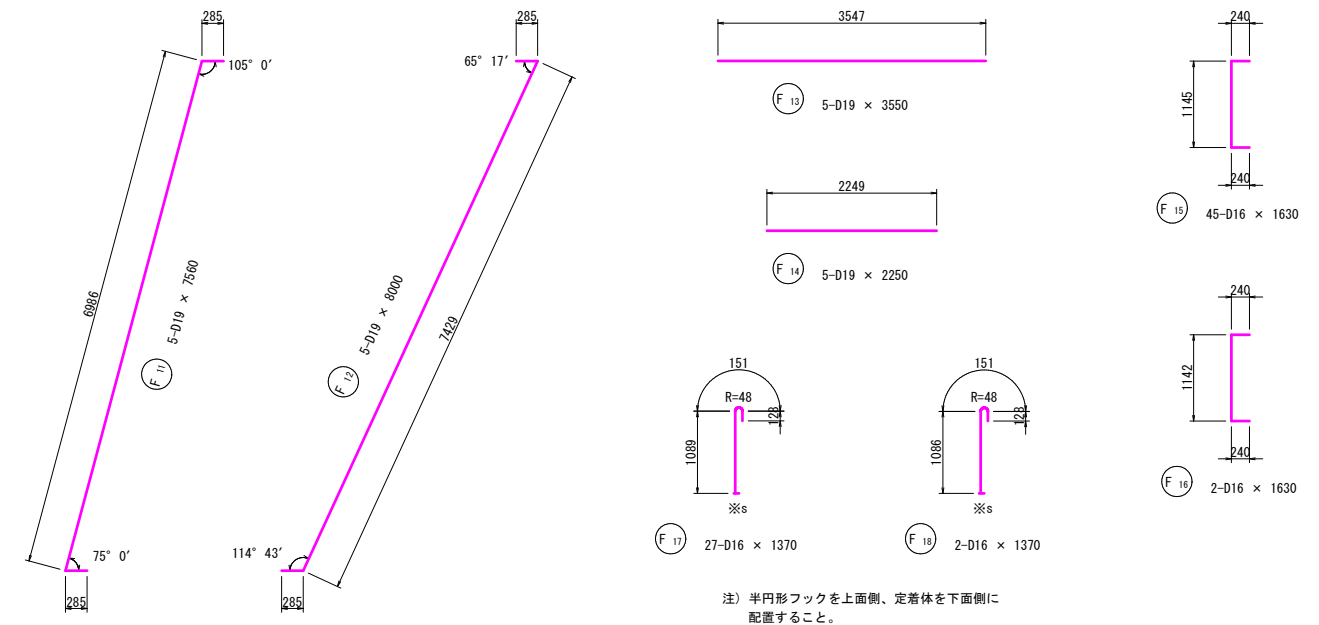
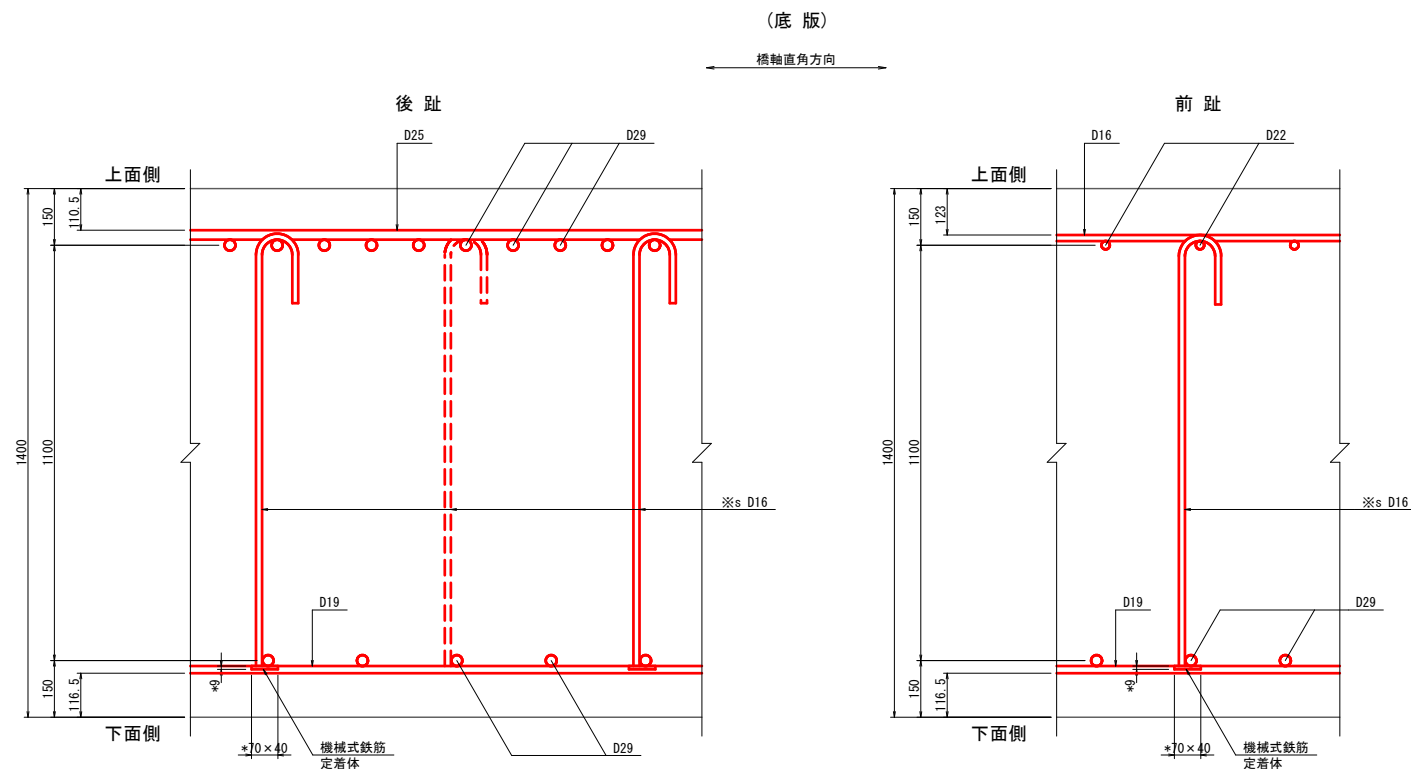
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

A1橋台配筋図(その4) S=1:50

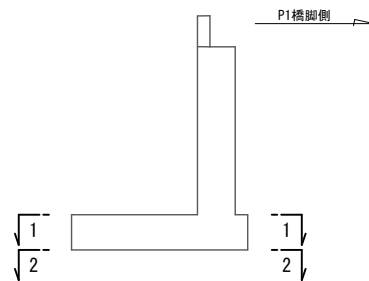
鉄筋加工図 S=1:50



かぶり詳細図 S=1:10



位置図



【機械式鉄筋定着工法特記事項】
※s印表記はせん断補強鉄筋, ※y印表記は横拘束鉄筋への
機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を
満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

注) 半円形フックを上面側、定着体を下面側に
配置すること。

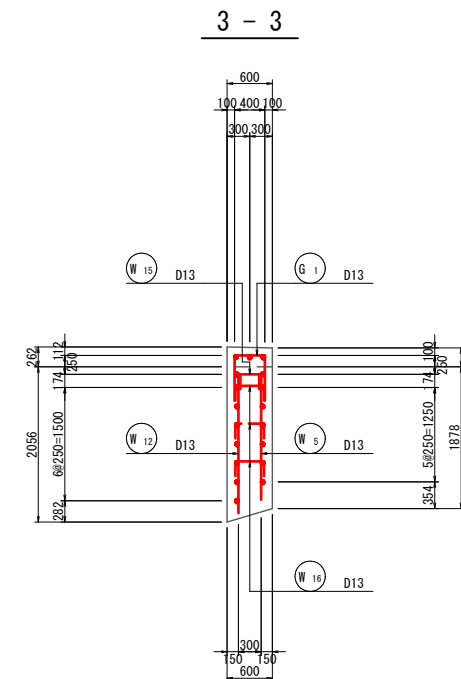
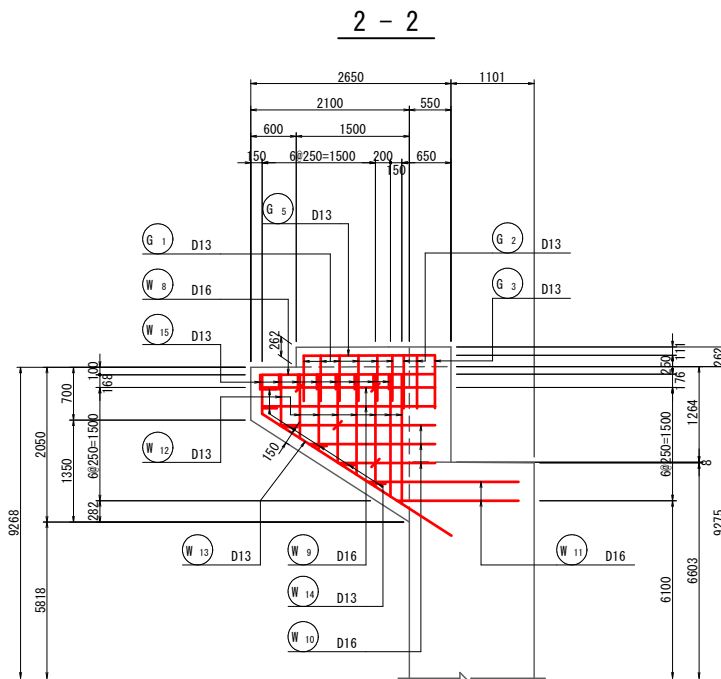
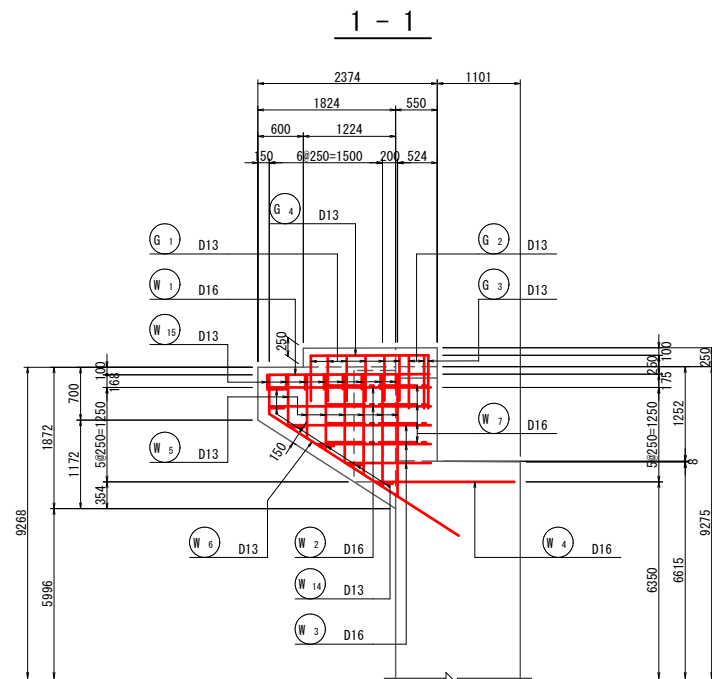
注) 機械式鉄筋定着体については鉤かぶりを70mm以上確保できる製品を使用すること。
(かぶり詳細図の*印寸法は参考値とする)

08		公共		実施設計	
路線名		県道三朝中線			
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)					
図名		A1橋台配筋図(その4)			
位置		東伯郡三朝町片柴			
縮尺		図示	単位	MM	
図号		全 3 1 葉中の内 8			
令和 8 年度施行				鳥 取 県	
中部総合事務所 県土整備局					

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

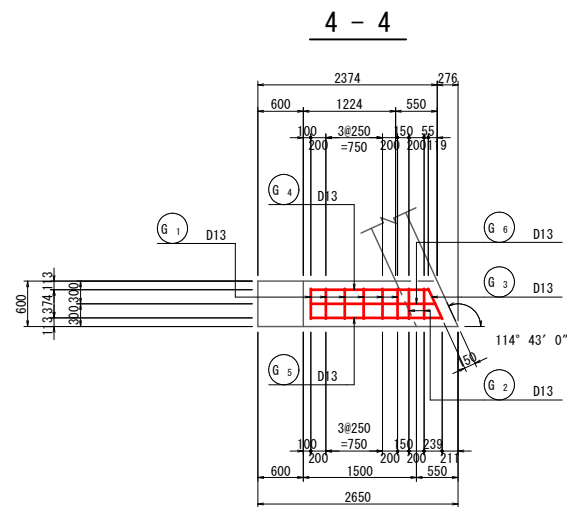
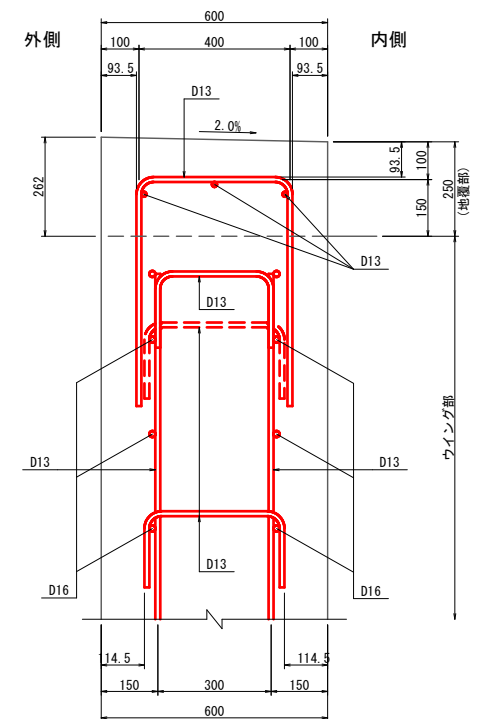
A1橋台配筋図(その5) S=1:50

(左側ウイング)

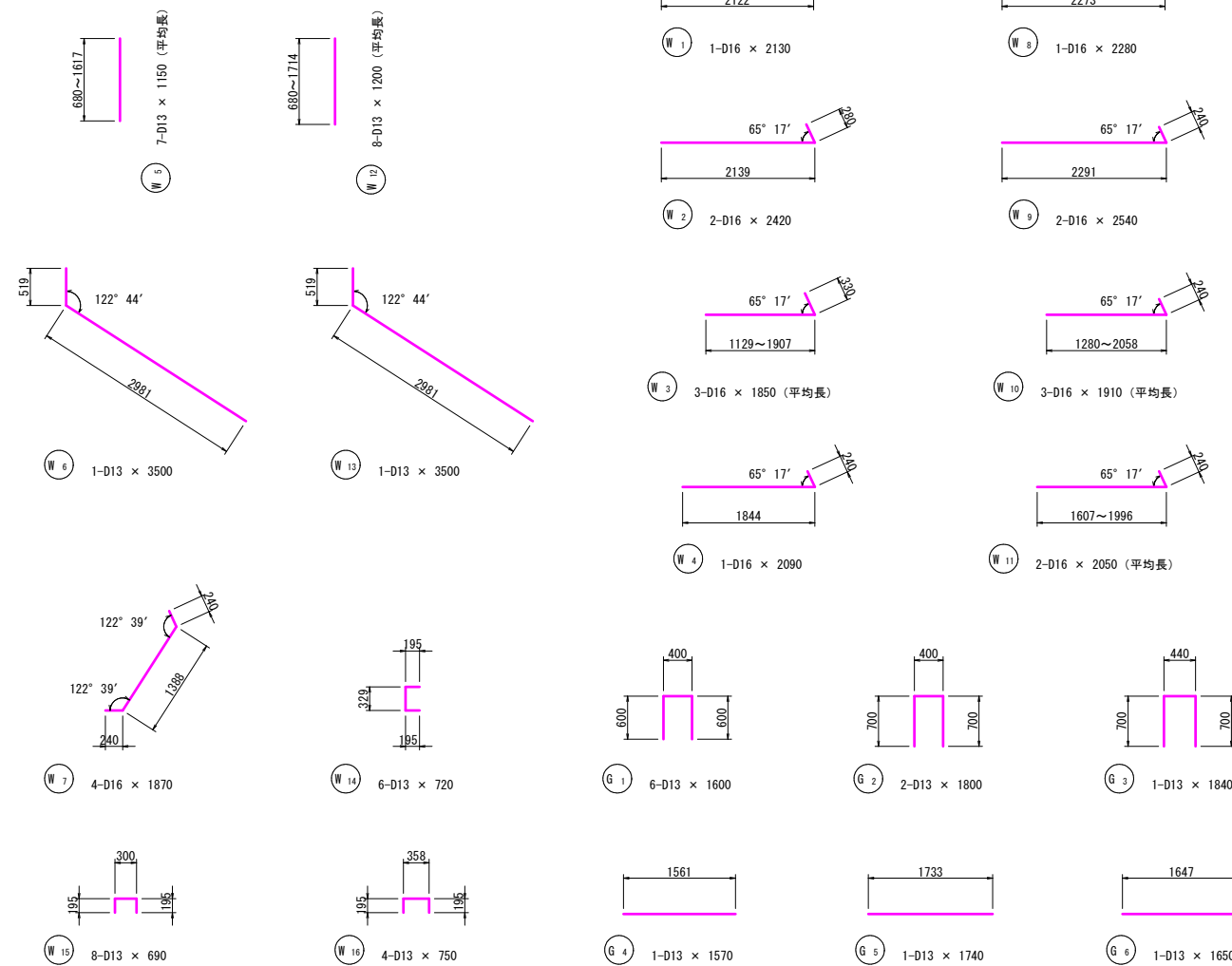


かぶり詳細図 S=1:10

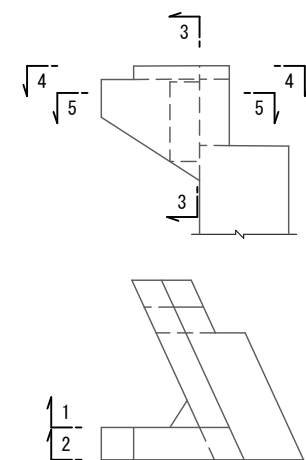
(左側ウイング・地覆)



鉄筋加工図 S=1:50



位置図



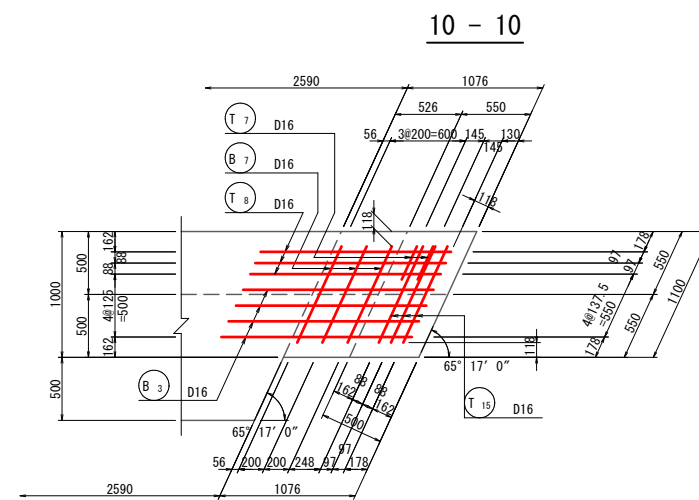
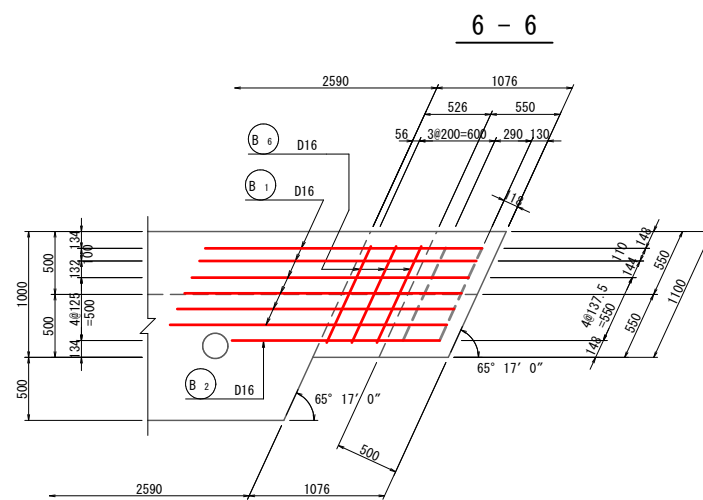
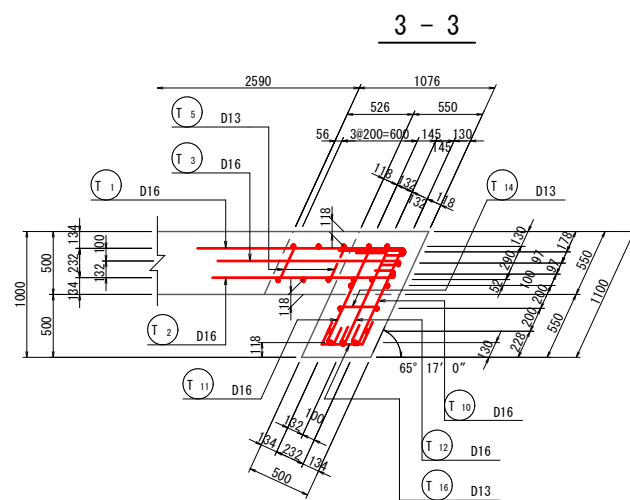
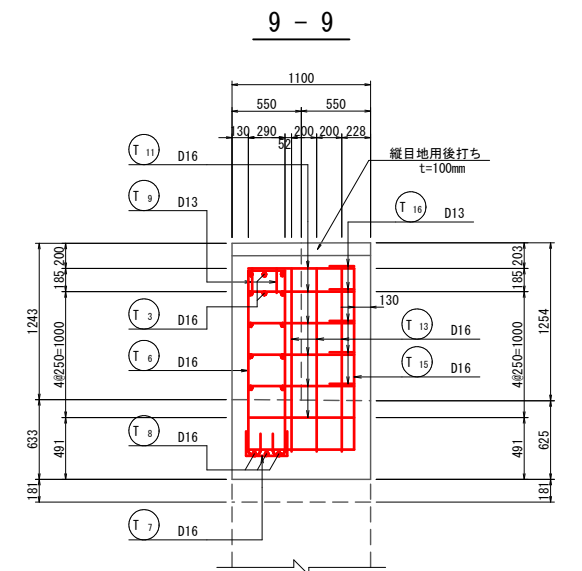
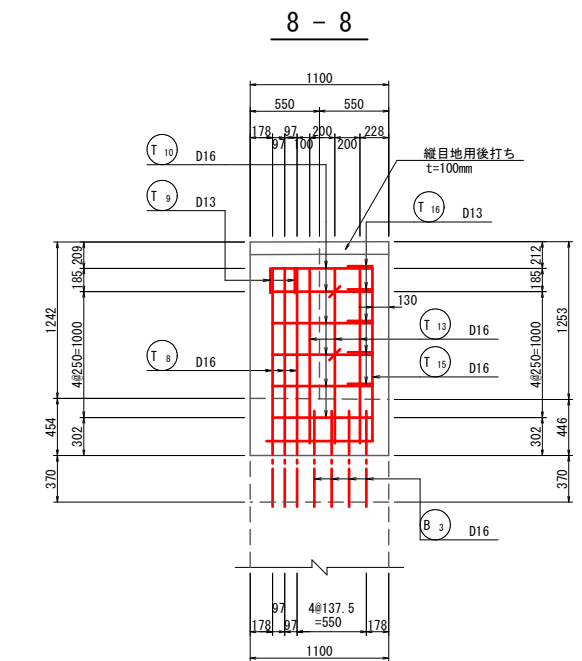
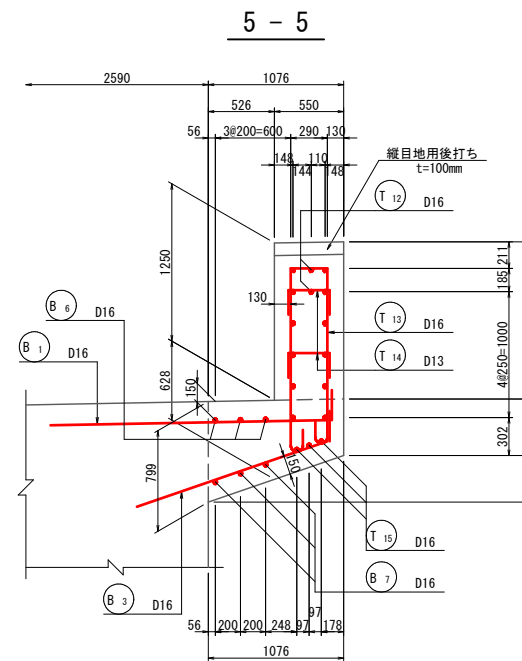
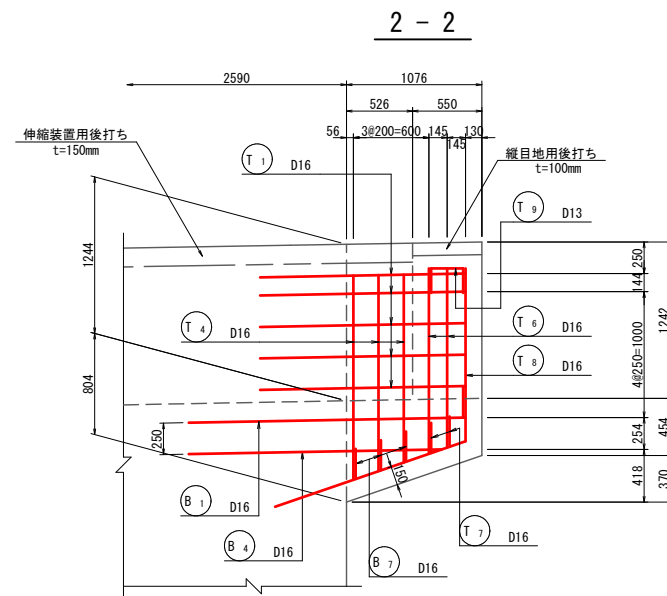
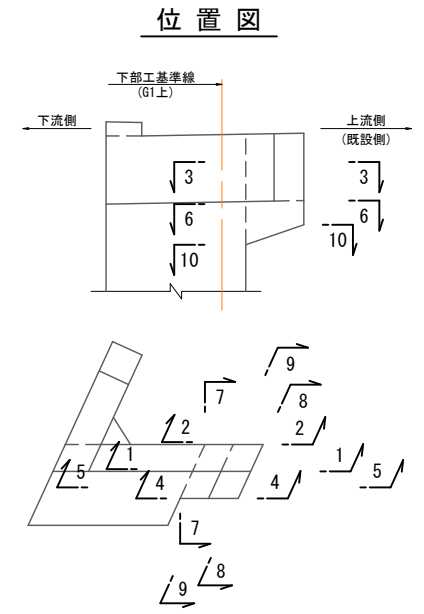
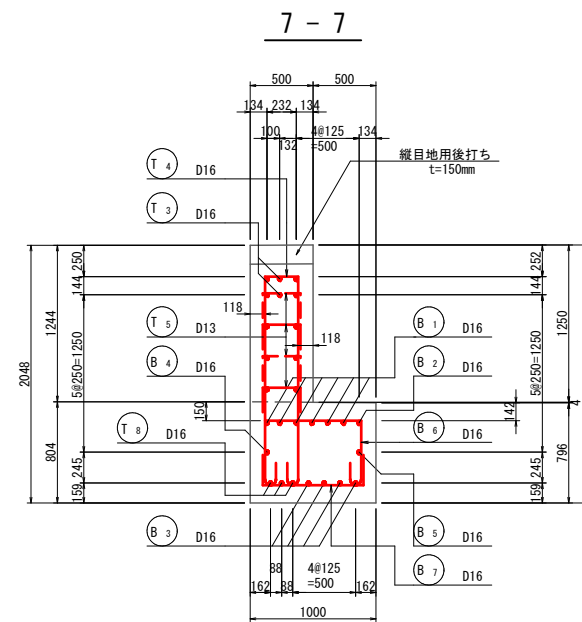
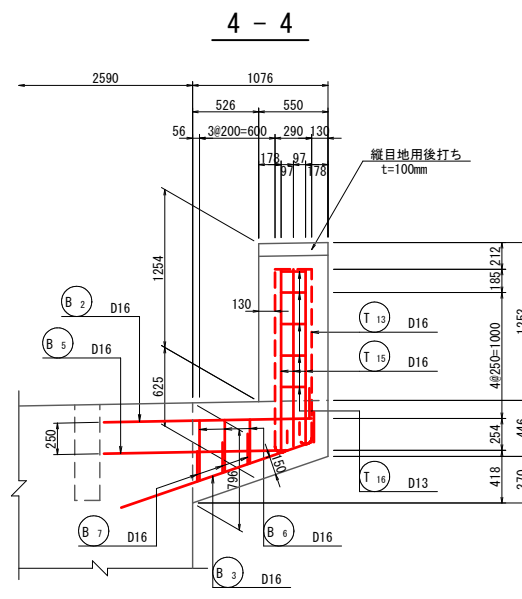
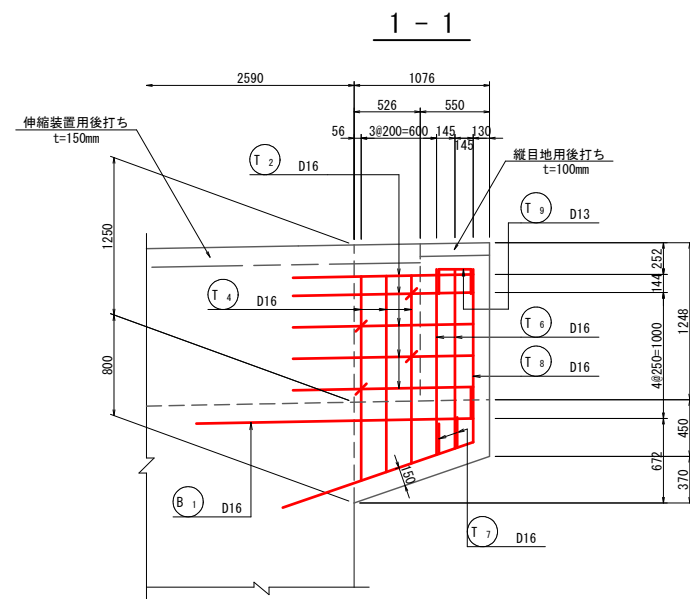
08 公共 実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	A1橋台配筋図 (その5)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 3 1 葉中の内 9		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

A1橋台配筋図(その6) S=1:30

(右側土留壁)



08 公 共 実施設計	
路 線 名	県道三朝中線
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図 名	A1橋台配筋図(その6)
位 置	東伯郡三朝町片柴
縮 尺	図 示 単 位 M M
図 号	全 3 1 葉中の内 1 0
令和 8 年度施行	鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局	

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

A1橋台配筋図(その7)

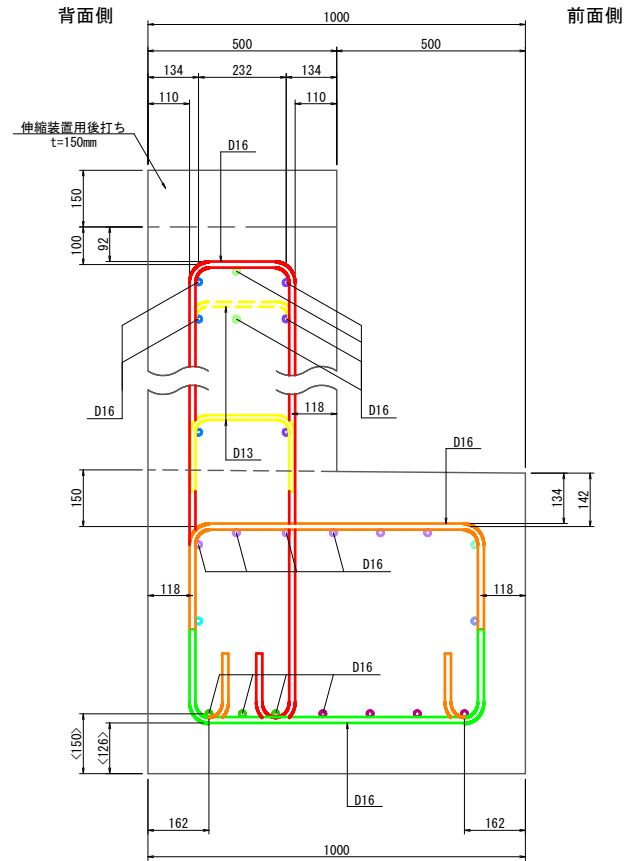
(右側土留壁)

かぶり詳細図

S=1:10

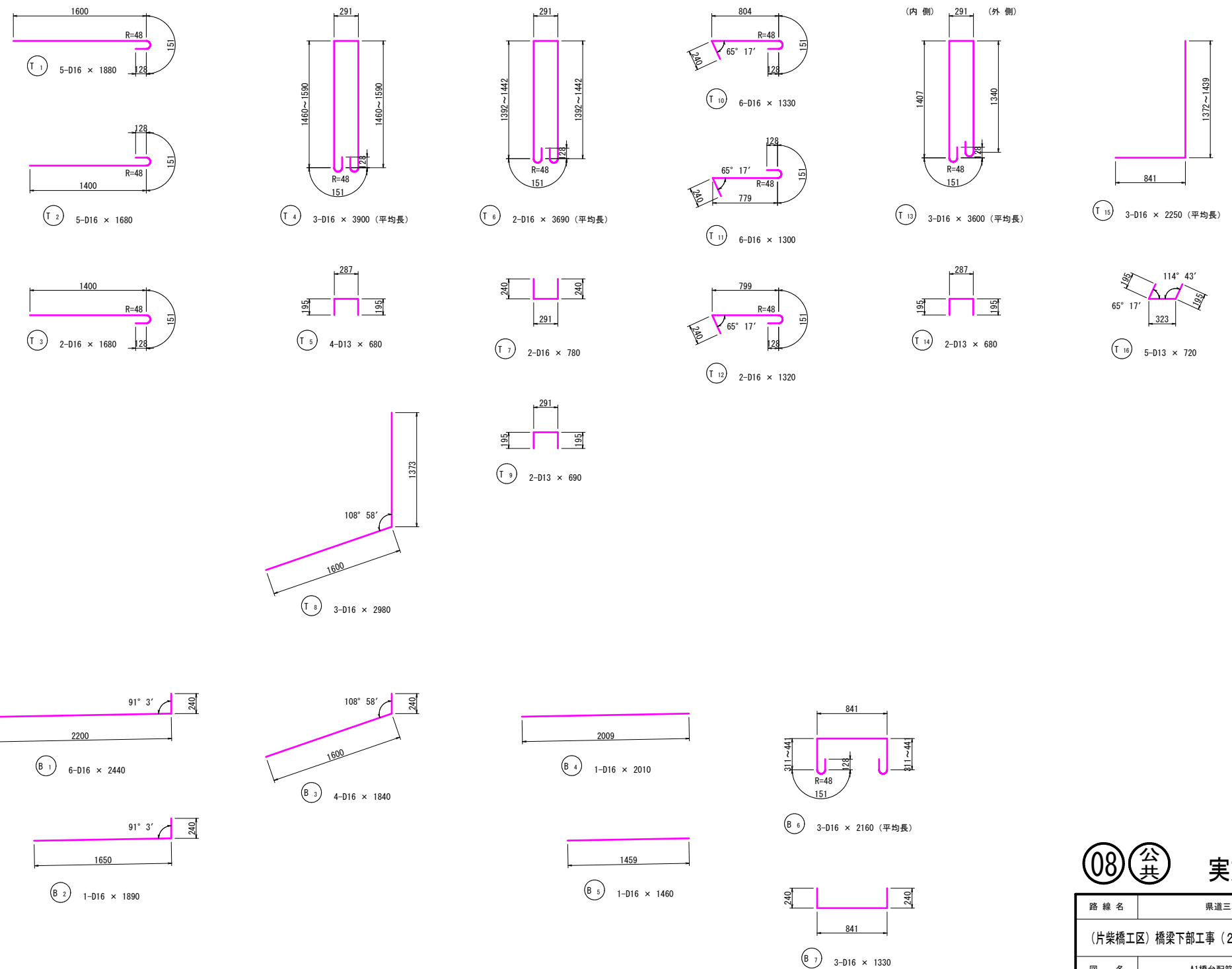
(右側土留壁)

※ < >内数値は部材直角方向を示す。



鉄筋加工図

S=1:30



08 公共 実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	A1橋台配筋図(その7)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 3 1 葉中の内 1 1		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

A1橋台配筋図(その8)

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
P 1	D16	2300	11	1.56	3.59	39	└┐
P 2	〃	1700	11	〃	2.65	29	└┐
P 3	〃	2510	5	〃	3.92	20	└┐
P 4	D13	2260	5	0.995	2.25	11	└┐
P 5	〃	590	9	〃	0.59	5	└┐
P 6	〃	610	2	〃	0.61	1	└┐
P 7	〃	630	6	〃	0.63	4	└┐
109							
J 1	D16	590	10	1.56	0.92	9	└┐
J 2	〃	280	10	〃	0.44	4	└┐
13							
H 1	D16	1000	15	1.56	1.56	23	└┐
H 2	〃	1000	15	〃	1.56	23	└┐
H 3	〃	1320	6	〃	2.06	12	└┐
58							
D 1	D16	1330	2	1.56	2.07	4	└┐
D 2	〃	950	2	〃	1.48	3	└┐
D 3	〃	1330	2	〃	2.07	4	└┐
D 4	〃	950	2	〃	1.48	3	└┐
14							
A 1	D29	8000	9	5.04	40.32	363	└┐
A 2-1	〃	2660	2	〃	13.41	27	└┐ (2)
A 2-2	〃	3000	2	〃	15.12	30	└┐ (2)
A 2-3	〃	2340	2	〃	11.79	24	└┐
A 3	D22	8000	9	3.04	24.32	219	└┐
A 4-1	〃	2560	2	〃	7.78	16	└┐ (2)
A 4-2	〃	3000	2	〃	9.12	18	└┐ (2)
A 4-3	〃	2450	2	〃	7.45	15	└┐
A 5	D19	2860	26	2.25	6.44	167	└┐
A 6	〃	2860	1	〃	6.44	6	└┐
A 7	D16	2760	26	1.56	4.31	112	└┐
A 8	〃	2760	1	〃	4.31	4	└┐
A 9	〃	7500	4	〃	11.70	47	└┐
A 10	〃	7500	4	〃	11.70	47	└┐
A 11	D13	1760	52	0.995	1.75	91	└┐
A 12	D19	1550	26	2.25	3.49	91	└┐ ※y
A 13	D16	1500	9	1.56	2.34	21	└┐ ※y
A 14	〃	2800	9	〃	4.37	39	└┐
A 15	〃	2930	6	〃	4.57	27	└┐
A 16	〃	4500	7	〃	7.02	49	└┐
1413							
F 1	D29	7260	17	5.04	36.59	622	└┐
F 2	〃	6860	12	〃	34.57	415	└┐
F 3	D22	1480	9	3.04	4.50	41	└┐
F 4	〃	1410	2	〃	4.29	9	└┐
F 5	D29	9580	9	5.04	48.28	435	└┐
F 6	〃	9140	6	〃	46.07	276	└┐
F 7	D25	3010	21	3.98	11.98	252	└┐ (平均長)
F 8	D16	2250	3	1.56	3.51	11	└┐ (平均長)
F 9	D19	2850	28	2.25	6.41	179	└┐ (平均長)
F 10	D25	900	4	3.98	3.58	14	└┐
F 11	D19	7560	5	2.25	17.01	85	└┐
F 12	〃	8000	5	〃	18.00	90	└┐
F 13	〃	3550	5	〃	7.99	40	└┐
F 14	〃	2250	5	〃	5.06	25	└┐
F 15	D16	1630	45	1.56	2.54	114	└┐
F 16	〃	1630	2	〃	2.54	5	└┐
F 17	〃	1370	27	〃	2.14	58	└┐ ※s
F 18	〃	1370	2	〃	2.14	4	└┐ ※s
2675							

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
W 1	D16	2130	1	1.56	3.32	3	└┐
W 2	〃	2420	2	〃	3.78	8	└┐
W 3	〃	1850	3	〃	2.89	9	└┐ (平均長)
W 4	〃	2090	1	〃	3.26	3	└┐
W 5	D13	1150	7	0.995	1.14	8	└┐ (平均長)
W 6	〃	3500	1	〃	3.48	3	└┐
W 7	D16	1870	4	1.56	2.92	12	└┐
W 8	〃	2280	1	〃	3.56	4	└┐
W 9	〃	2540	2	〃	3.96	8	└┐
W 10	〃	1910	3	〃	2.98	9	└┐ (平均長)
W 11	〃	2050	2	〃	3.20	6	└┐ (平均長)
W 12	D13	1200	8	0.995	1.19	10	└┐ (平均長)
W 13	〃	3500	1	〃	3.48	3	└┐
W 14	〃	720	6	〃	0.72	4	└┐
W 15	〃	690	8	〃	0.69	6	└┐
W 16	〃	750	4	〃	0.75	3	└┐
99							
G 1	D13	1600	6	0.995	1.59	10	└┐
G 2	〃	1800	2	〃	1.79	4	└┐
G 3	〃	1840	1	〃	1.83	2	└┐
G 4	〃	1570	1	〃	1.56	2	└┐
G 5	〃	1740	1	〃	1.73	2	└┐
G 6	〃	1650	1	〃	1.64	2	└┐
22							
T 1	D16	1880	5	1.56	2.93	15	└┐
T 2	〃	1680	5	〃	2.62	13	└┐
T 3	〃	1680	2	〃	2.62	5	└┐
T 4	〃	3900	3	〃	6.08	18	└┐ (平均長)
T 5	D13	680	4	0.995	0.68	3	└┐
T 6	D16	3690	2	1.56	5.76	12	└┐ (平均長)
T 7	〃	780	2	〃	1.22	2	└┐
T 8	〃	2980	3	〃	4.65	14	└┐
T 9	D13	690	2	0.995	0.69	1	└┐
T 10	D16	1330	6	1.56	2.07	12	└┐
T 11	〃	1300	6	〃	2.03	12	└┐
T 12	〃	1320	2	〃	2.06	4	└┐
T 13	〃	3600	3	〃	5.62	17	└┐ (平均長)
T 14	D13	680	2	0.995	0.68	1	└┐
T 15	D16	2250	3	1.56	3.51	11	└┐ (平均長)
T 16	D13	720	5	0.995	0.72	4	└┐
144							
B 1	D16	2440	6	1.56	3.81	23	└┐
B 2	〃	1890	1	〃	2.95	3	└┐
B 3	〃	1840	4	〃	2.87	11	└┐
B 4	〃	2010	1	〃	3.14	3	└┐
B 5	〃	1460	1	〃	2.28	2	└┐
B 6	〃	2160	3	〃	3.37	10	└┐ (平均長)
B 7	〃	1330	3	〃	2.07	6	└┐
58							
(機械式継手箇所)							
D29				2192 kg	(4)		
D25				266 kg			
D22				318 kg	(4)		
D19				683 kg			
D16				966 kg			
D13				180 kg			
合 計				4605 kg	(8)		

機械式鉄筋定着工法数量表

せん断補強鉄筋

鉄筋径	箇 所 数			
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m
D16	――	29	――	――
小 計	――	29	――	――
合 計	29			

横拘束鉄筋

鉄筋径	箇 所 数			
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m
D16	――	9	――	――
D19	――	26	――	――
小 計	――	35	――	――
合 計	35			

使用材料

コンクリート	伸縮装置用後打ち	σck = 30N/mm2
	バラベツ	σck = 30N/mm2
	ウイング・地覆	(W/C=50%以下)
	たて壁・底板	σck = 24N/mm2
鉄 筋		SD345

08 公 共

実施設計

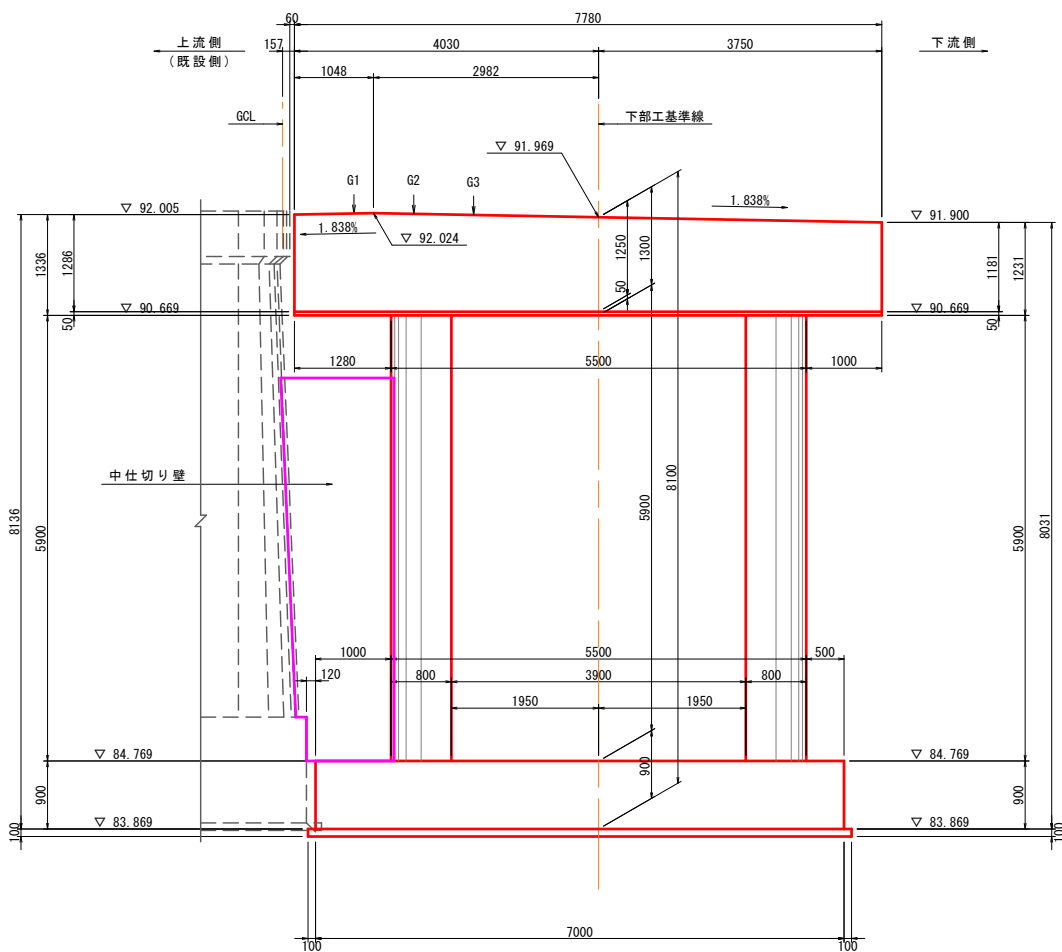
路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名	A1橋台配筋図(その8)		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 3 1 葉中の内 1 2		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

【機械式鉄筋定着工法特記事項】
※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

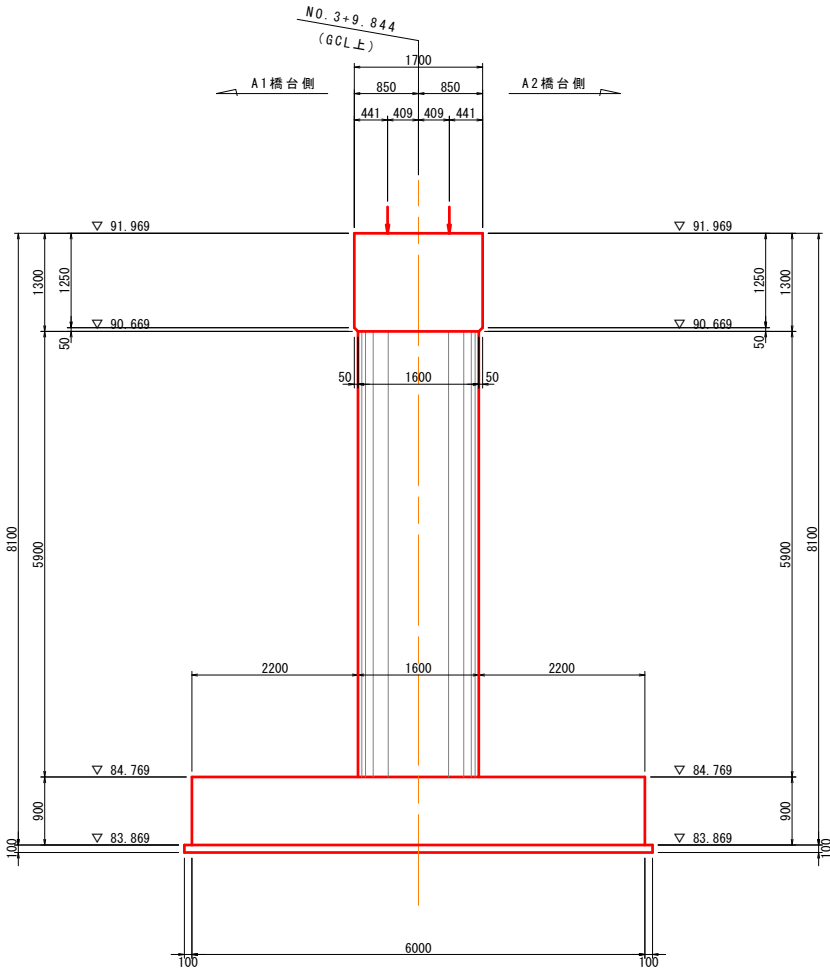
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚構造一般図(その1) S=1:50

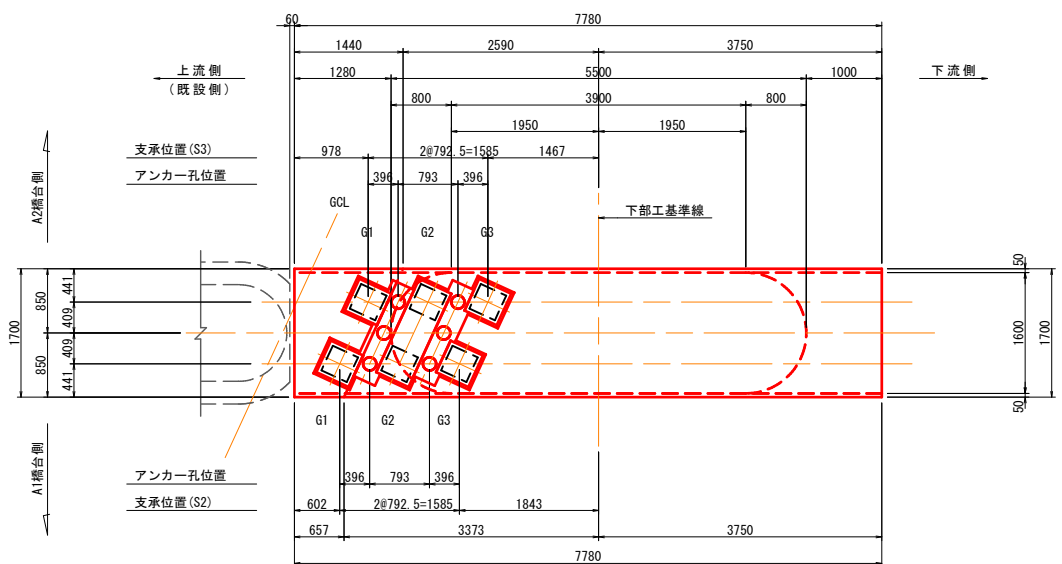
正面図(1-1)



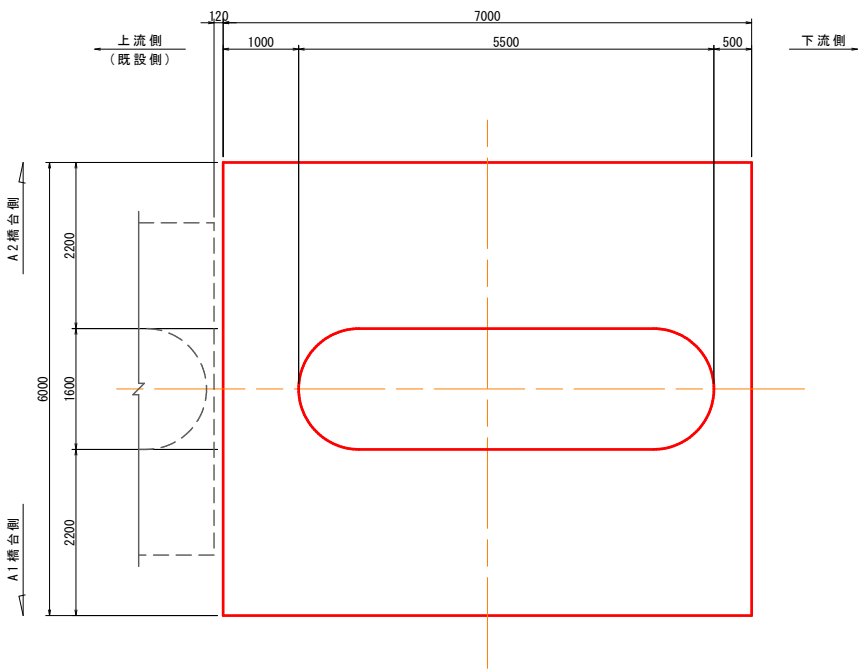
側面図(2-2)



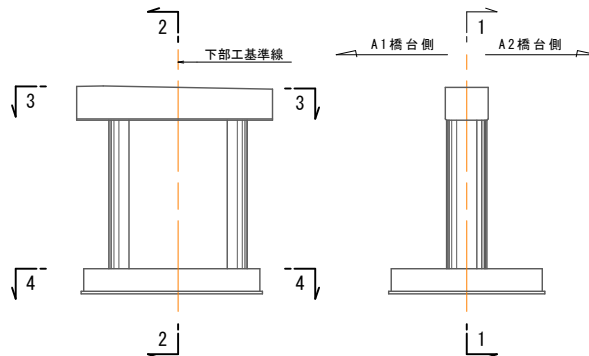
平面図(3-3)



底板平面図(4-4)



位置図



使用材料

コンクリート	梁	$\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
	柱・底版・中仕切り壁	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$
	均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$
鉄筋		SD345

※ 平板載荷試験等の支持力確認を行うこと。

08 公共

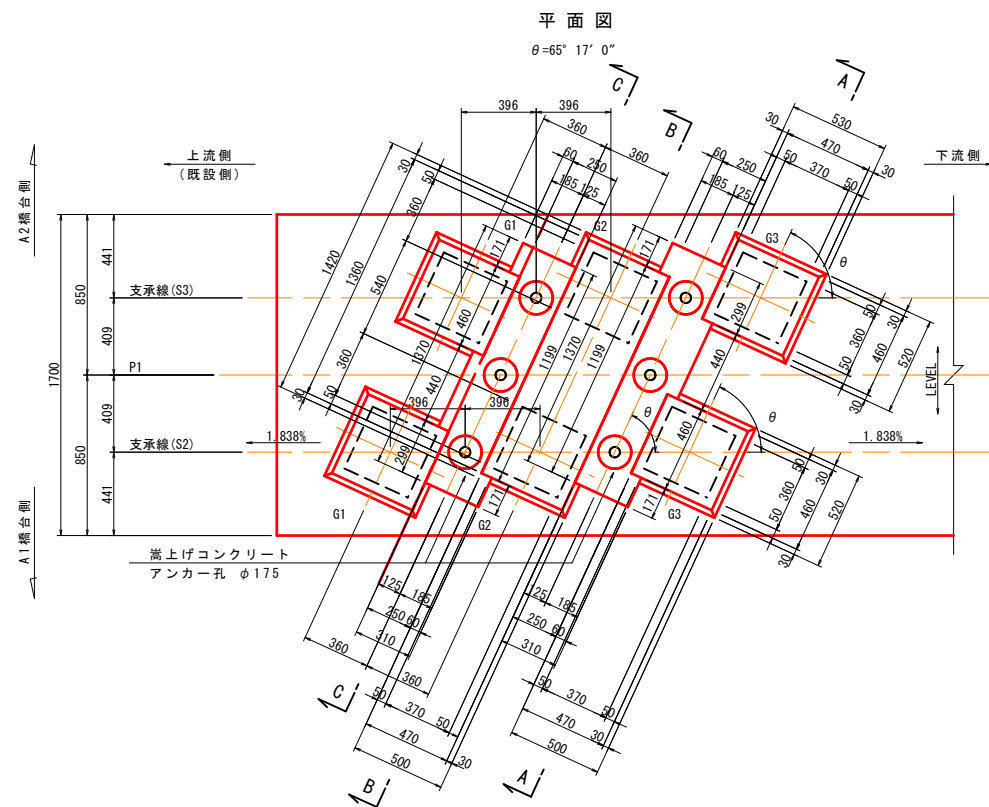
実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	P1橋脚構造一般図(その1)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	M・MM
図 号	全 3 1 葉中の内 1 3		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

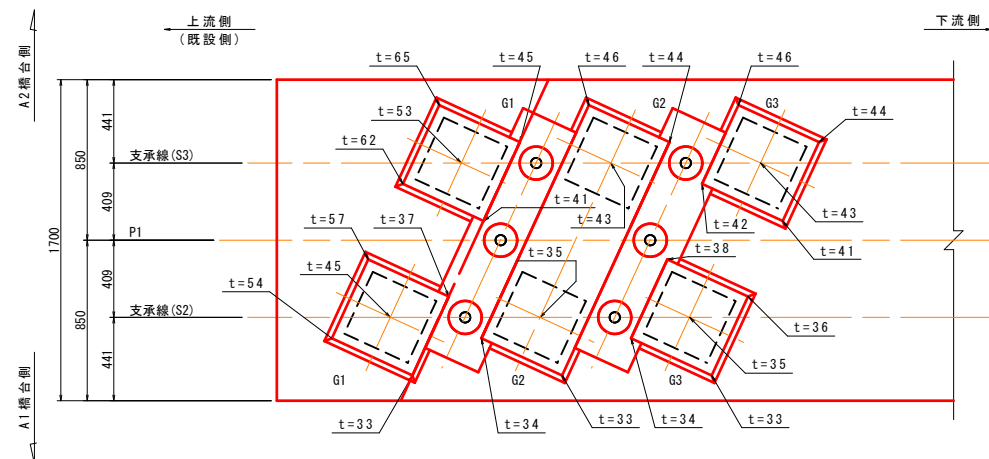
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚構造一般図(その2)

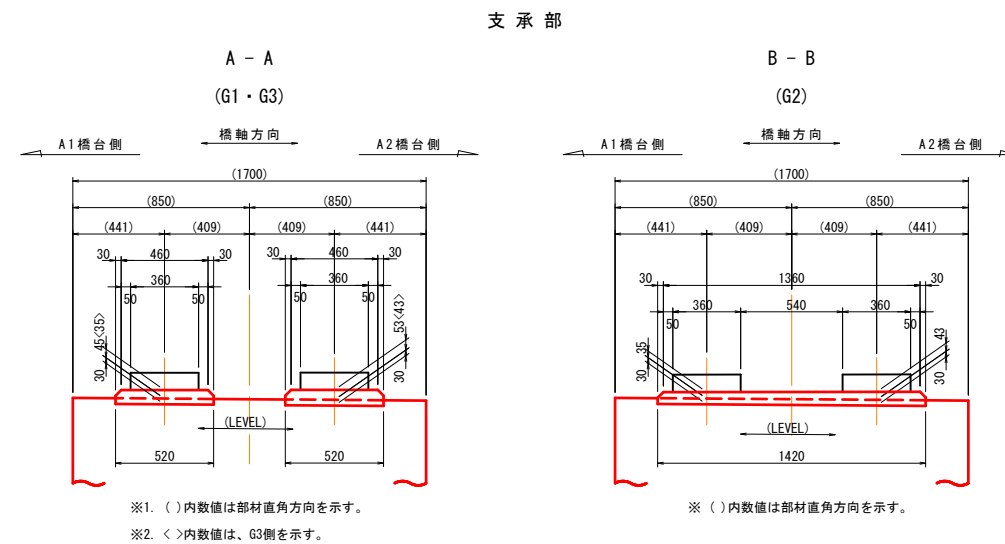
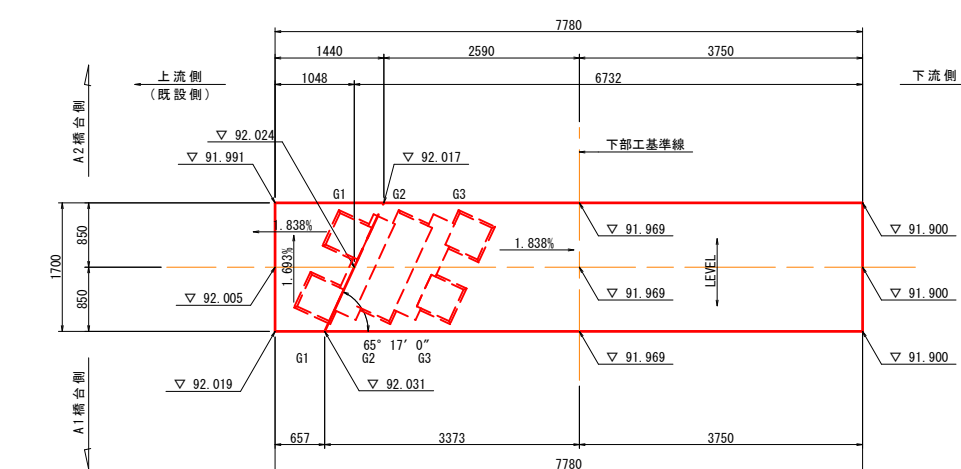
沓座及びアンカー孔箱抜き詳細図 S=1:20



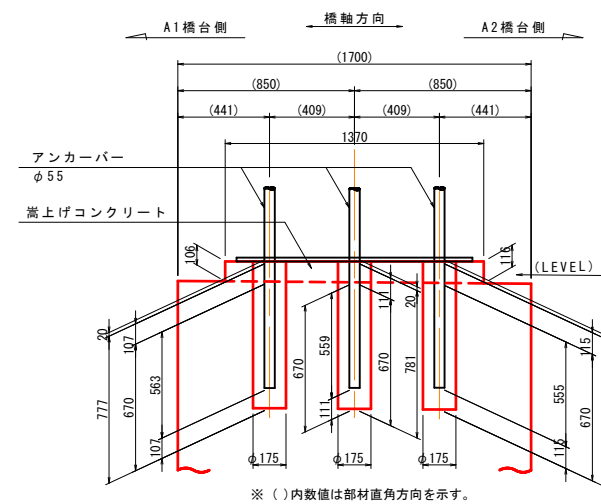
モルタル厚寸法図 S=1:20



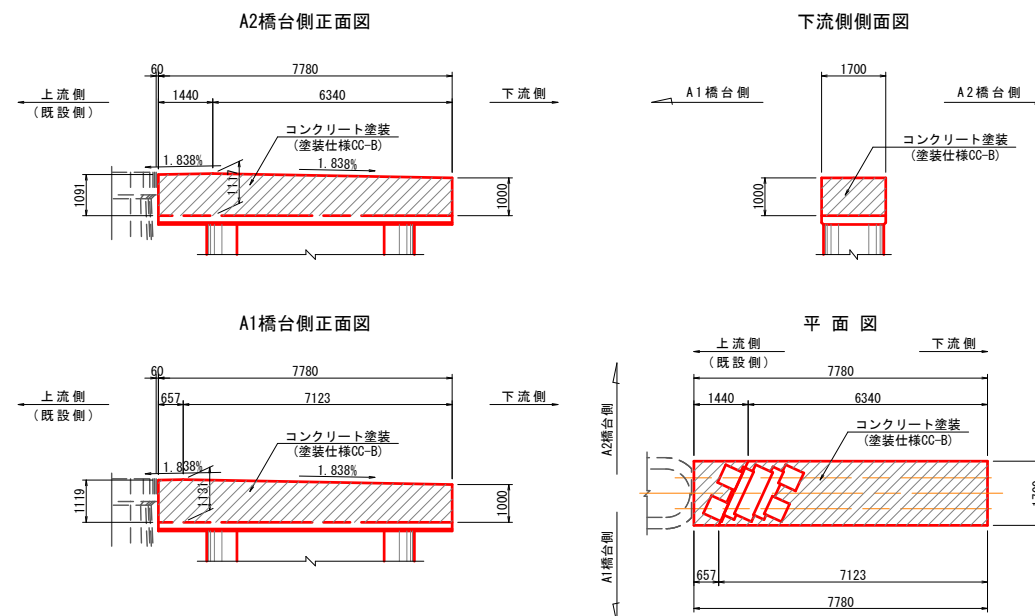
橋座計画高図 S=1:50



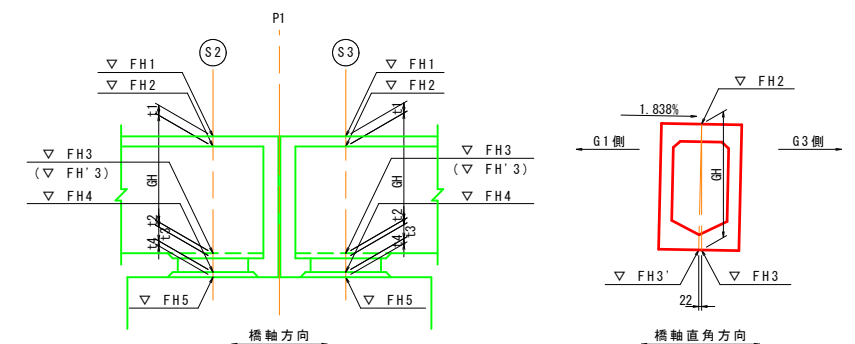
嵩上げコンクリート (C-C)
(n=2箇所)



コンクリート表面保護工 S=1:100



構造高図 S=1:30



支点構造高表

		P1橋脚 (S2)		P1橋脚 (S3)	
		G1	G3	G1	G3
橋面計画高	FH1	93.281	93.505	93.281	93.505
舗装厚	t1	0.119	0.372	0.119	0.372
桁天端高	FH2	93.162	93.133	93.162	93.133
桁高	GH	1.000	1.000	1.000	1.000
桁下高(鉛直方向)	FH3	92.162	92.133	92.162	92.133
桁下高(撥付位置)	FH3'	92.162	92.133	92.162	92.133
レア厚	t2	0.003	0.003	0.002	0.002
音厚	t3	0.092	0.092	0.092	0.092
寄座モルタル天端高	FH4	92.067	92.038	92.068	92.039
寄座モルタル	t4	0.045	0.035	0.053	0.043
橋座計画高	FH5	92.022	92.003	92.015	91.996

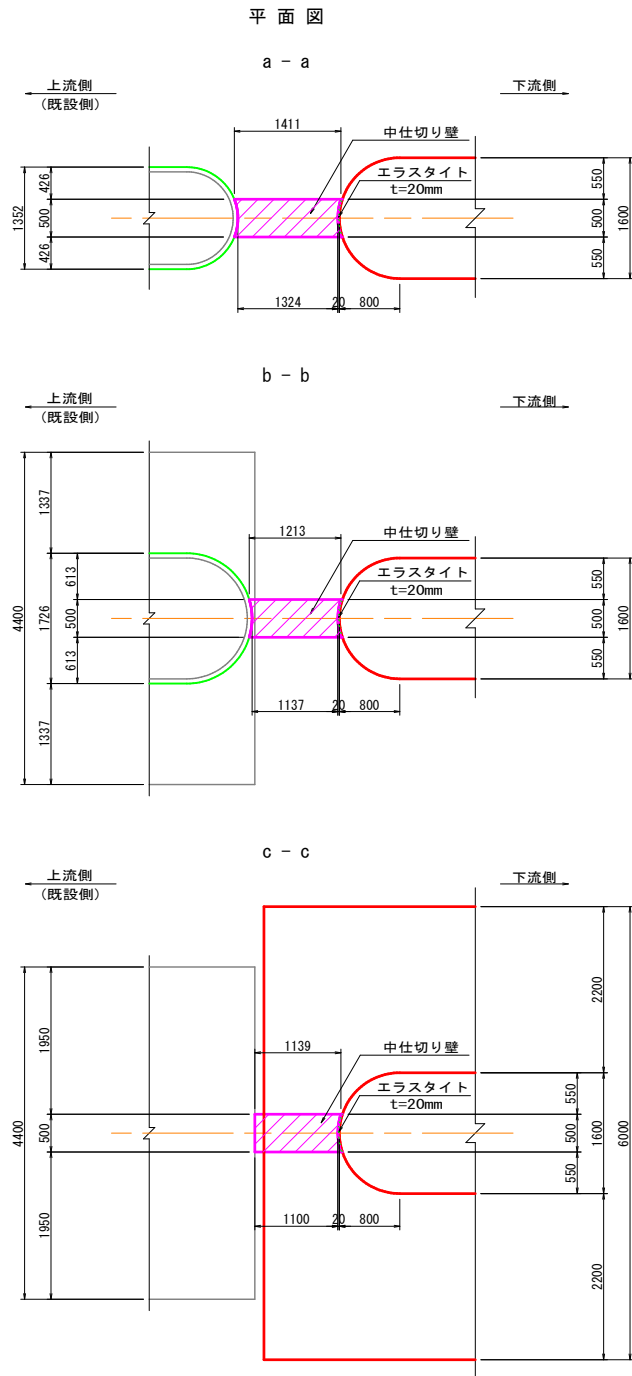
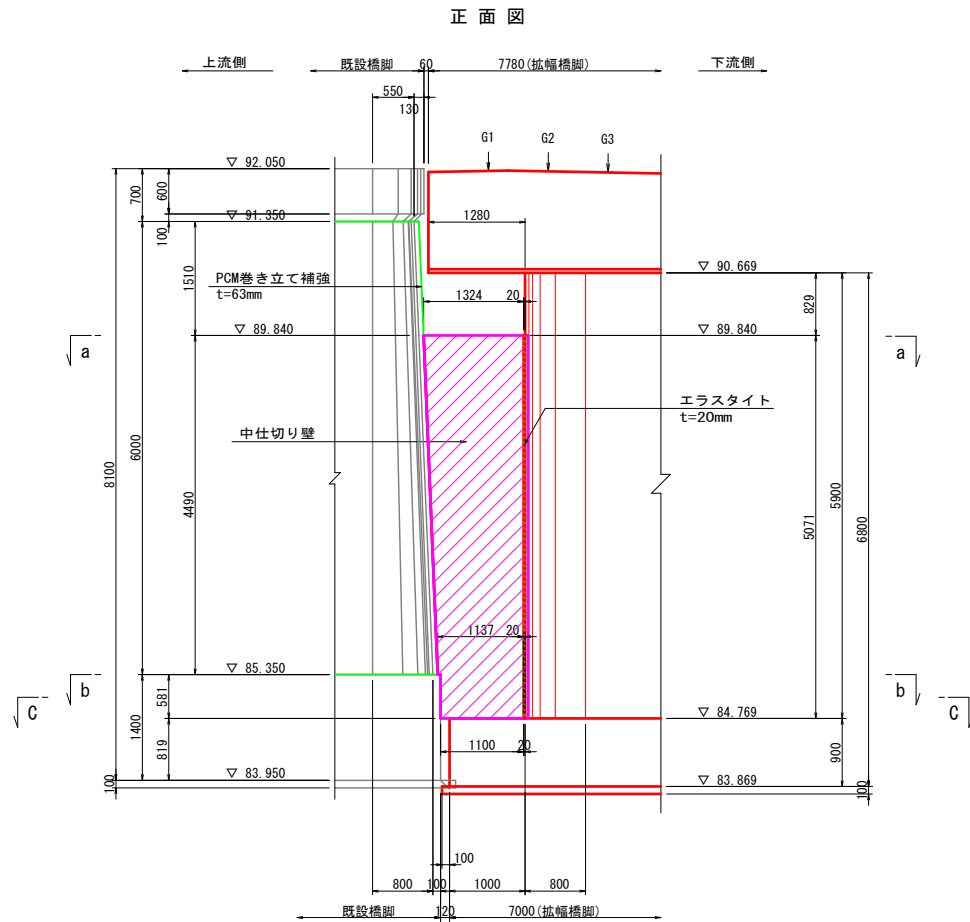
08 公共		実施設計	
路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名	P1橋脚構造一般図(その2)		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	図示	単位	M・MM
図号	全 3 1 葉中の内 1 4		
令和 8 年度施行			鳥取県
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚構造一般図(その3) S=1:50

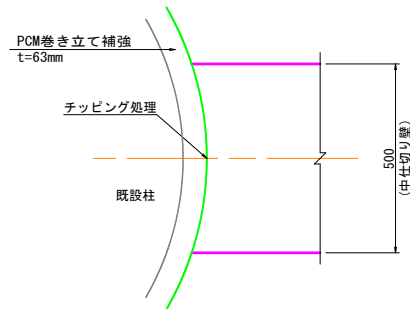
中仕切り壁詳細図

※ 既設橋脚の構造形状については、既存図書からの復元であり参考値とする。
施工時には現地実測のうえ調整を行うこと。



既設柱詳細図

S=1:10



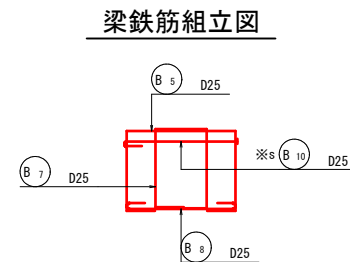
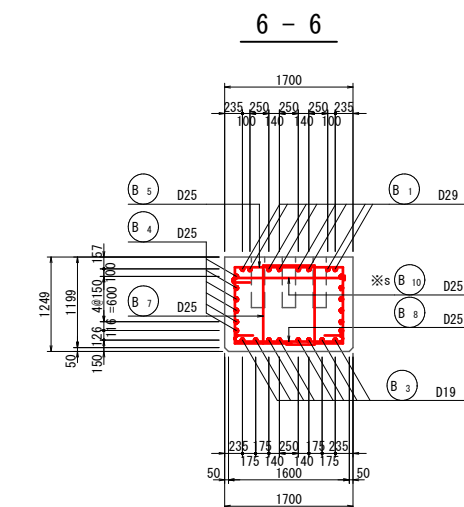
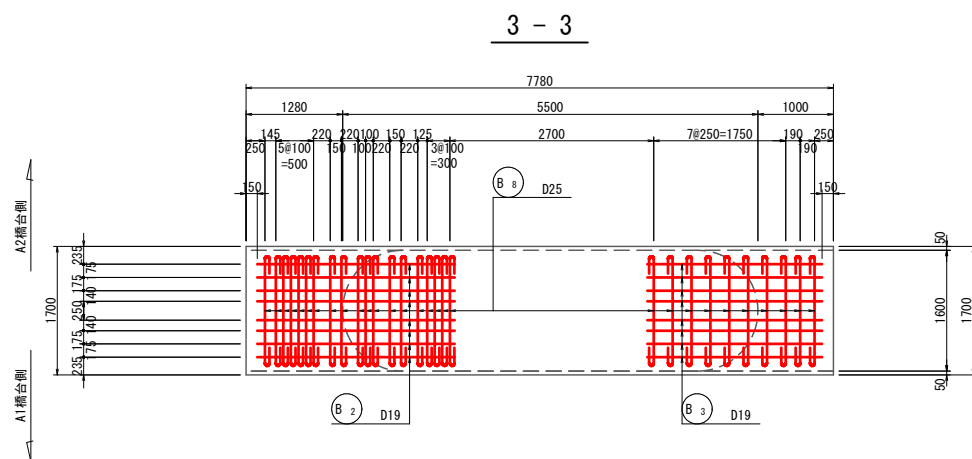
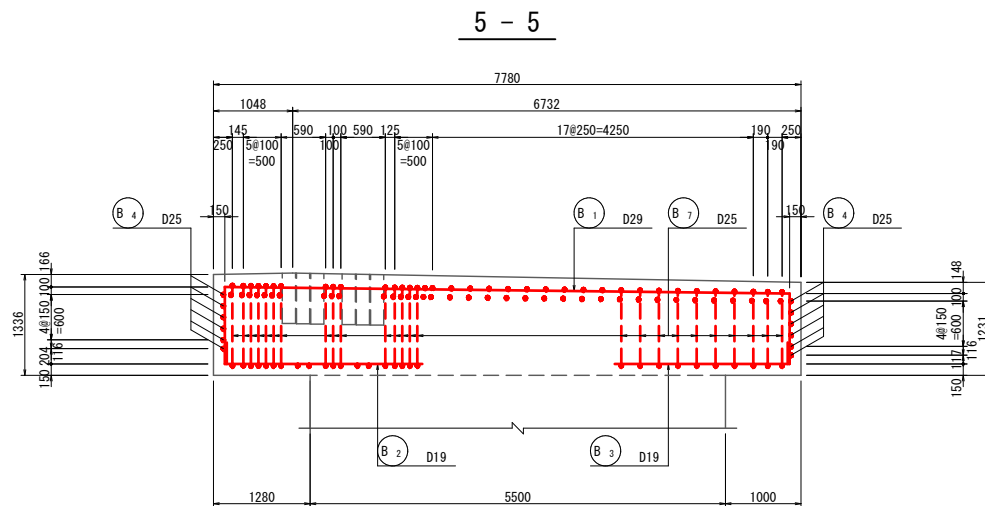
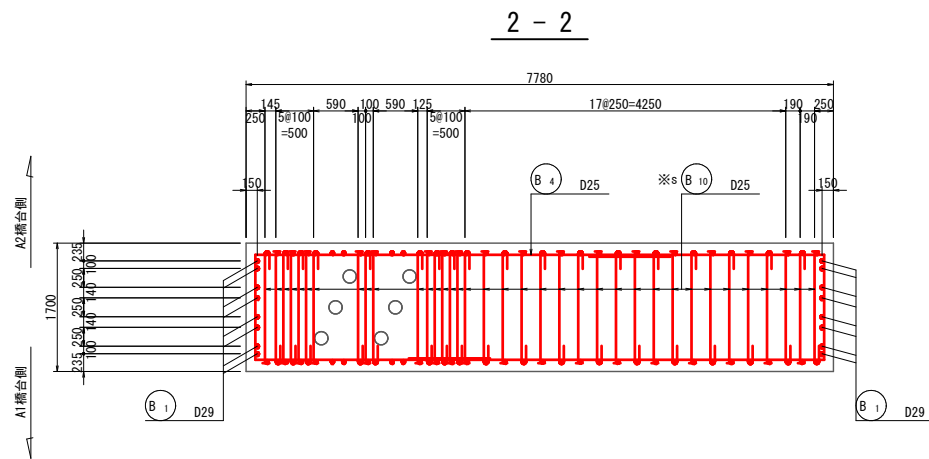
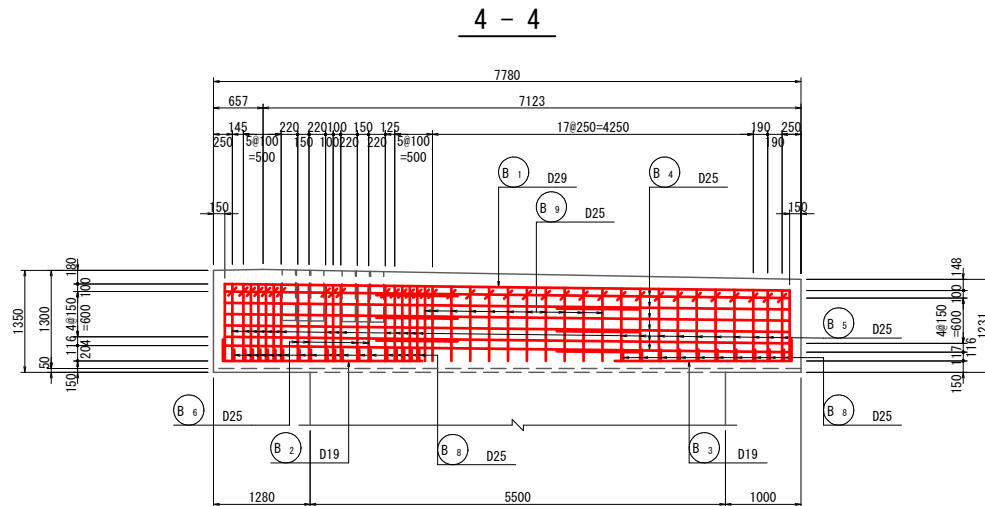
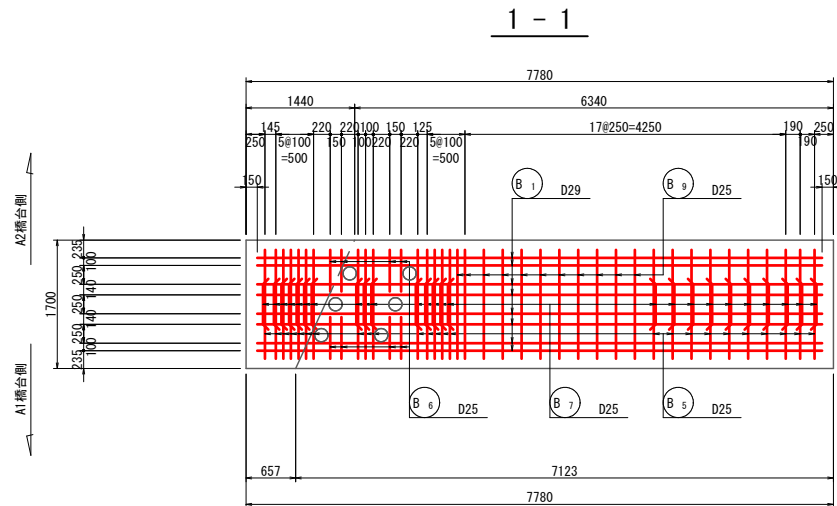
注) 中仕切り壁を設置する既設面はチップング処理を行うこと。

08 公共 実施設計

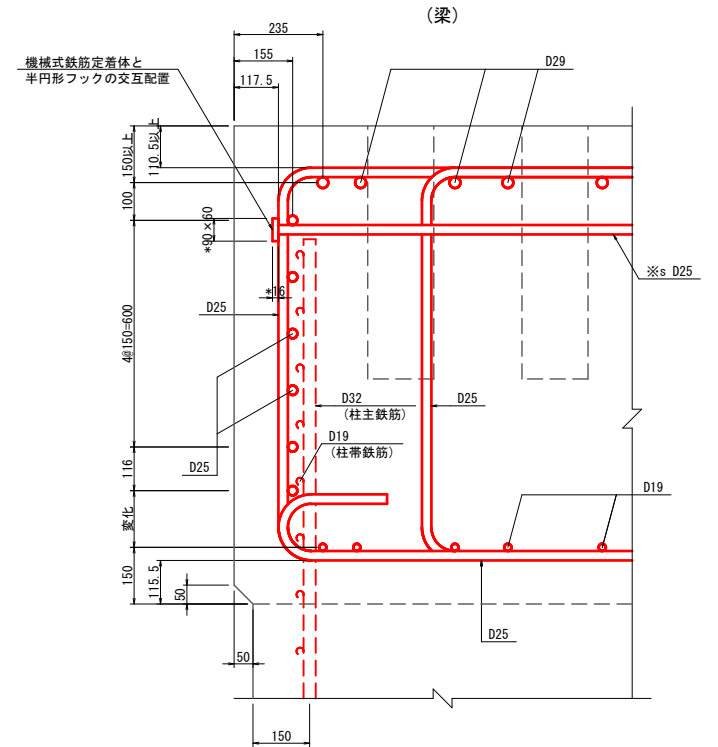
路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	P1橋脚構造一般図(その3)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図示	単位	M・MM
図 号	全 3 1 葉中の内 1 5		
令和 8 年度施行			鳥取県
中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚配筋図(その1) S=1:50

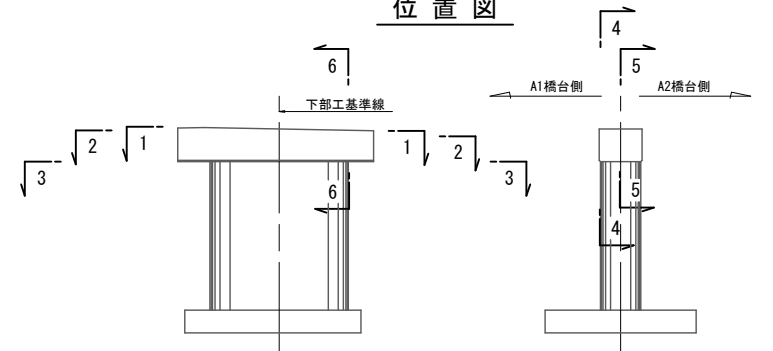


かぶり詳細図 S=1:10



注) 機械式鉄筋定着体については純かぶりを90mm以上確保できる製品を使用すること。
(かぶり詳細図の*印寸法は参考値とする)

位置図



使用材料

コンクリート	梁	$\sigma_{ck} = 30N/mm^2$
	柱・底版	$\sigma_{ck} = 24N/mm^2$
鉄筋		SD345

08 公共 実施設計

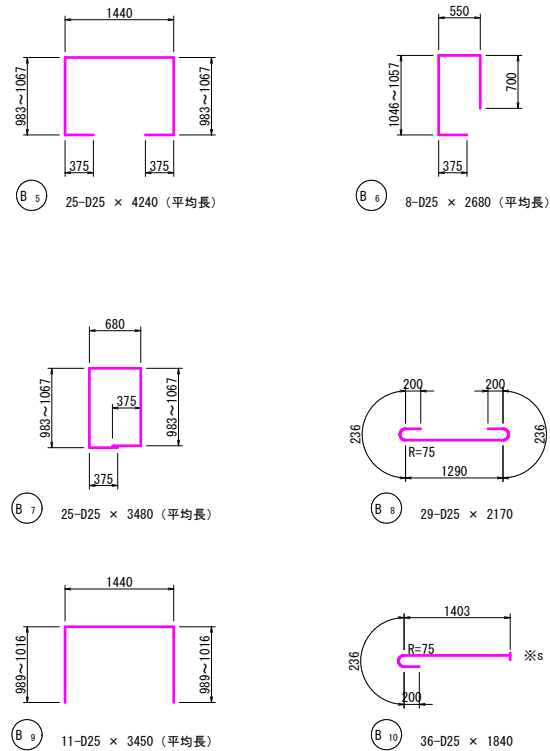
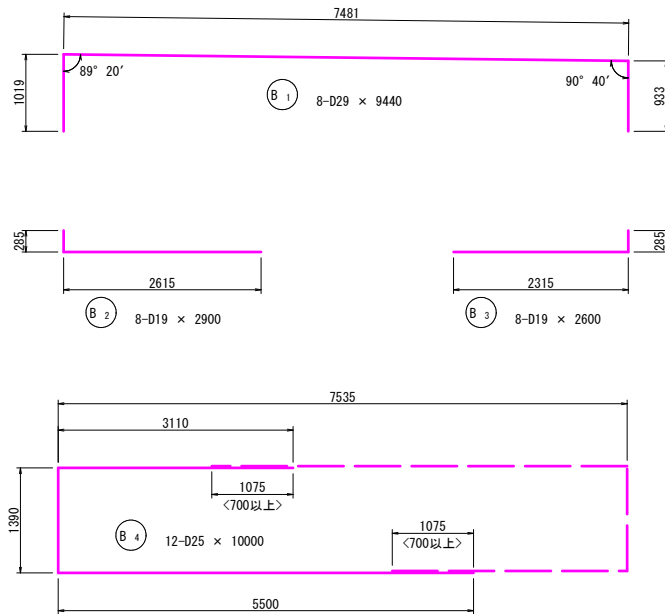
【機械式鉄筋定着工法特記事項】
※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注1) 円弧部や斜角部に定着体を使用した場合、囲む鉄筋に対して定着体が斜め掛けとなり、純かぶりの不足や塑性領域においては、性能を満足できない可能性があるため本設計図では定着体を使用せず半円形フックとしている。
注2) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	P1橋脚配筋図(その1)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 3 1 葉中の内 1 6		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

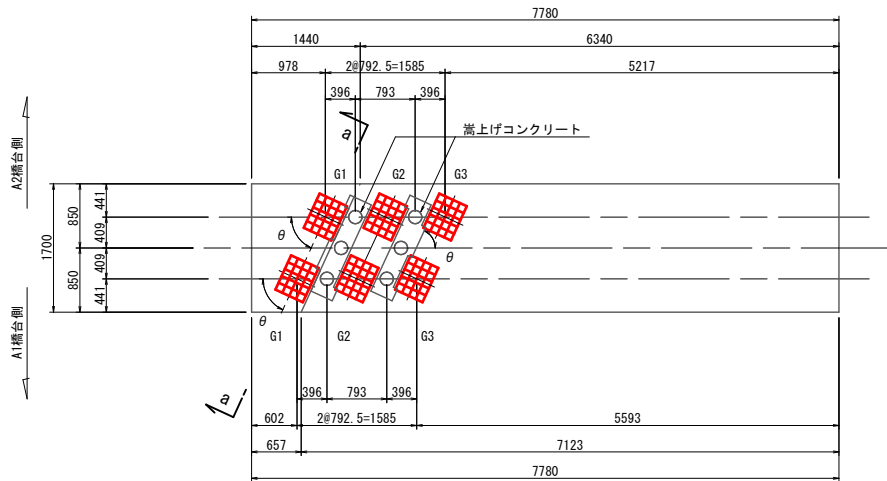
P1橋脚配筋図(その2)

鉄筋加工図 S=1:50

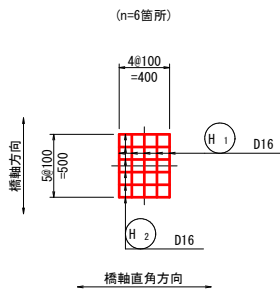


沓座補強配置図

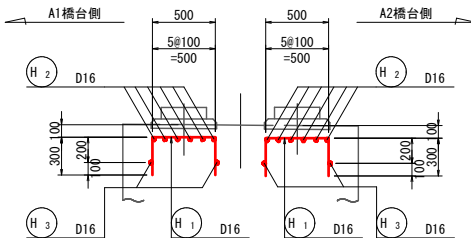
平面図 S=1:50
 $\theta = 65^\circ 17' 0''$



沓座補強鉄筋 S=1:30



a-a S=1:30



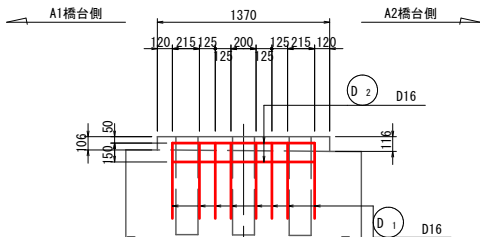
嵩上げコンクリート配筋図

S=1:30

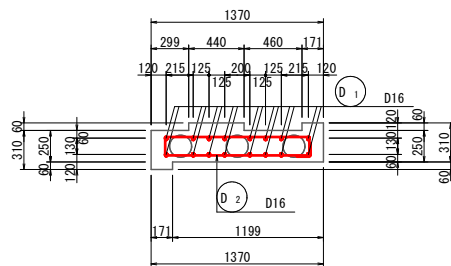
注) アンカーボイドが鉄筋に干渉する箇所については
現場にてアンカーボイドを削り鉄筋を設置すること。

(G1-G2間)

断面図

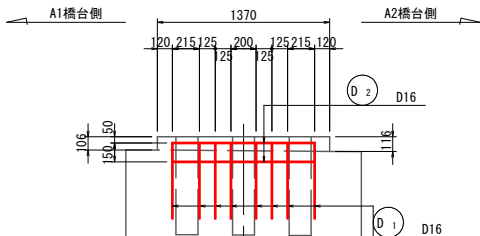


平面図

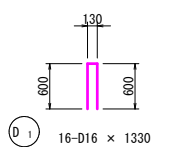
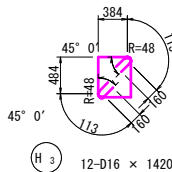
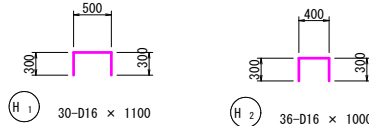
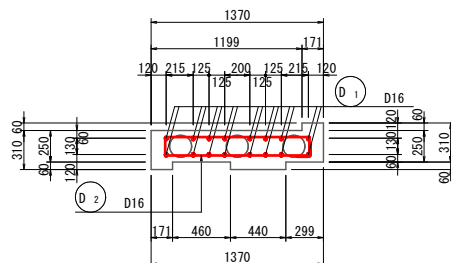


(G2-G3間)

断面図



平面図



【機械式鉄筋定着工法特記事項】

※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への
機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を
満足すること。

1. 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

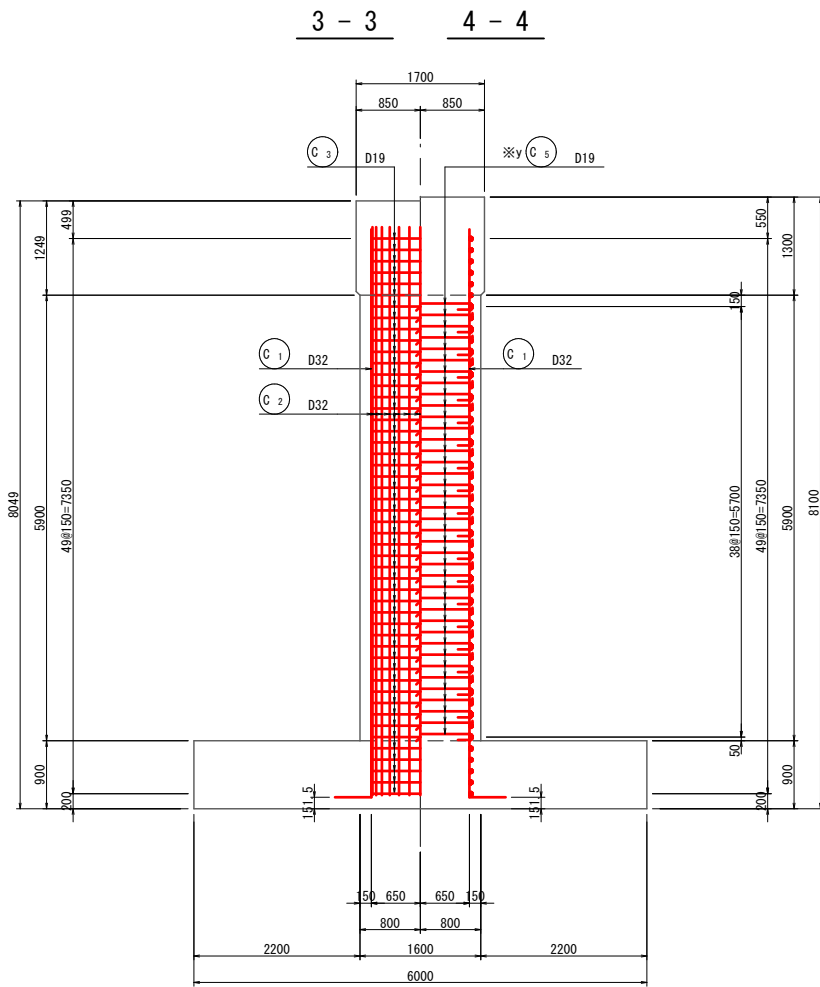
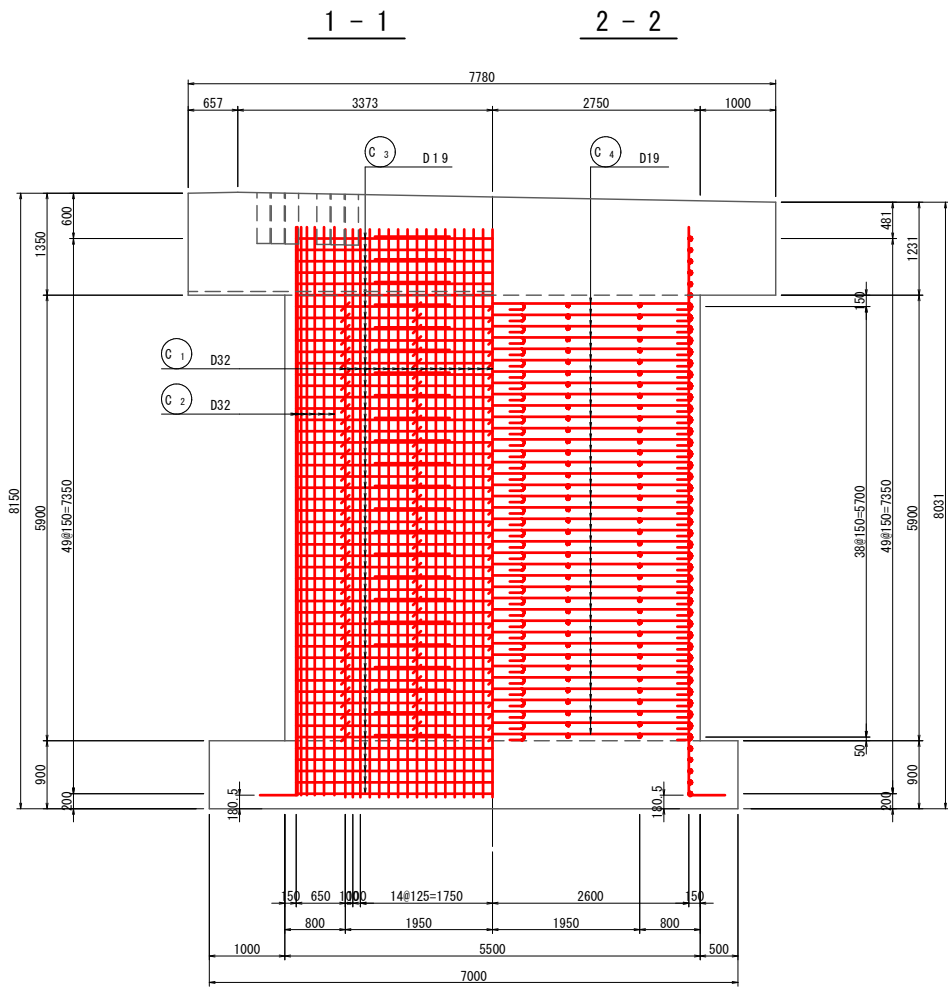
注1) 円弧部や斜角部に定着体を使用した場合、囲む鉄筋に
対して定着体が斜め掛けとなり、純かぶりの不足や
塑性領域においては、性能を満足できない可能性があるため
本設計図では定着体を使用せず半円形フックとしている。

注2) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

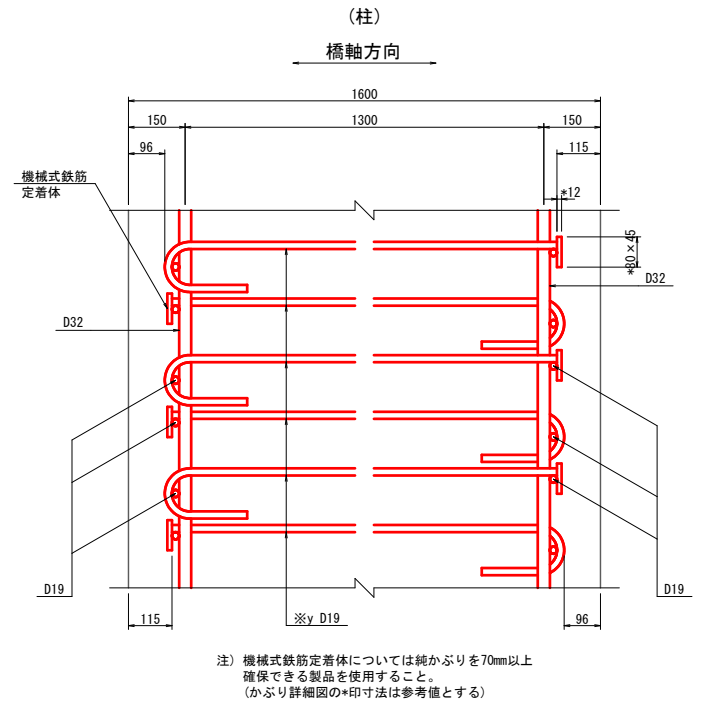
08 公共 実施設計	
路線名	県道三期中線
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図名	P1橋脚配筋図(その2)
位置	東伯郡三朝町片柴
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 31 葉中の内 17
令和 8 年度施行	鳥取県
中部総合事務所 県土整備局	

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

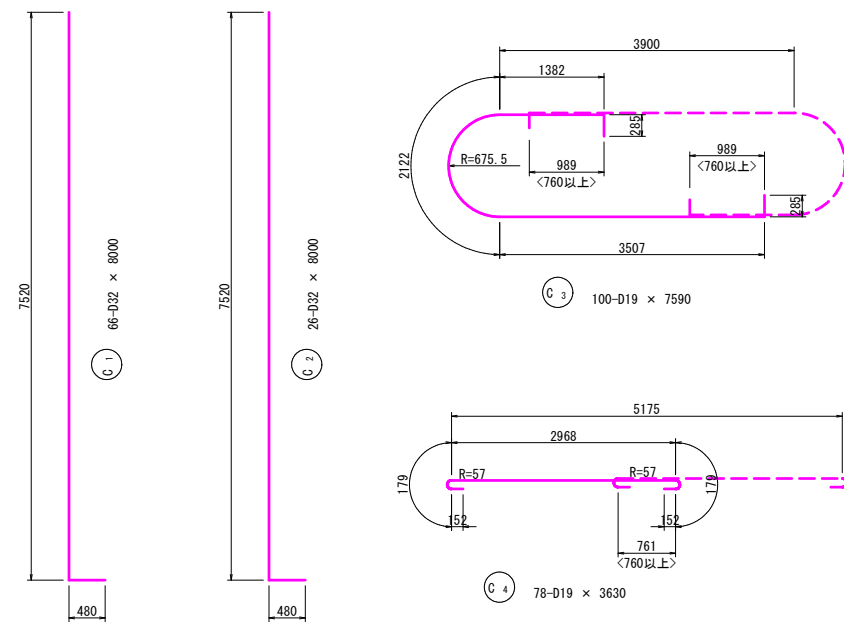
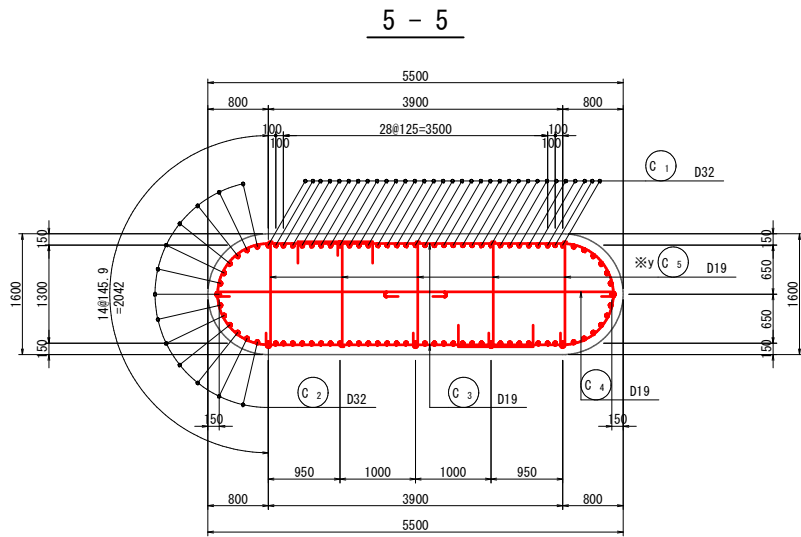
P1橋脚配筋図(その3) S=1:50



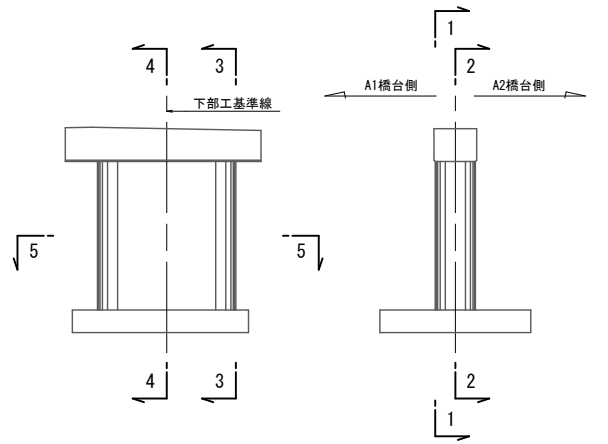
かぶり詳細図 S=1:10



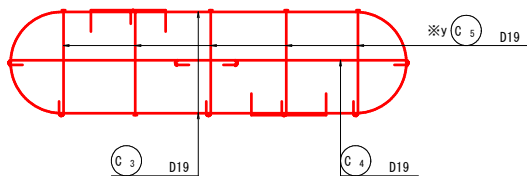
鉄筋加工図



位置図



帯鉄筋組立図



注) 横拘束鉄筋用の定着体(※y)が鉄筋重ね継手部に掛かる場合は、下記の点に留意すること。
1. 配筋上可能であれば、継手部には半円形フック側を配置すること。
その際、部分的に半円形フックと定着体が交互配置にならなくても良いものとする。
2. 継手部に半円形フック側を配置出来ない場合は、継手部2本の鉄筋を拘束できる形状の定着体を使用すること。

【機械式鉄筋定着工法特記事項】

※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。

1. 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

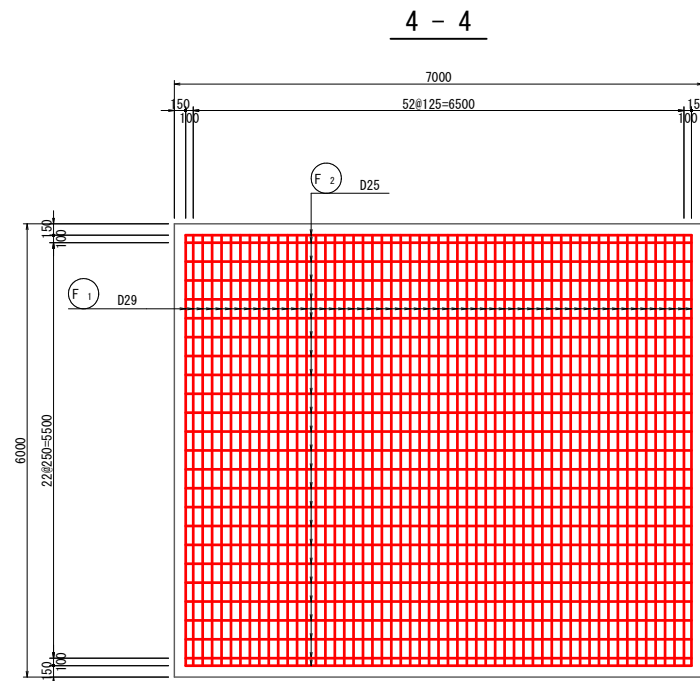
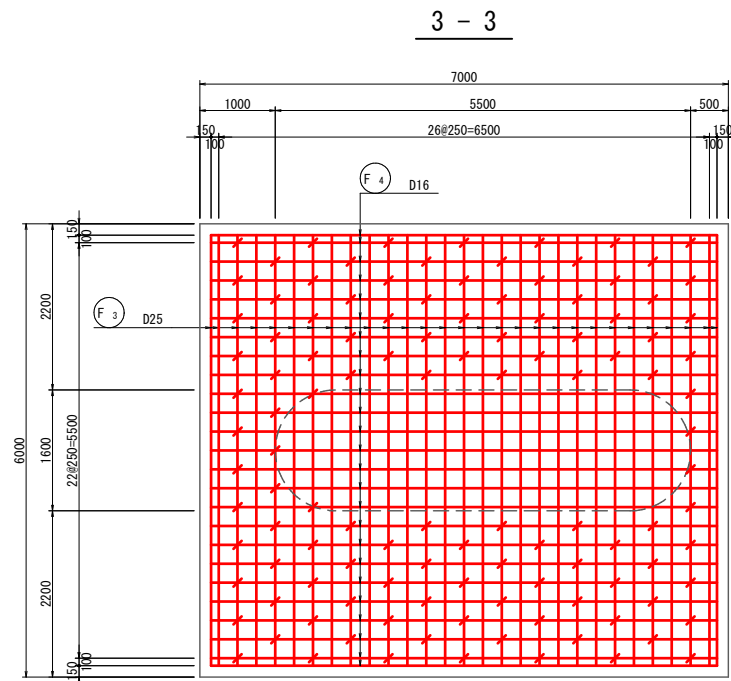
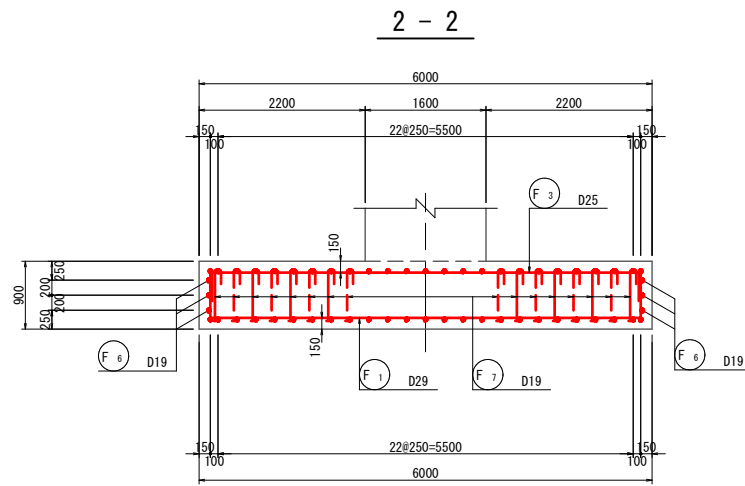
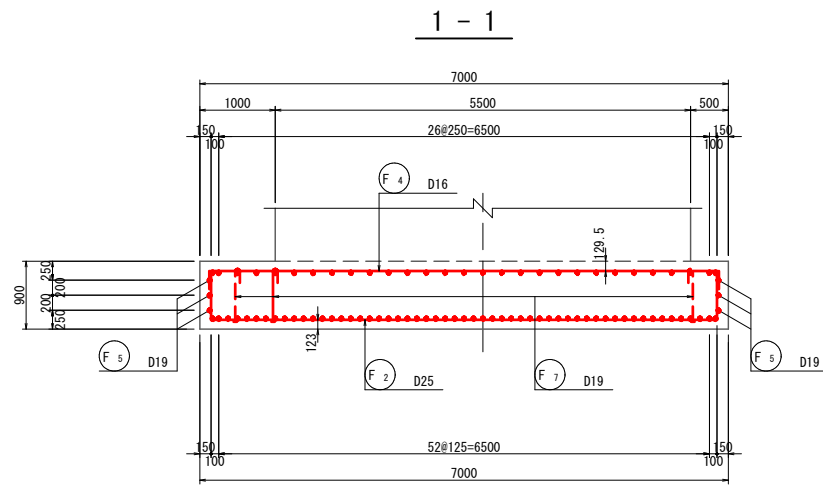
注1) 円弧部や斜角部に定着体を使用した場合、囲む鉄筋に対して定着体が斜め掛けとなり、純かぶりの不足や塑性領域においては、性能を満足できない可能性があるため本設計図では定着体を使用せず半円形フックとしている。

注2) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

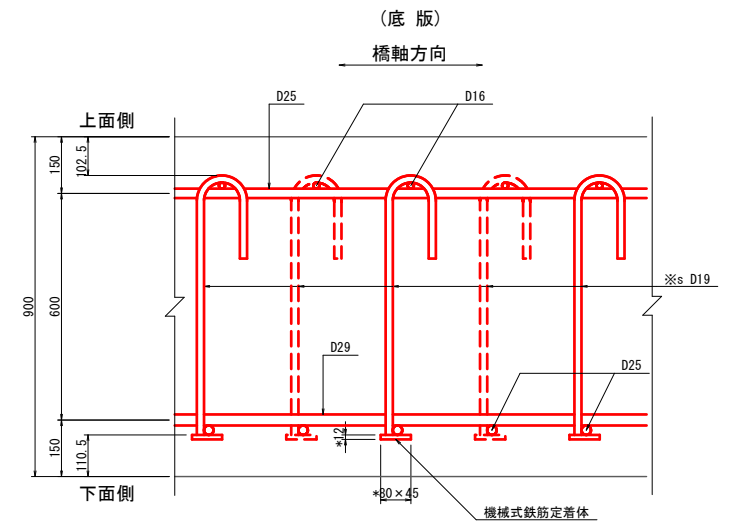
08 公共 実施設計	
路線名	県道三期中線
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図名	P1橋脚配筋図(その3)
位置	東伯郡三町片柴
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 31 葉中の内 18
令和 8 年度施行 鳥取県	
中部総合事務所 県土整備局	

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚配筋図(その4) S=1:50

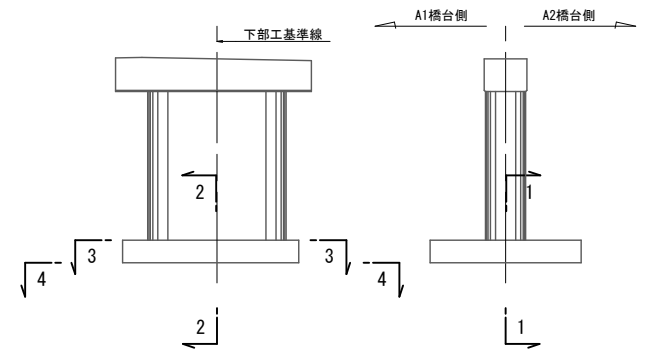


かぶり詳細図 S=1:10

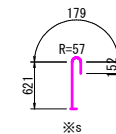
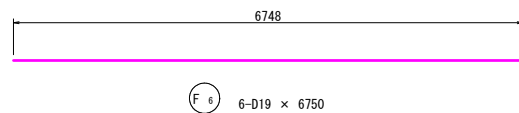
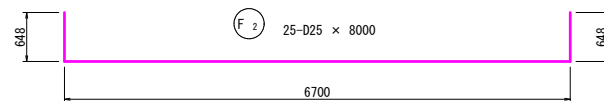
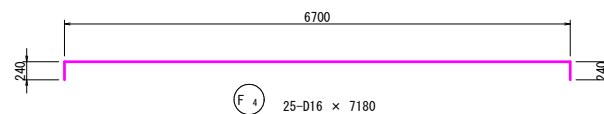
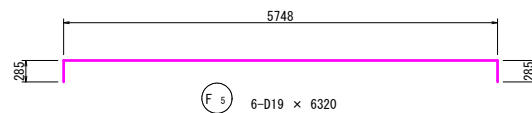
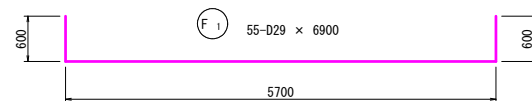
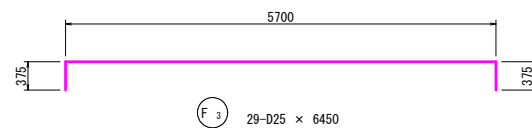


注) 機械式鉄筋定着体については純かぶりを70mm以上確保できる製品を使用すること。
(かぶり詳細図の*印寸法は参考値とする)

位置図



鉄筋加工図



注) 半円形フックを上側、定着体を下側に配置すること。

【機械式鉄筋定着工法特記事項】
※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注1) 円弧部や斜角部に定着体を使用した場合、囲む鉄筋に対して定着体が斜め掛けとなり、純かぶりの不足や塑性領域においては、性能を満足できない可能性があるため本設計図では定着体を使用せず半円形フックとしている。
注2) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

08 公共		実施設計			
路線名		県道三朝中線			
		(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名		P1橋脚配筋図(その4)			
位置		東伯郡三朝町片柴			
縮尺		図示	単位	MM	
図号		全 31 葉中の内 19			
令和 8 年度施行				鳥取県	
中部総合事務所 県土整備局					

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚配筋図(その5)

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
B 1	D29	9440	8	5.04	47.58	381	
B 2	D19	2900	8	2.25	6.53	52	
B 3	"	2600	8	"	5.85	47	
B 4	D25	10000	12	3.98	39.80	478	
B 5	"	4240	25	"	16.88	422	 (平均長)
B 6	"	2680	8	"	10.67	85	 (平均長)
B 7	"	3480	25	"	13.85	346	 (平均長)
B 8	"	2170	29	"	8.64	251	
B 9	"	3450	11	"	13.73	151	 (平均長)
B 10	"	1840	36	"	7.32	264	 ※g
2477							
H 1	D16	1100	30	1.56	1.72	52	
H 2	"	1000	36	"	1.56	56	
H 3	"	1420	12	"	2.22	27	
135							
D 1	D16	1330	16	1.56	2.07	33	
D 2	"	2850	4	"	4.45	18	
51							
C 1	D32	8000	66	6.23	49.84	3289	
C 2	"	8000	26	"	49.84	1296	
C 3	D19	7590	100	2.25	17.08	1708	
C 4	"	3630	78	"	8.17	637	
C 5	"	1660	195	"	3.74	729	 ※y
7659							
F 1	D29	6900	55	5.04	34.78	1913	
F 2	D25	8000	25	3.98	31.84	796	
F 3	"	6450	29	"	25.67	744	
F 4	D16	7180	25	1.56	11.20	280	
F 5	D19	6320	6	2.25	14.22	85	
F 6	"	6750	6	"	15.19	91	
F 7	"	960	117	"	2.16	253	 ※g
4162							
D32				4585 kg			
D29				2294 kg			
D25				3537 kg			
D19				3602 kg			
D16				466 kg			
合 計				14484 kg			

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数			
	0 < L ≤ 1m	1m < L ≤ 2m	2m < L ≤ 3m	3m < L ≤ 4m
D19	117	—	—	—
D25	—	36	—	—
小 計	117	36	—	—
合 計				153

横拘束鉄筋

鉄筋径	箇 所 数			
	$0 < L \leq 1m$	$1m < L \leq 2m$	$2m < L \leq 3m$	$3m < L \leq 4m$
D19	—	195	—	—
小 計	—	195	—	—
合 計	195			

使用材料

コンクリート	梁	$\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
	柱・底版	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$
鉄筋		SD345

【機械式鉄筋定着工法特記事項】

※s印表記はせん断補強鉄筋、※y印表記は横拘束鉄筋への機械式鉄筋定着工法を示すものであり下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注1) 円弧部や斜角部に定着体を使用した場合、囲む鉄筋に

対して定着体が斜め掛けとなり、純かぶりの不足や塑性領域においては、性能を満足できない可能性があるため本設計図では定着体を使用せず半円形フックとしている。

注2) 施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の承認を得て工事を実施すること。

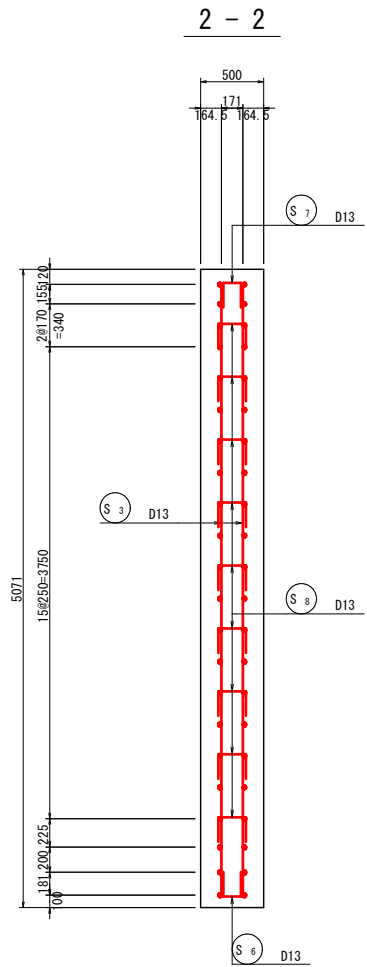
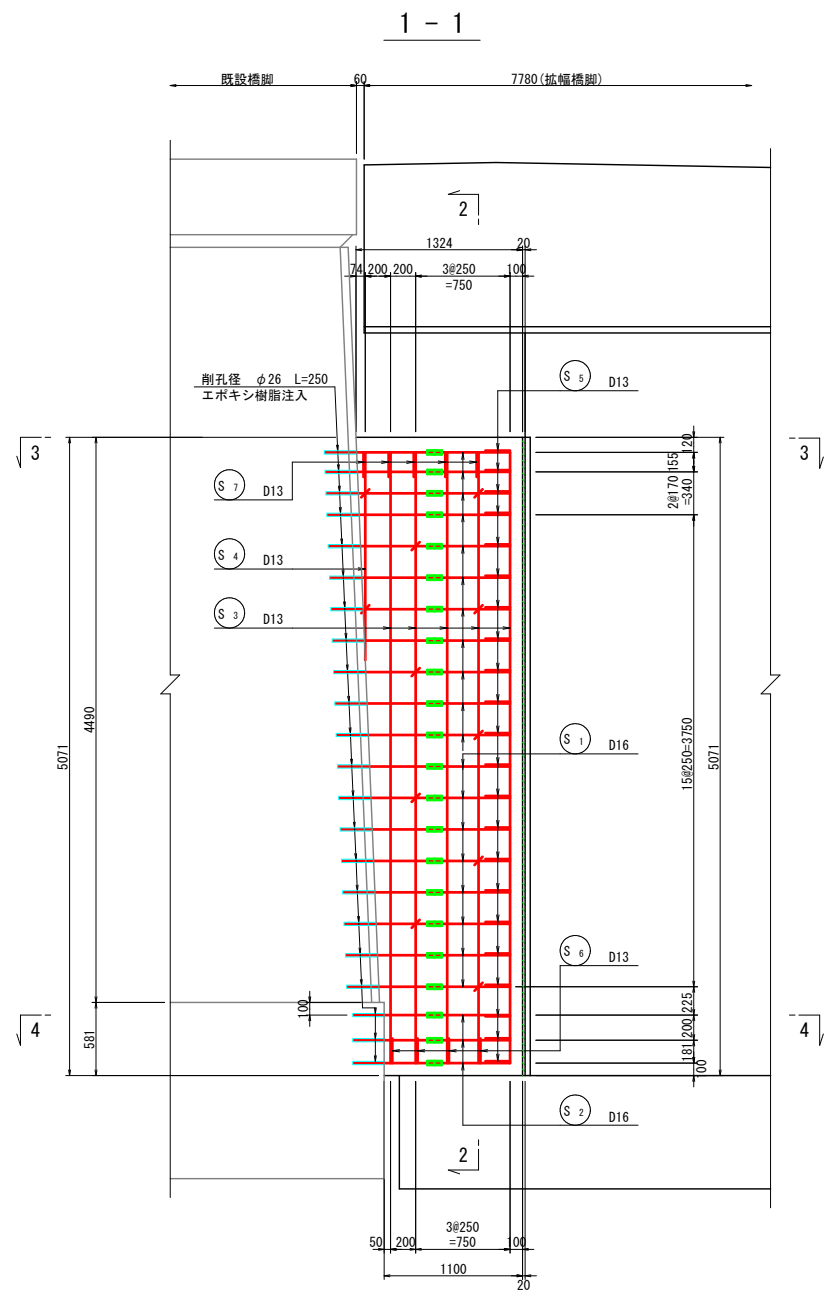
08 公共

実施設計

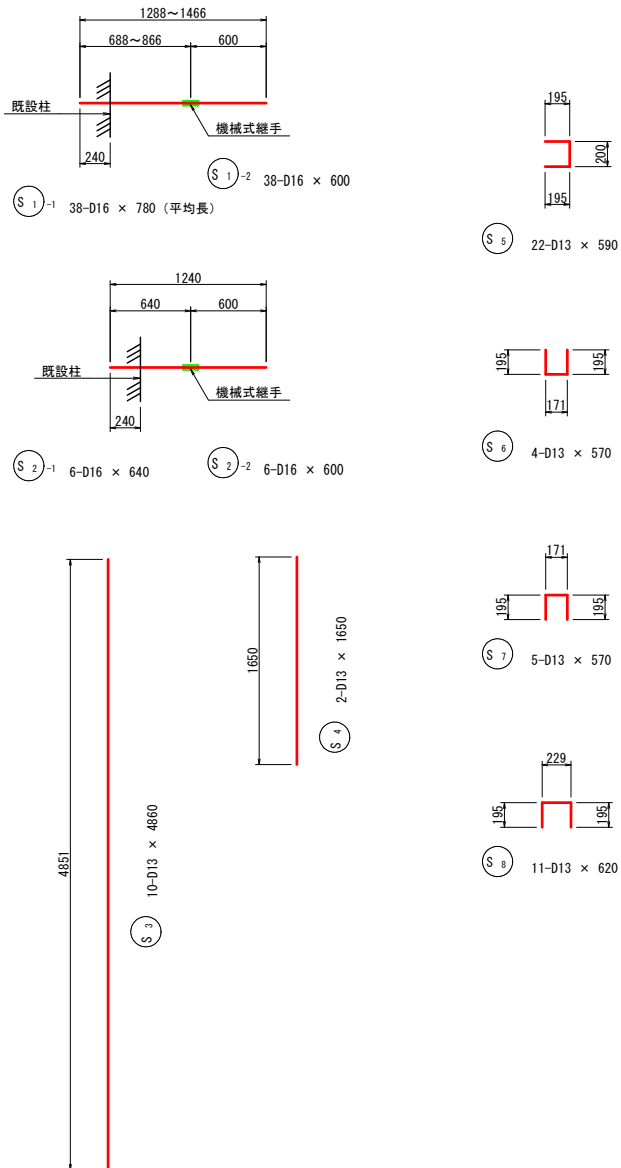
路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名	P1橋脚配筋図 (その5)		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	-	単位	MM
図号	全 3 1 葉の中 2 0		
令和 8 年度施行			鳥取県
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P1橋脚中仕切り壁配筋図 S=1:30

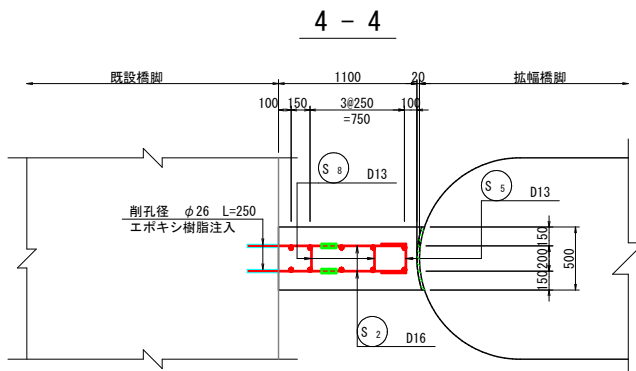
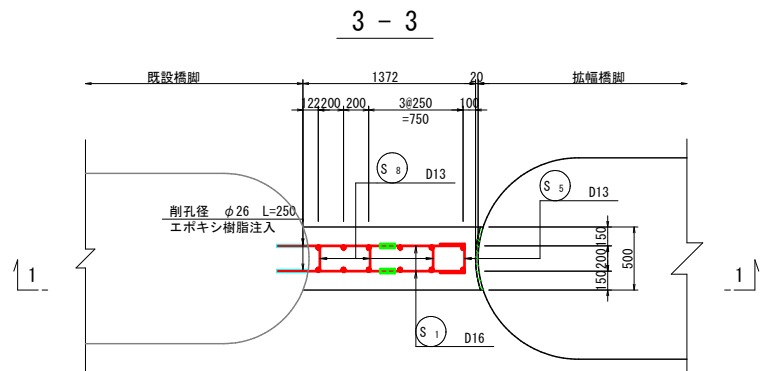


鉄筋加工図

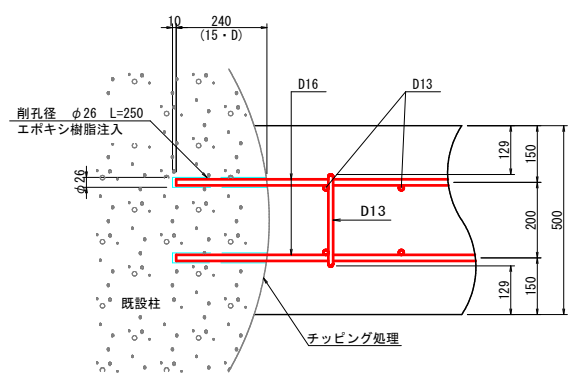


鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
S 1-1	D16	780	38	1.56	1.22	46	 (平均長) (38)
S 1-2	"	600	38	"	0.94	36	
S 2-1	"	640	6	"	1.00	6	 (6)
S 2-2	"	600	6	"	0.94	6	
S 3	D13	4860	10	0.995	4.84	48	
S 4	"	1650	2	"	1.64	3	
S 5	"	590	22	"	0.59	13	
S 6	"	570	4	"	0.57	2	
S 7	"	570	5	"	0.57	3	
S 8	"	620	11	"	0.62	7	
170							
機械式継手箇所							
D16				94 kg	(44)		
D13				76 kg			
合 計				170 kg	(44)		
アンカー削孔				φ26×250	44 箇所		



定着部詳細図 S=1:10



使用材料

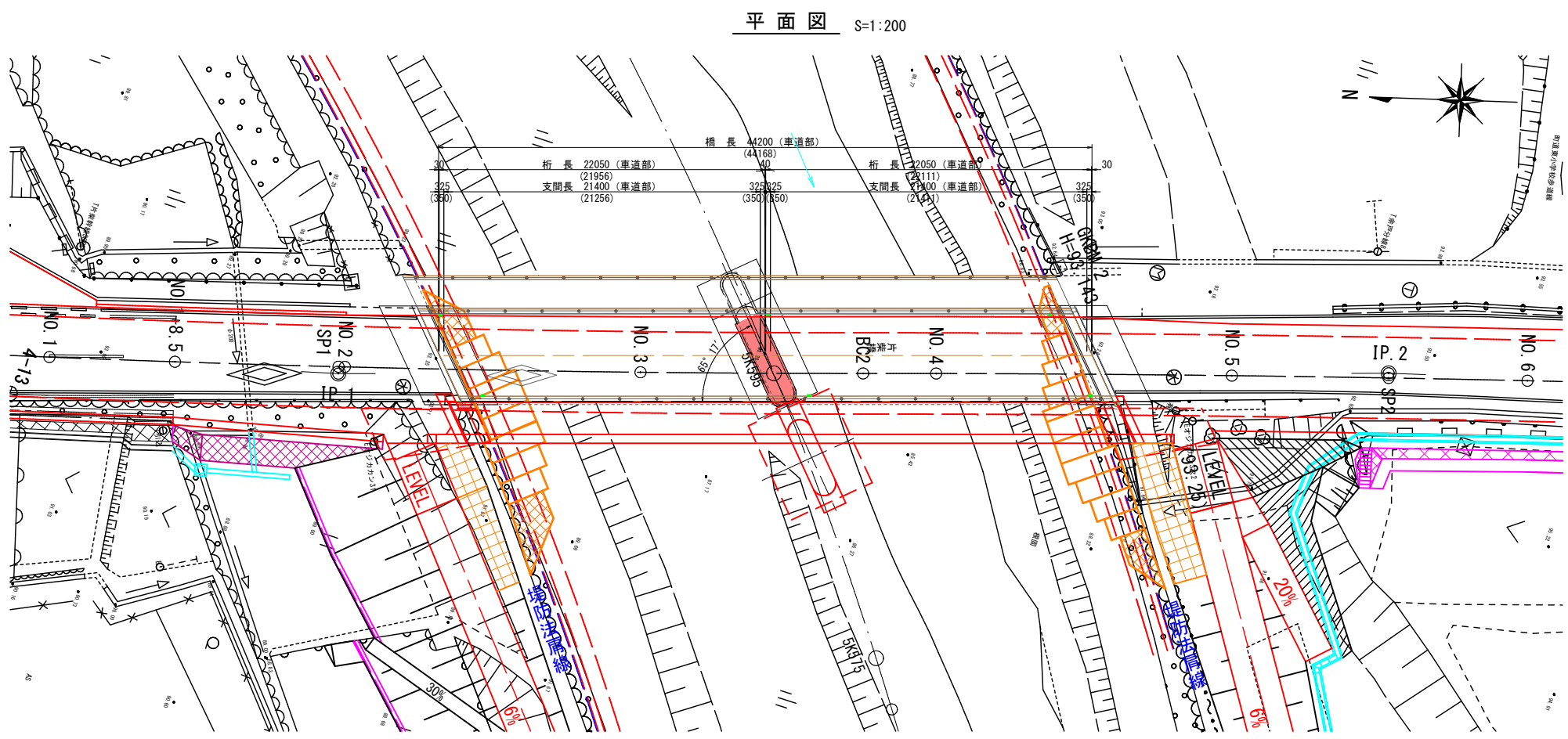
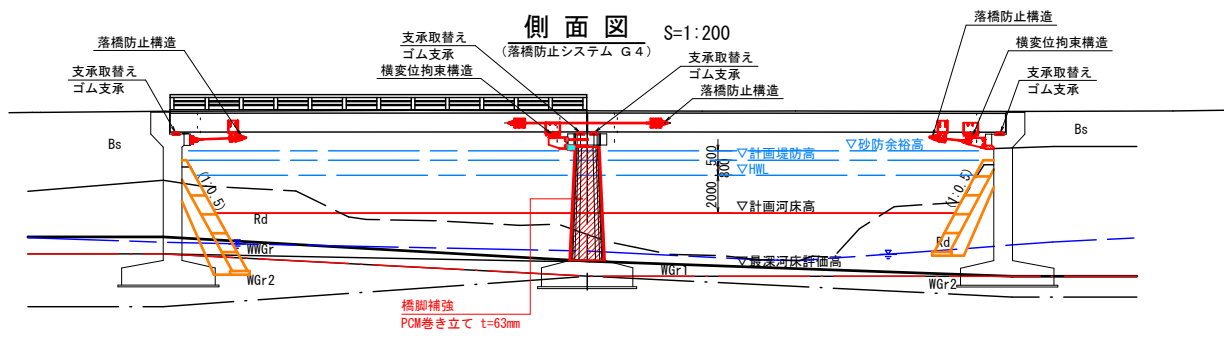
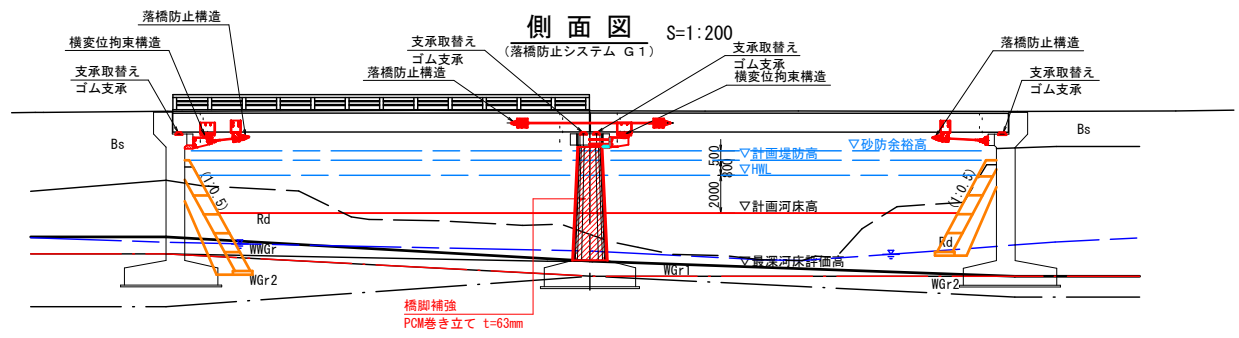
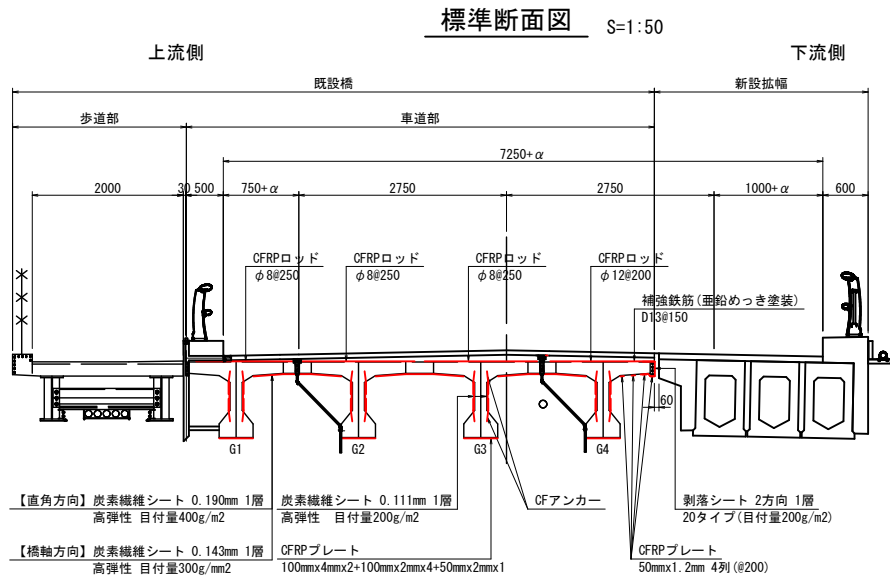
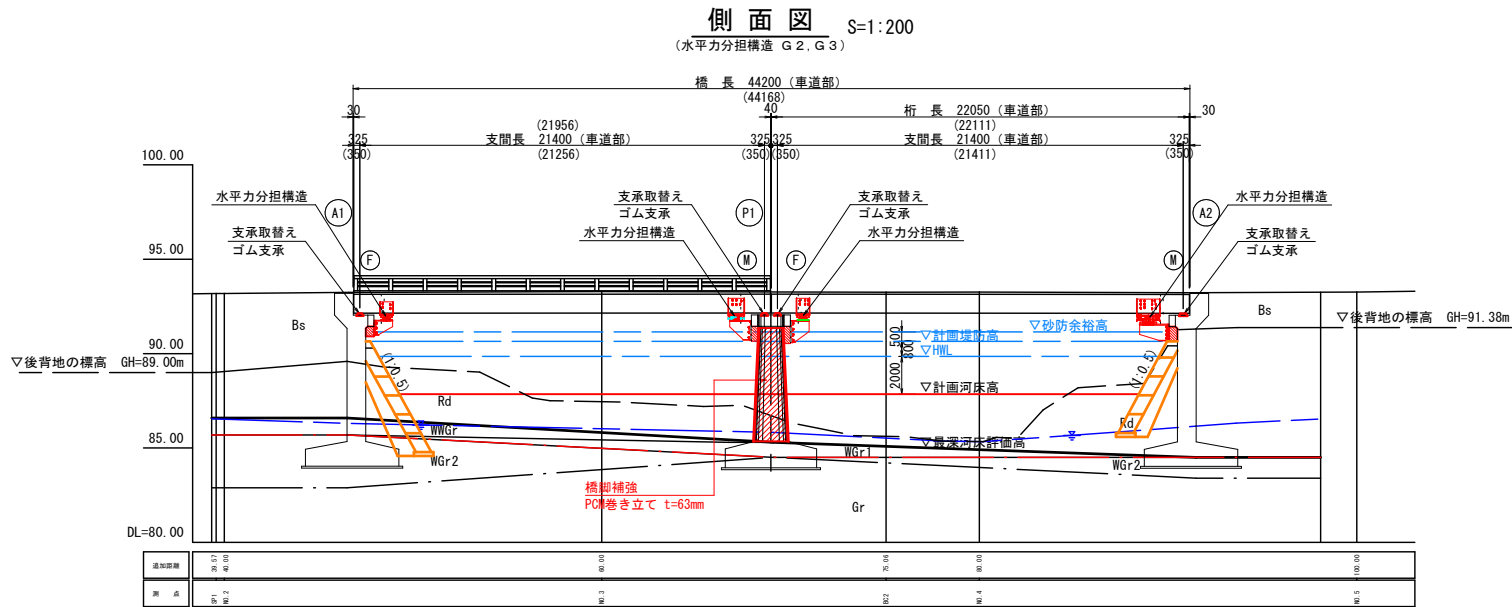
コンクリート	躯体	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$
	均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$
鉄筋		SD345

08 公 実施設計

路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	P1橋脚中仕切り壁配筋図		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図示	単位	MM
図 号	全 31 葉中の内 21		
令和 8 年度施工年度施工			鳥取県
中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

橋梁補強一般図

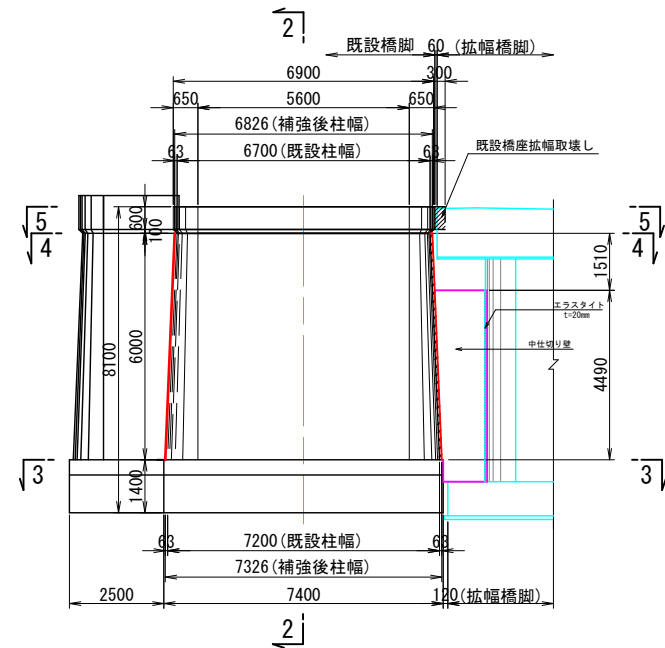


08 公共 実施設計	
路線名	県道三朝中線
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図名	橋梁補強一般図
位置	東伯郡三朝町片柴
縮尺	図示 単位 M・MM
図号	全 31 葉中の内 22
令和 8 年度施行 鳥取県	
中部総合事務所県土整備局	

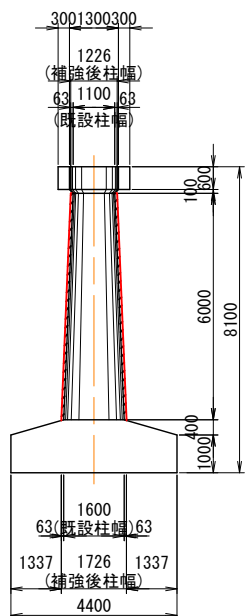
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P 1 橋脚補強構造図

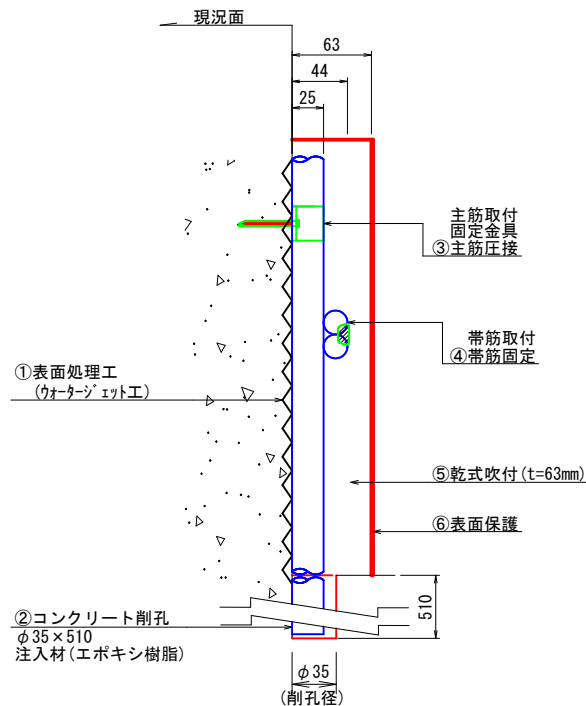
正面図 1/100
1-1



断面図 1/100
2-2



ポリマーセメントモルタル吹付工法 (断面図) S=1:3



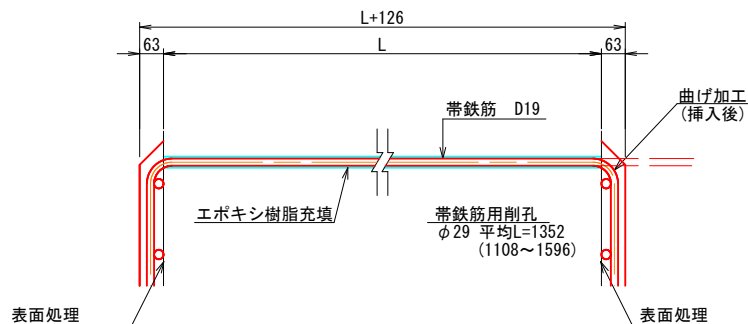
P C M吹付工 工程表

工程	工 種	摘 要
①	表面処理	ウォータージェット工
②	コンクリート削孔	削孔径 φ35 L=510mm
③	主筋取付	鉄筋径 D25
④	固定金具	サドルバンド 3箇所/本
⑤	主筋圧接	ガス圧接
⑥	帯筋取付	鉄筋径 D19
⑦	帯筋固定	フレア溶接
⑧	乾式吹付	63mm
⑨	表面保護	CC-B塗装系

使用材料

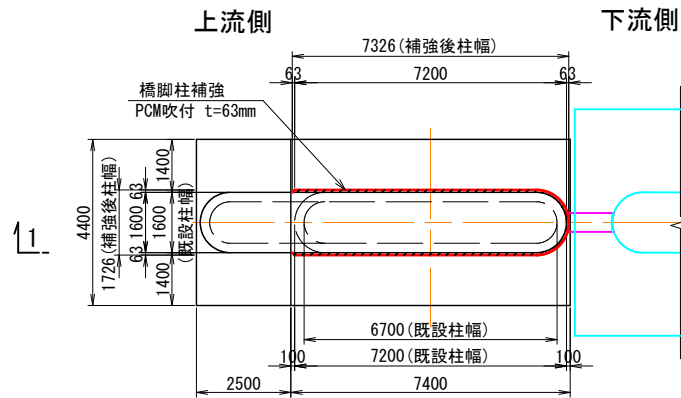
材 料	材 料 強 度
モルタル	設計基準強度 σck=30N/mm2
鉄筋	SD345

貫通部詳細図 1/10

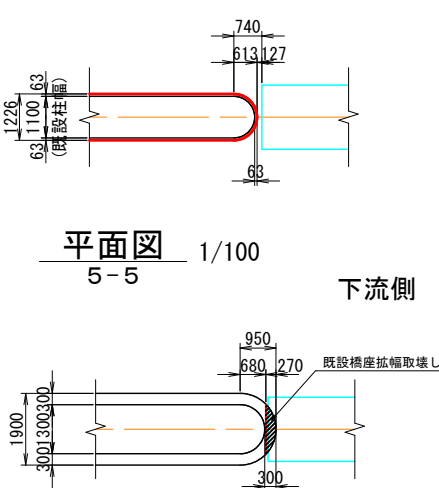


注意：帯鉄筋の片側の加工は、貫通部挿入後、ハンドル等により折り曲げること。

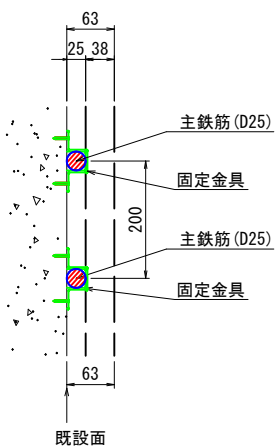
平面図 1/100
3-3



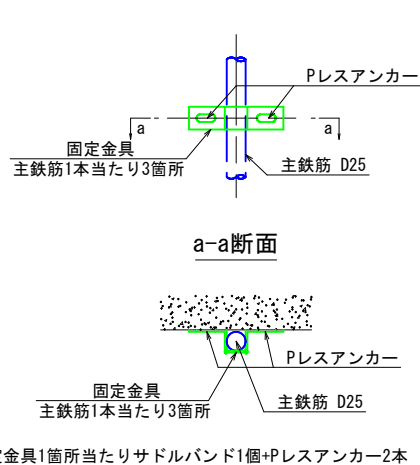
平面図 1/100
4-4



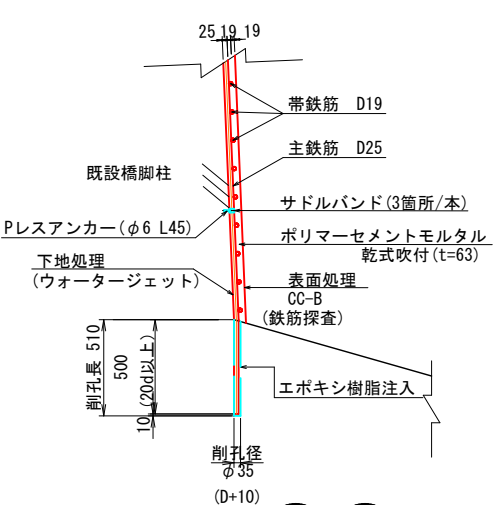
主筋取付詳細図 S=1:5



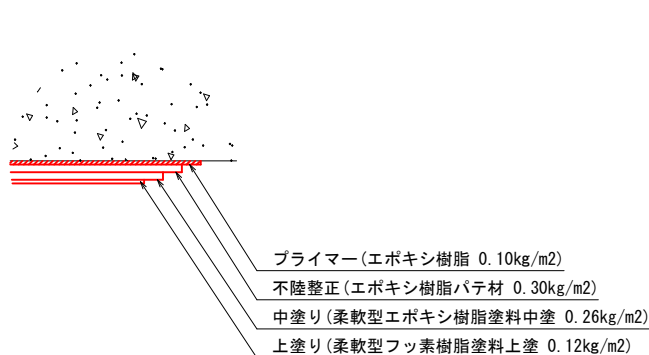
サドルバンド詳細図



かぶり、アンカー工詳細図 1/20



表面保護詳細図



材料表

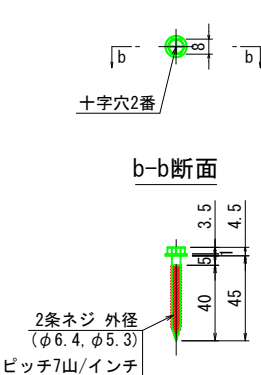
名 称	規 格	単位	数量	備 考
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	kg	10	0.10kg/m2
不陸整正	エポキシ樹脂パテ	kg	30	0.30kg/m2
中塗り	柔軟型エポキシ樹脂塗料中塗り	kg	26	0.26kg/m2 目標膜厚 60μm
上塗り	柔軟型フッ素樹脂塗料上塗り	kg	12	0.12kg/m2 目標膜厚 30μm

注) 塗装仕様は、CC-B塗装系を適用する。

コンクリート塗装仕様 (CC-B)

工 程	使 用 材 料	塗 装 条 件		
		目標膜厚 (μm)	標準使用量 (kg/m2)	塗装方法
前処理	プライマー	—	0.10	スプレー (はけ・ローラー)
	パテ	—	0.30	へら
中塗り	コンクリート塗装用柔軟型エポキシ樹脂塗料中塗り	60	0.32 (0.26)	スプレー (はけ・ローラー)
上塗り	コンクリート塗装用柔軟型フッ素樹脂塗料上塗り	30	0.15 (0.12)	スプレー (はけ・ローラー)

プレスアンカー詳細図 S=1:2



注記

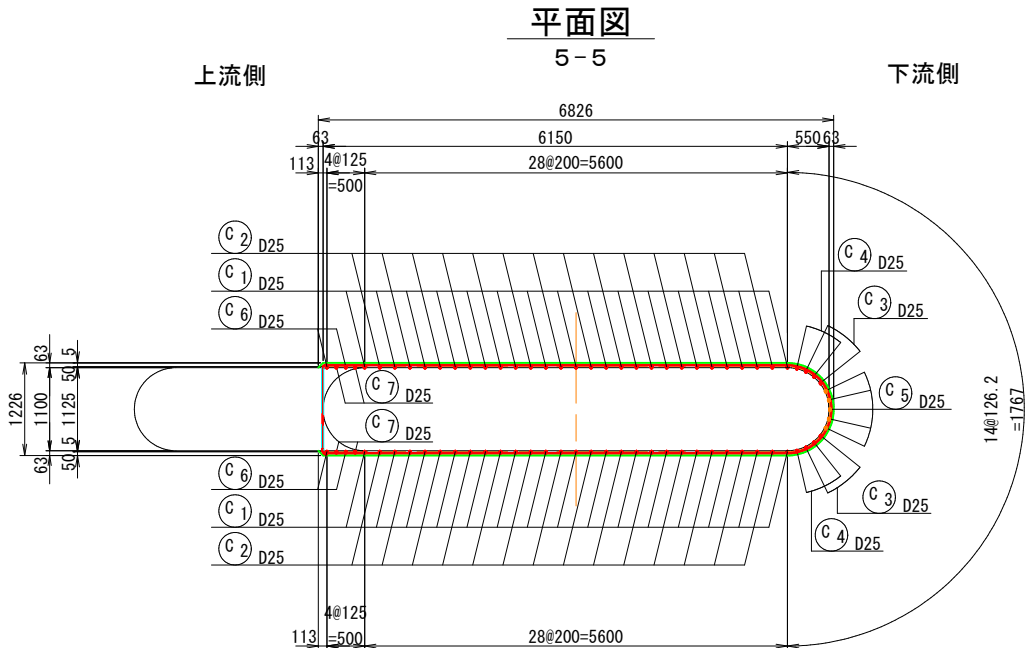
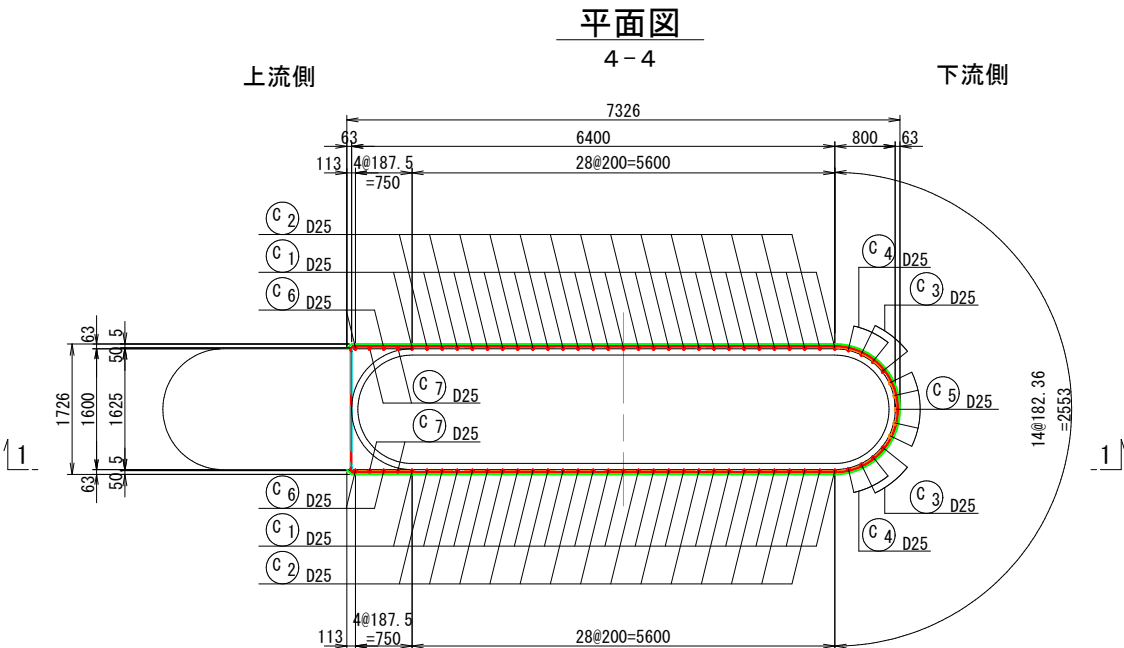
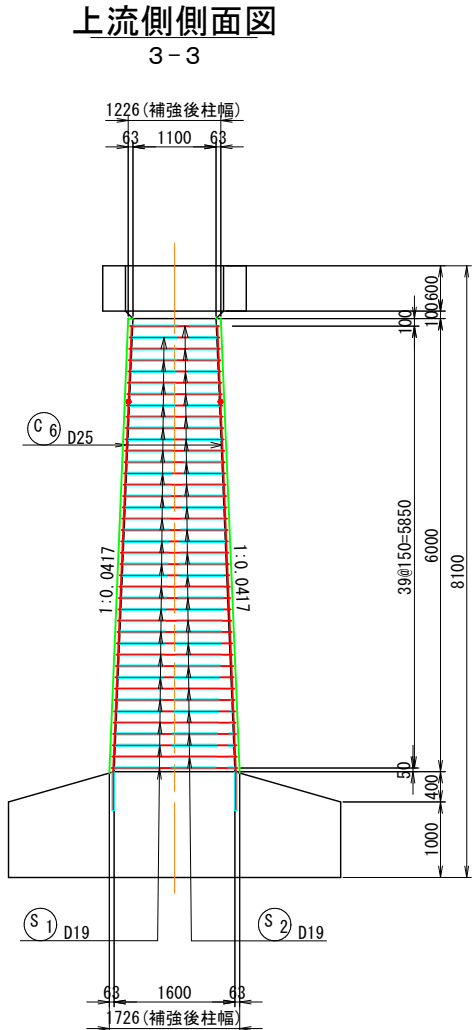
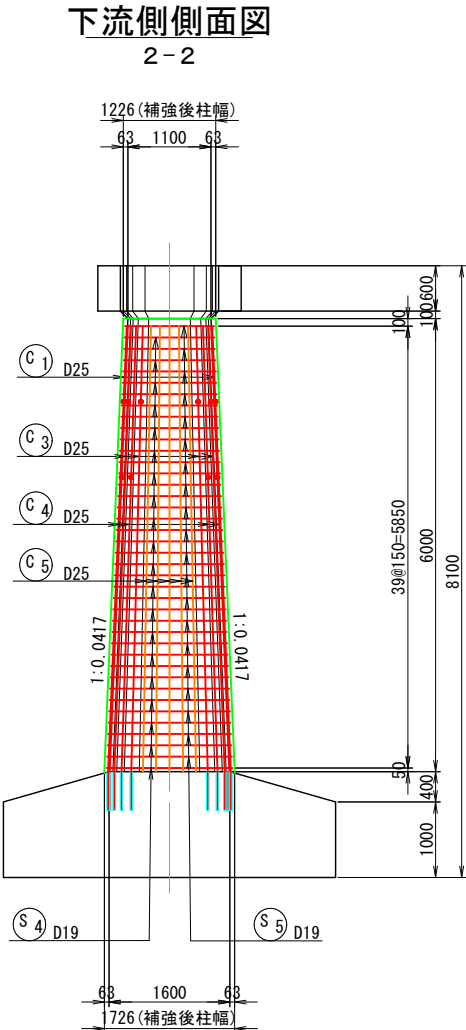
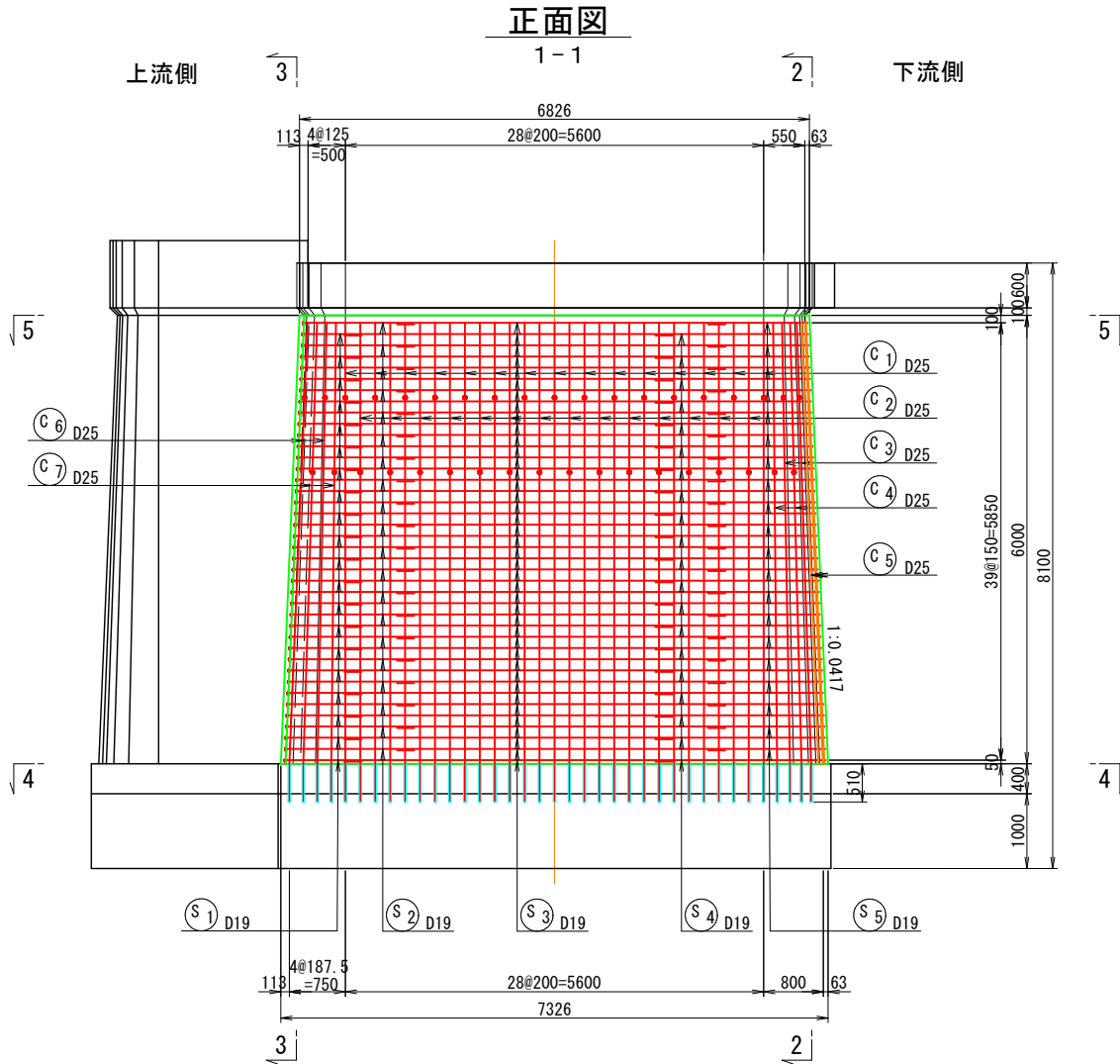
- 1) 本橋脚の構造寸法は、設計当時の既設図面に基づくものであるため、施工前に再度現地確認を行い施工に反映すること。
- 2) 上記の現地確認を行った結果、寸法に差異が生じる場合は再度照査を行い、安全性を確認すること。
- 3) 既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋を切断しないように注意すること。
- 4) 鉄筋の加工は現地実測の上行うこと。
- 5) 既設コンクリートは表面処理後、清掃を行うこと。

08 公共 実施設計

路線名	県道三朝中線
(片柴橋区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)	
図 名	P 1 橋脚補強構造図
位 置	東伯郡三朝町片柴
縮 尺	図示 単位 MM
図 号	全 31 葉中の内 23
令和 8 年度施行	鳥取県
中部総合事務所県土整備局	

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

P 1 橋脚補強配筋図 (1) 1/50



- 1) 本橋脚の構造寸法は、設計当時の既設図面に基づくものであるため、施工前に再度現地確認を行い施工に反映すること。
- 2) 上記の現地確認を行った結果、寸法に差異が生じる場合は再度照査を行い、安全性を確認すること。
- 3) 既設コンクリートに対する削削の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋を切断しないように注意すること。
- 4) 鉄筋の加工は現地実測の上行うこと。
- 5) 既設コンクリートは表面処理後、清掃を行うこと。
- 6) 鉄筋の材質はSD345とする。
- 7) 主鉄筋及び帯鉄筋は継手位置が重ならないように千鳥配置とすること。

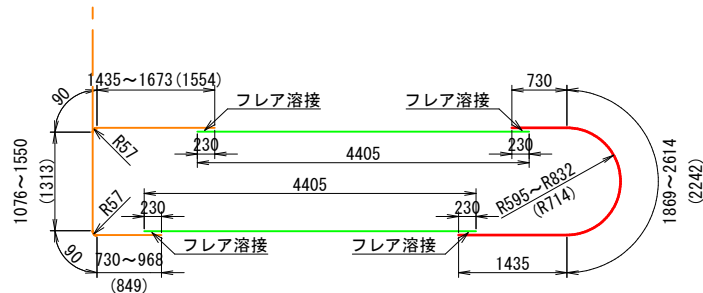
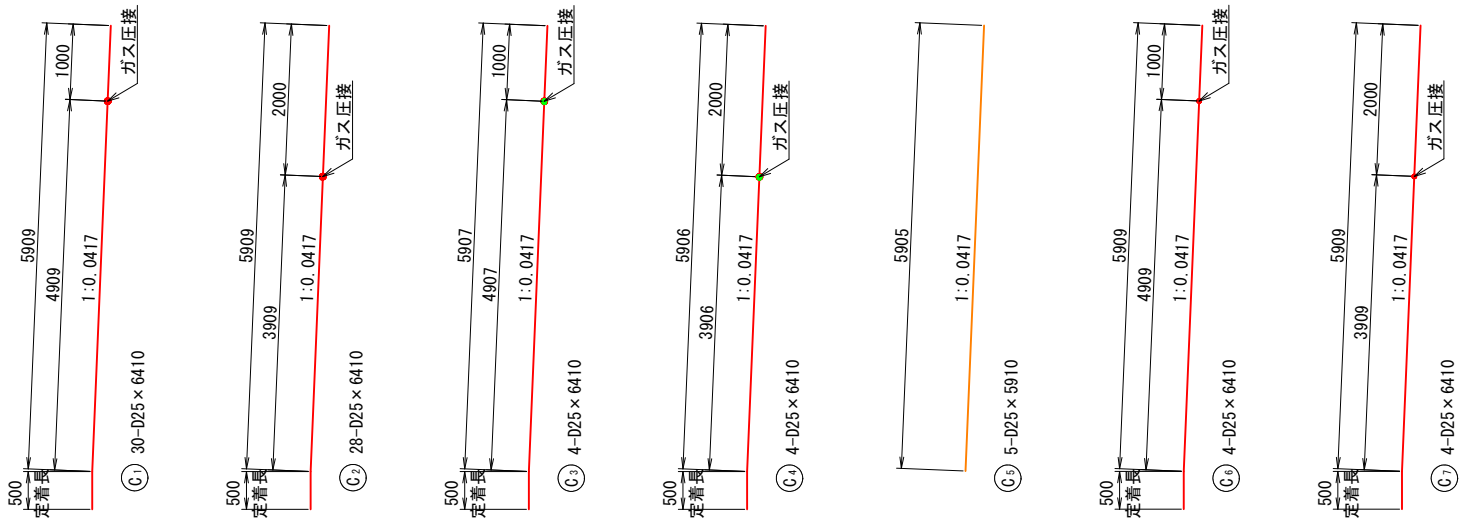
⑧⑧ 実施設計

路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	P 1 橋脚補強配筋図 (1)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図示	単位	MM
図 号	全 3 1 葉中の内 2 4		
令和 8 年度施行			鳥取県
中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

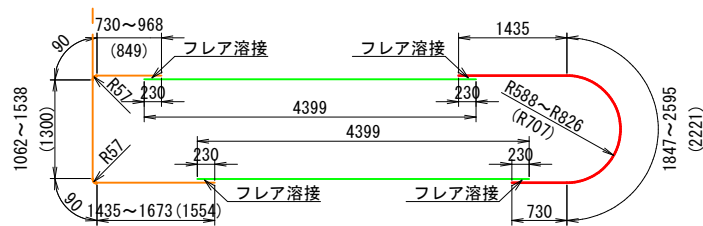
P 1 橋脚補強配筋図 (2) 1/50

鉄筋加工図



① 20-D19 x 3900 (平均長) ② 80-D19 x 4410 ③ 20-D19 x 4410 (平均長)

注意：S1の片側の加工は、貫通部挿入後、ハンドル等により折り曲げること。

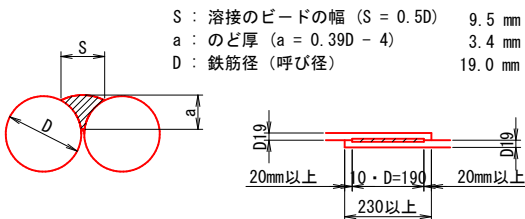


④ 20-D19 x 3890 (平均長) ⑤ 80-D19 x 4400 ⑥ 20-D19 x 4390 (平均長)

注意：S2の片側の加工は、貫通部挿入後、ハンドル等により折り曲げること。

フレアー溶接詳細図

S=1:10



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C 1	D25	6 410	30	3.98	25.51	765	補強主鉄筋
C 2	D25	6 410	28	3.98	25.51	714	補強主鉄筋
C 3	D25	6 410	4	3.98	25.51	102	補強主鉄筋
C 4	D25	6 410	4	3.98	25.51	102	補強主鉄筋
C 5	D25	5 910	5	3.98	23.52	118	補強主鉄筋
C 6	D25	6 410	4	3.98	25.51	102	補強主鉄筋
C 7	D25	6 410	4	3.98	25.51	102	補強主鉄筋
S 1	D19	3 900	20	2.25	8.78	176	帯鉄筋 (平均長)
S 2	D19	3 890	20	2.25	8.75	175	帯鉄筋 (平均長)
S 3	D19	4 410	80	2.25	9.92	794	帯鉄筋 (平均長)
S 4	D19	4 410	20	2.25	9.92	198	帯鉄筋 (平均長)
S 5	D19	4 390	20	2.25	9.88	198	帯鉄筋 (平均長)
3 546 kg							
(SD345) D25(補強主鉄筋)							2 005 kg
(SD345) D19(帯鉄筋)							1 541 kg
総質量							3 546 kg
フレア溶接							D19 160箇所 (S1~S5を対象)
ガス圧接							D25 74箇所 (C1~C4, C6~C7を対象)

アンカー径	削孔径	削孔長	箇所数	摘要
D25	φ35	510	74	補強主鉄筋
D19	φ29	1352	40	帯鉄筋

※帯鉄筋(D19)の削孔長は平均長(1108~1596)とする。

- 1)本橋脚の構造寸法は、設計当時の既設図面に基づくものであるため、施工前に再度現地確認を行い施工に反映すること。
- 2)上記の現地確認を行った結果、寸法に差異が生じる場合は再度照査を行い、安全性を確認すること。
- 3)既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋を切断しないように注意すること。
- 4)鉄筋の加工は現地実測の上行うこと。
- 5)既設コンクリートは表面処理後、清掃を行うこと。
- 6)鉄筋の材質はSD345とする。
- 7)主鉄筋及び帯鉄筋は継手位置が重ならないように千鳥配置とすること。

08 公 共 実施設計

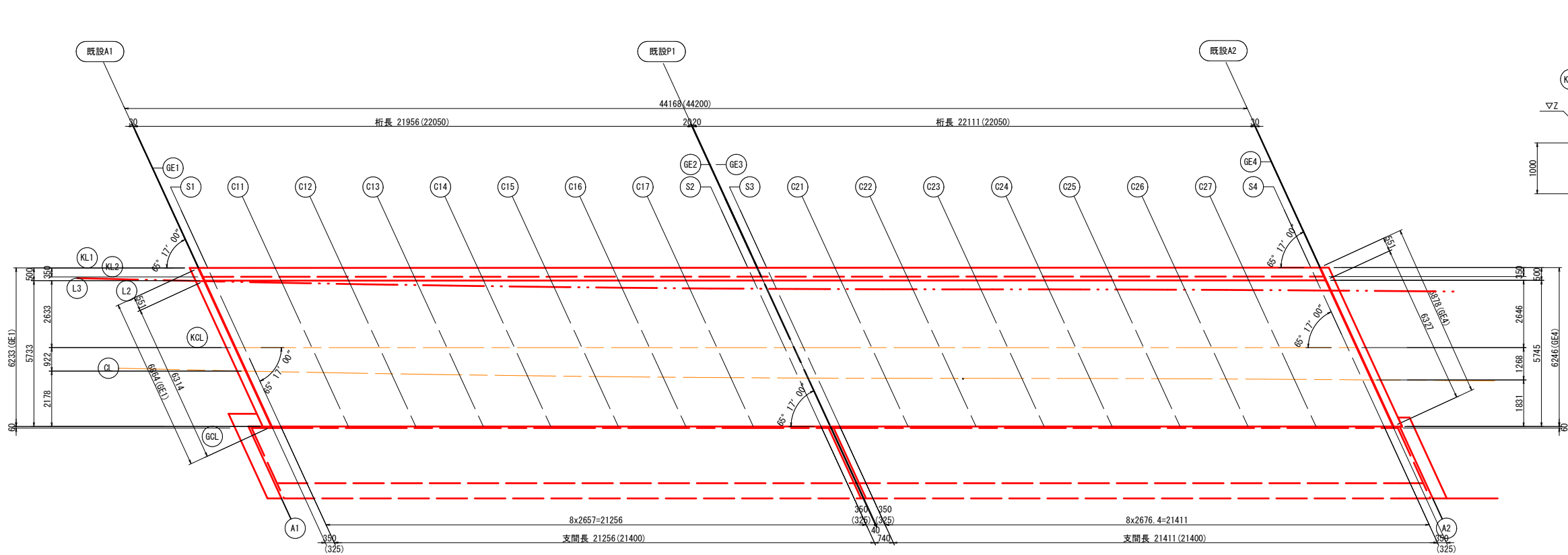
路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	P 1 橋脚補強配筋図 (2)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図示	単位	MM
図 号	全 3 1 葉中の内 2 5		
令和 8 年度施行			鳥取県
中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

既設橋線形図(その1)

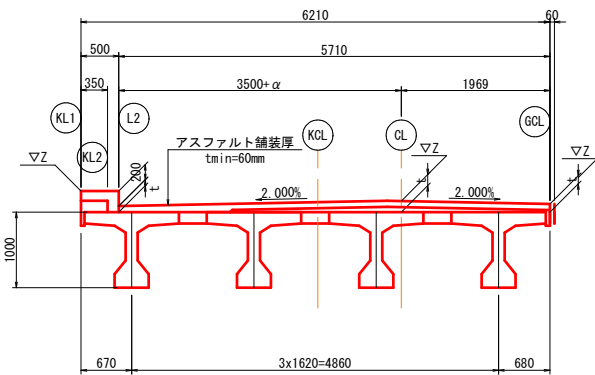
平面図 S=1:100

※ 桁長、支間長は測量結果の値を示しているが、() 内に既往図面の値を示す。



断面図 S=1:50

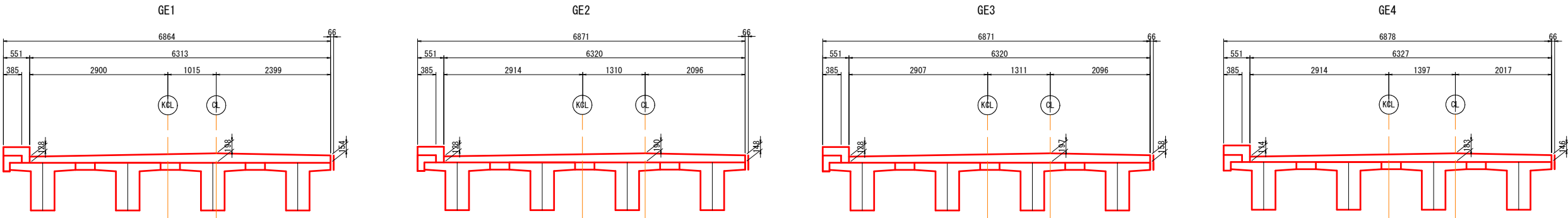
標準部



記号説明

- CL : 道路中心線
- KCL : 既設道路中心線
- GCL : 構造基準線(既設橋右端部)
- KL1, KL2 : 既設左地覆線
- L2 : 改良後左地覆線
- An : パラベット前面線
- GE1 : 桁端部線
- Sn : 支承中心線
- Cn : 支間等分線

桁端断面図 S=1:50



小座標及び計画高表(X:X座標,Y:Y座標,Z:計画高)

		A1既設	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	P1既設	GE3	S3	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	S4	GE4	A2既設
KL1	X	-1.9797	-1.9497	-1.5997	1.0569	3.7136	6.3703	9.0269	11.6836	14.3403	16.9969	19.6536	20.0036	20.0236	20.0435	20.3935	23.0696	25.7457	28.4218	31.0978	33.7739	36.4500	39.1261	41.8022	42.1521	42.1821
	Y	6.2330	6.2330	6.2331	6.2339	6.2346	6.2354	6.2361	6.2368	6.2376	6.2383	6.2391	6.2392	6.2392	6.2392	6.2401	6.2408	6.2416	6.2423	6.2431	6.2438	6.2446	6.2453	6.2454	6.2454	6.2454
	Z	93.4684	93.4685	93.4699	93.4774	93.4789	93.4772	93.4755	93.4738	93.4721	93.4704	93.4687	93.4685	93.4685	93.4684	93.4682	93.4665	93.4648	93.4631	93.4614	93.4597	93.4580	93.4563	93.4546	93.4543	93.4543
KL2	X	-1.8182	-1.7882	-1.4383	1.2184	3.8750	6.5317	9.1884	11.8450	14.5017	17.1584	19.8150	20.1650	20.1850	20.2050	20.5549	23.2310	25.9071	28.5832	31.2593	33.9354	36.6115	39.2875	41.9636	42.3136	42.3436
	Y	5.8831	5.8831	5.8832	5.8839	5.8847	5.8854	5.8861	5.8869	5.8876	5.8884	5.8891	5.8892	5.8892	5.8892	5.8901	5.8908	5.8916	5.8924	5.8931	5.8939	5.8946	5.8954	5.8955	5.8955	5.8955
	Z	93.4691	93.4692	93.4706	93.4776	93.4788	93.4771	93.4754	93.4737	93.4720	93.4703	93.4686	93.4684	93.4684	93.4683	93.4681	93.4664	93.4647	93.4630	93.4613	93.4596	93.4579	93.4562	93.4544	93.4542	93.4542
L2	X	-1.7490	-1.7190	-1.3691	1.2876	3.9442	6.6009	9.2576	11.9142	14.5709	17.2276	19.8842	20.2342	20.2542	20.2742	20.6241	23.3002	25.9763	28.6524	31.3285	34.0046	36.6806	39.3567	42.0328	42.3828	42.4128
	Y	5.7331	5.7331	5.7332	5.7339	5.7347	5.7354	5.7362	5.7369	5.7377	5.7384	5.7392	5.7393	5.7393	5.7393	5.7401	5.7409	5.7416	5.7424	5.7431	5.7439	5.7446	5.7454	5.7455	5.7455	5.7455
	Z	93.2694	93.2695	93.2708	93.2777	93.2788	93.2771	93.2753	93.2736	93.2719	93.2702	93.2685	93.2683	93.2683	93.2683	93.2681	93.2664	93.2646	93.2629	93.2612	93.2595	93.2578	93.2561	93.2544	93.2542	93.2542
L3	X	-1.7403	-1.7100	-1.3565	1.3260	4.0061	6.6836	9.3587	12.0313	14.7015	17.3692	20.0345	20.3854	20.4054	20.4255	20.7763	23.4579	26.1371	28.8139	31.4912	34.1702	36.8509	39.5332	42.2172	42.5683	42.5984
	Y	5.7142	5.7135	5.7058	5.6505	5.6006	5.5561	5.5169	5.4831	5.4545	5.4314	5.4135	5.4115	5.4114	5.4113	5.4094	5.3982	5.3924	5.3915	5.3896	5.3880	5.3749	5.3621	5.3458	5.3434	5.3432
	Z	93.2694	93.2695	93.2709	93.2778	93.2787	93.2770	93.2753	93.2736	93.2719	93.2702	93.2684	93.2682	93.2682	93.2682	93.2680	93.2663	93.2645	93.2628	93.2611	93.2594	93.2577	93.2560	93.2543	93.2541	93.2540
KCL	X	-0.5342	-0.5042	-0.1542	2.5028	5.1598	7.8168	10.4738	13.1308	15.7879	18.4449	21.1019	21.4519	21.4719	21.4919	21.8419	24.5183	27.1948	29.8712	32.5476	35.2241	37.9005	40.5769	43.2534	43.6034	43.6334
	Y	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0997	3.0996	3.0996	3.0996	3.0996	3.0996	3.0996
	Z	93.3256	93.3256	93.3265	93.3295	93.3276	93.3250	93.3226	93.3203	93.3180	93.3159	93.3139	93.3137	93.3136	93.3115	93.3097	93.3080	93.3062	93.3044	93.3024	93.3005	93.2984	93.2964	93.2941	93.2931	93.2931
CL	X	-0.1093	-0.0790	0.2743	2.9553	5.6337	8.3097	10.9833	13.6544	16.3230	18.9892	21.6530	22.0037	22.0237	22.0438	22.3944	25.0745	27.7522	30.4289	33.1072	35.7872	38.4689	41.1522	43.8372	44.1884	44.2185
	Y	2.1787	2.1781	2.1708	2.1190	2.0724	2.0313	1.9954	1.9649	1.9397	1.9198	1.9051	1.9036	1.9035	1.9034	1.9020	1.8940	1.8914	1.8908	1.8866	1.8789	1.8676	1.8527	1.8341	1.8314	1.8312
	Z	93.3450	93.3451	93.3460	93.3491	93.3476	93.3459	93.3442	93.3425	93.3408	93.3391	93.3374	93.3372	93.3372	93.3372	93.3369	93.3352	93.3335	93.3318	93.3301	93.3284	93.3267	93.3249	93.3232	93.3230	93.3230
GCL	X	0.8958	0.9258	1.2758	3.9328	6.5898	9.2468	11.9038	14.5608	17.2178	19.8748	22.5319	22.8819	22.9019	22.9219	23.2719	25.9483	28.6247	31.3012	33.9776	36.6540	39.3305	42.0069	44.6833	45.0333	45.0633
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	93.3041	93.3042	93.3049	93.3067	93.3059	93.3049	93.3039	93.3028	93.3016	93.3002	93.2988	93.2986	93.2986	93.2986	93.2984	93.2968	93.2951	93.2934	93.2918	93.2903	93.2888	93.2875	93.2861	93.2860	93.2860

08 公共 実施設計

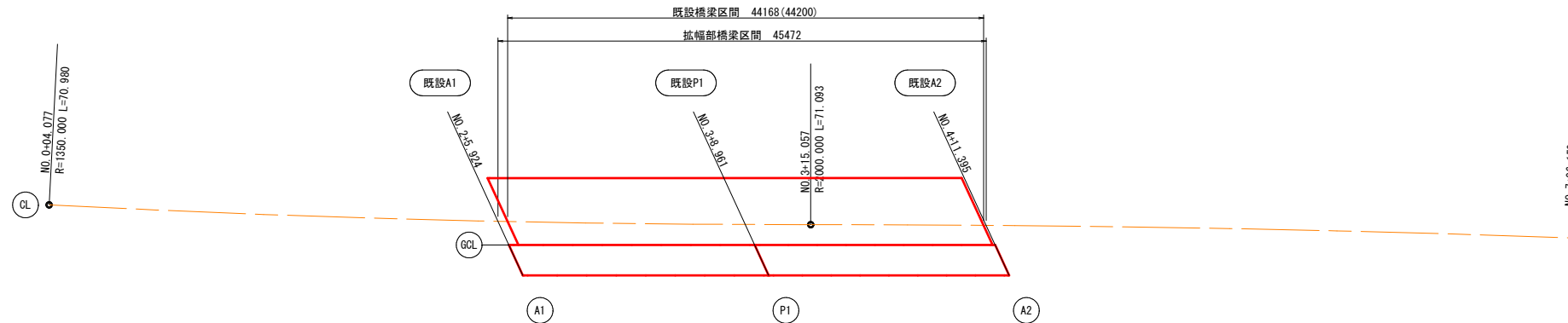
路 線 名	県道三期中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	既設橋線形図(その1)		
位 置	東伯郡三町町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	M・MM
図 号	全 3 1 葉中の内 2 6		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

既設橋線形図(その2)

線形要素 S=1:300

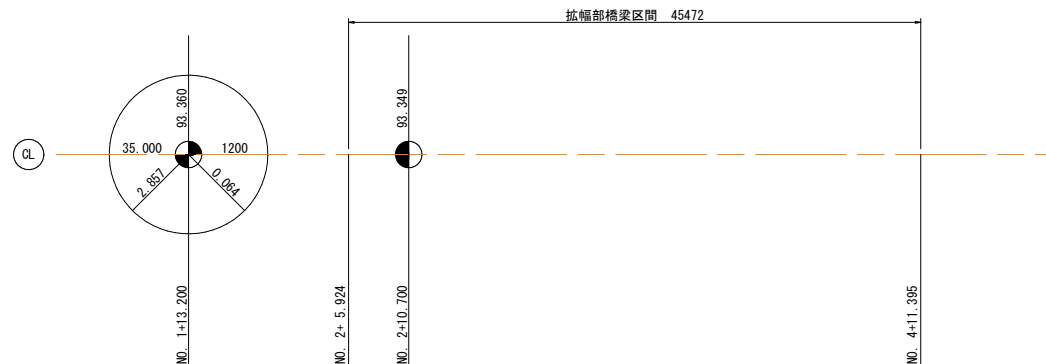
平面線形



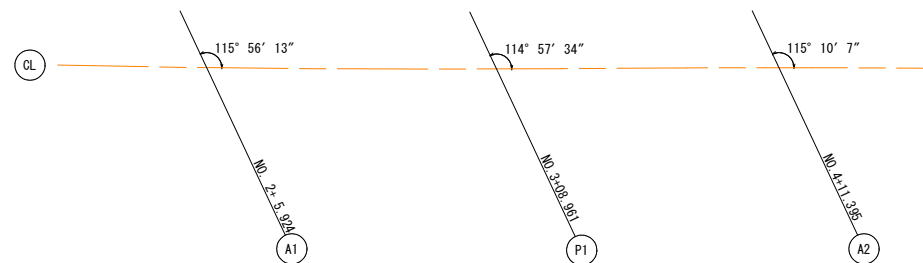
主要点大座標

測点	X座標	Y座標	要素
NO. 0+04.077	-65429.6075	-38269.8284	R=-1350.000
NO. 3+15.057	-65500.5760	-38269.1357	
NO. 7+06.150	-65571.6537	-38267.8365	R= 2000.000

縦断線形



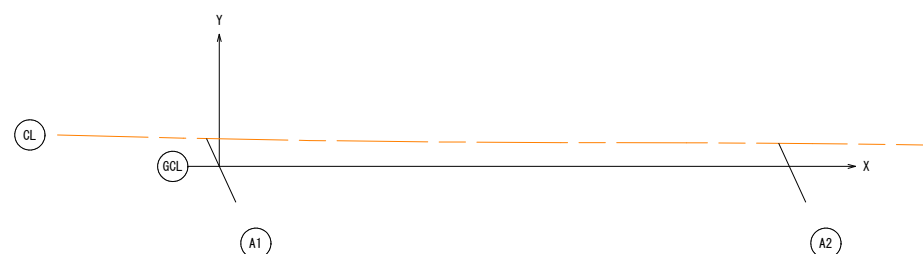
下部工の設定



横断線形



小座標の決定



GCLと新設A1の交点を小座標の原点(0,0)とする。
A1, A2とGCLを結ぶ直線をX軸とし、X軸に直行する方向をY軸とする。

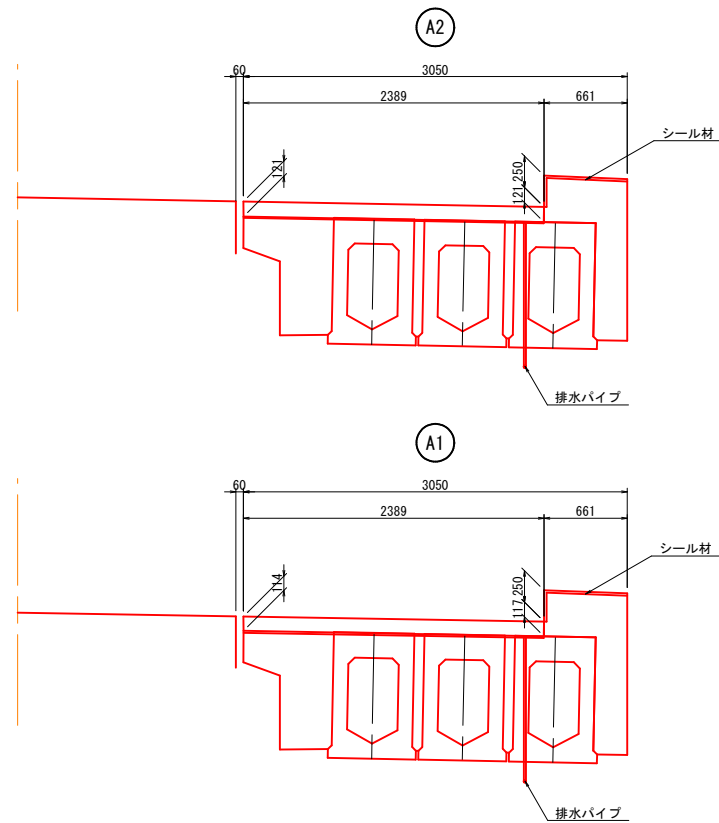
08 公共 実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	既設橋線形図 (その2)		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	1:300	単 位	M・MM
図 号	全 31 葉中の内 27		
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

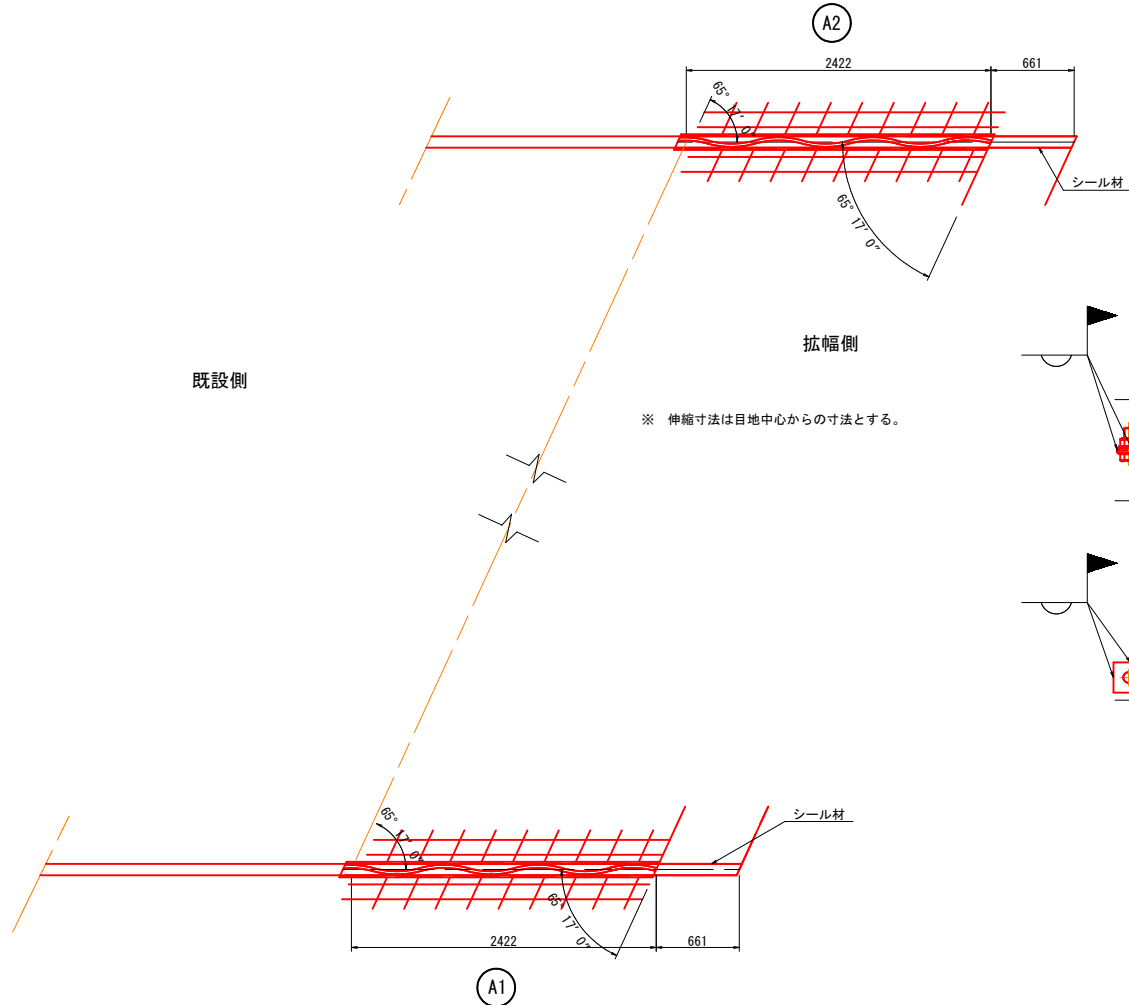
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

伸縮継手詳細図

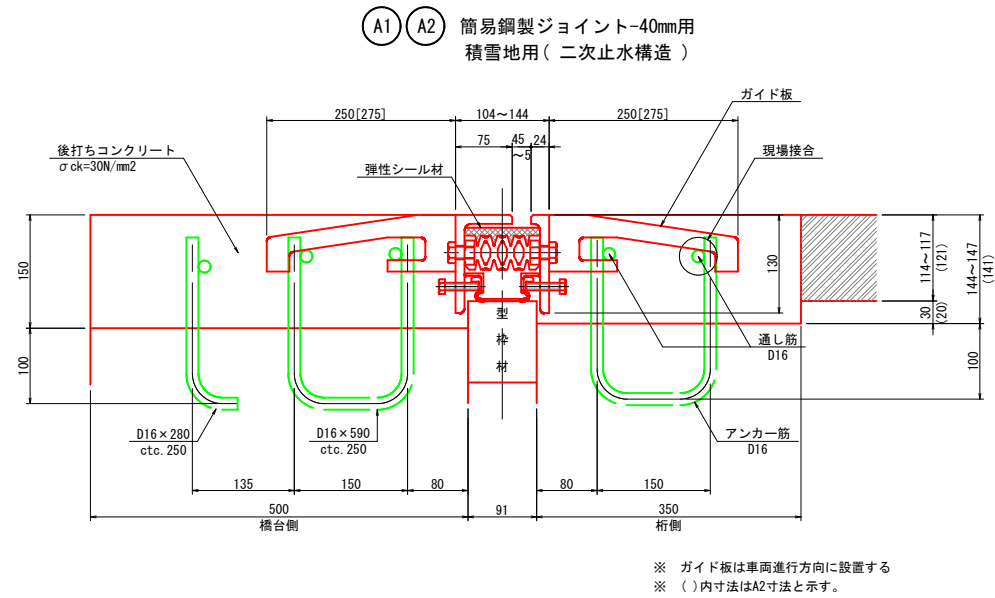
断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



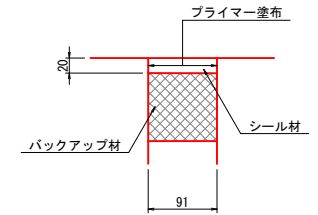
伸縮継手断面図 S=1:5



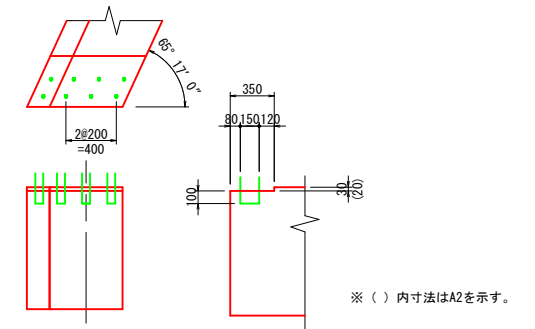
伸縮継手材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計質量	備考
簡易鋼製ジョイント-40mm用	SS400 合成ゴム SD345 シール材	2.422 m	2.422 m	4.844 m	車道用、二次止水用
シール材	シリコン系	1.66 リッター	1.66 リッター	3.32 リッター	地覆部
後打ちコンクリート		0.305 m ³	0.301 m ³	0.606 m ³	
通し筋	SD345	5 本	5 本	10 本	D16×2490
排水パイプ	SD345	1 本	1 本	2 本	15A×5000

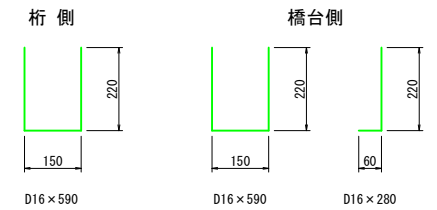
シール材充填図 S=1:5



アンカー筋埋設図 S=1:30



鉄筋加工図 S=1:10



アンカー筋表

寸法	A1数量	A2数量	合計数量	1本当り質量	合計質量	備考
D16×590	10 本	10 本	20 本	0.920 kg	18.4 kg	桁側
D16×590	10 本	10 本	20 本	0.920 kg	18.4 kg	橋台側
D16×280	10 本	10 本	20 本	0.437 kg	8.8 kg	橋台側

位置図 S=1:200

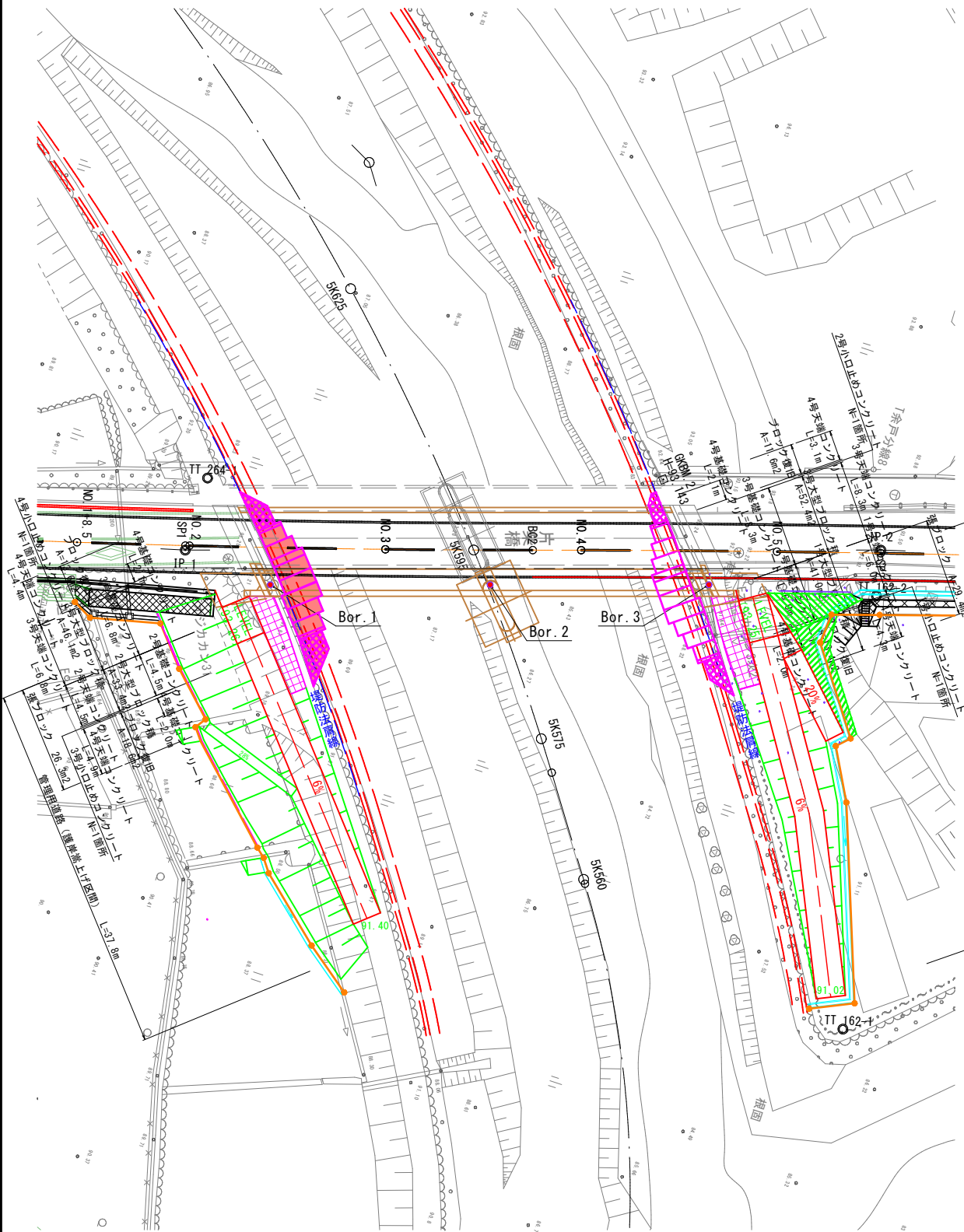


路線名	県道三朝中線
図名	伸縮継手詳細図
位置	東伯郡三朝町片柴
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 31 葉中の内 28
令和 8 年度施行	鳥取県
中部総合事務所 県土整備局	

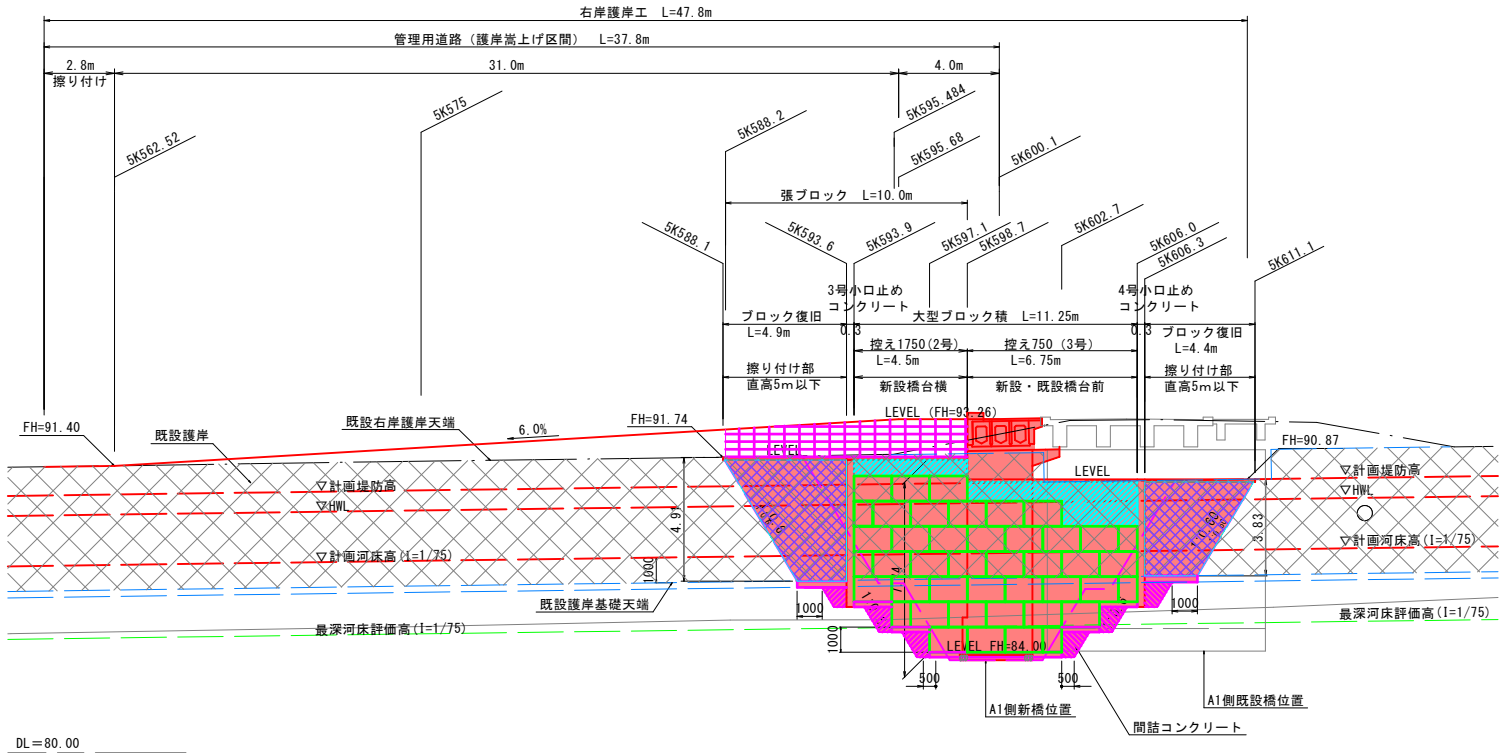
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

護岸計画一般図

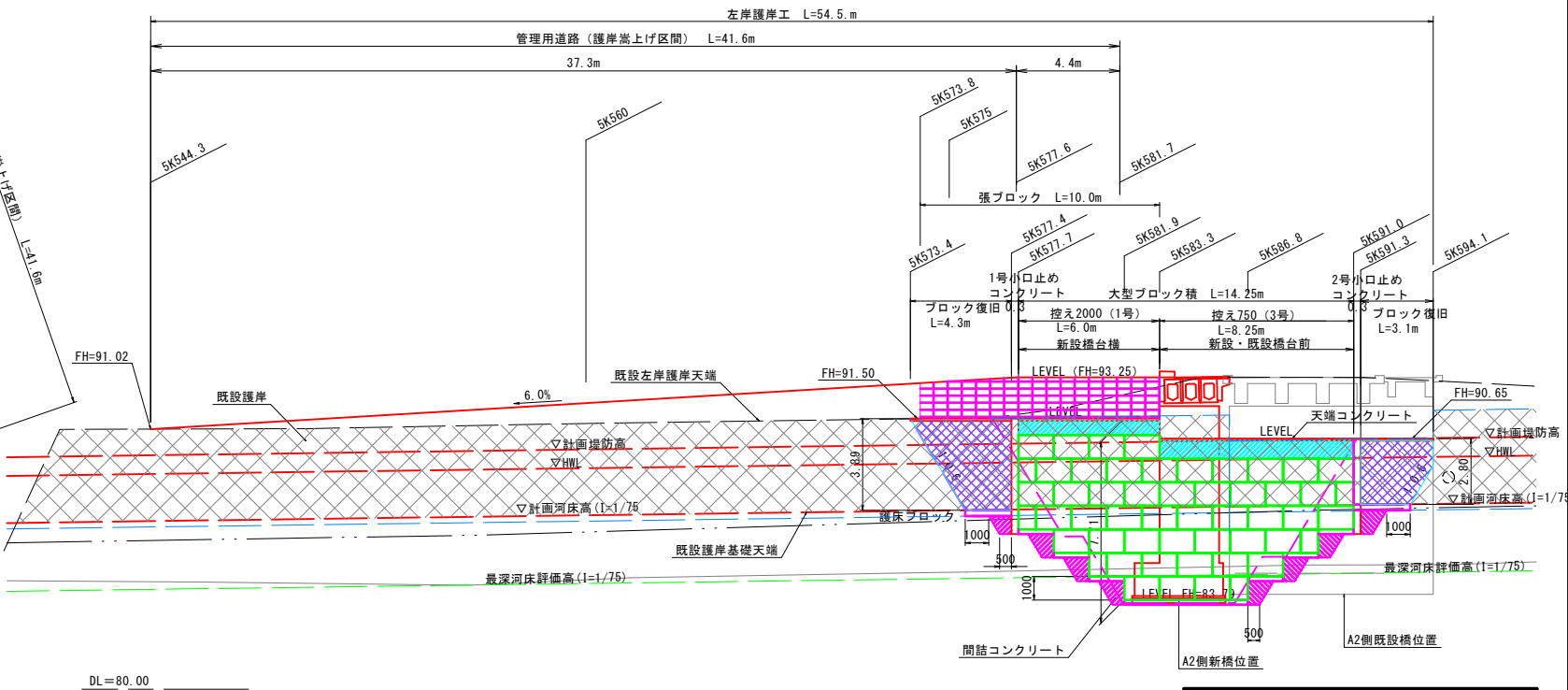
平面図 S=1:300



右岸護岸正面図 S=1:150



左岸護岸背面図 S=1:150

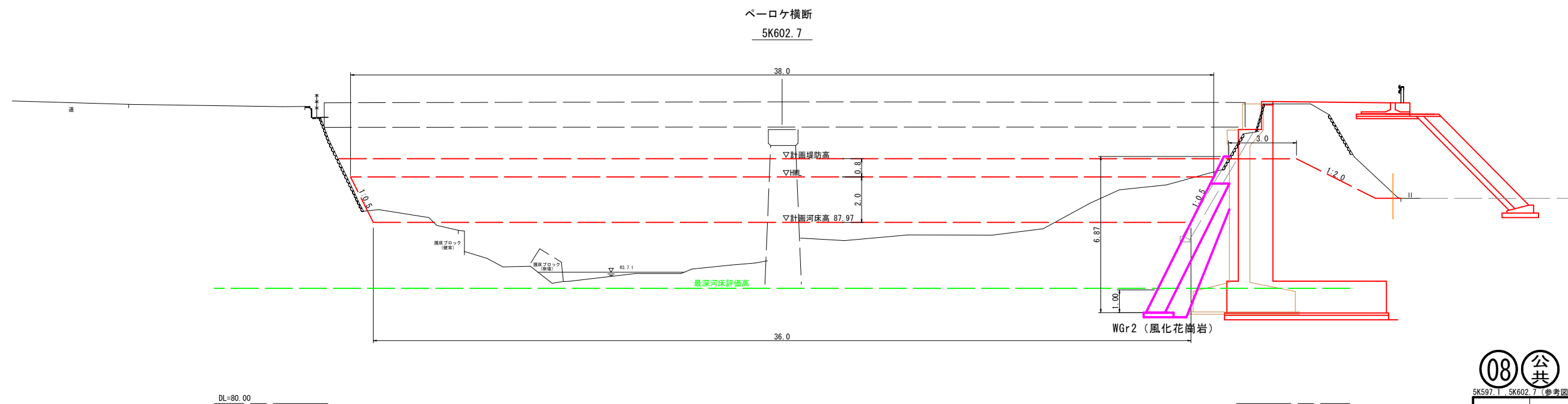
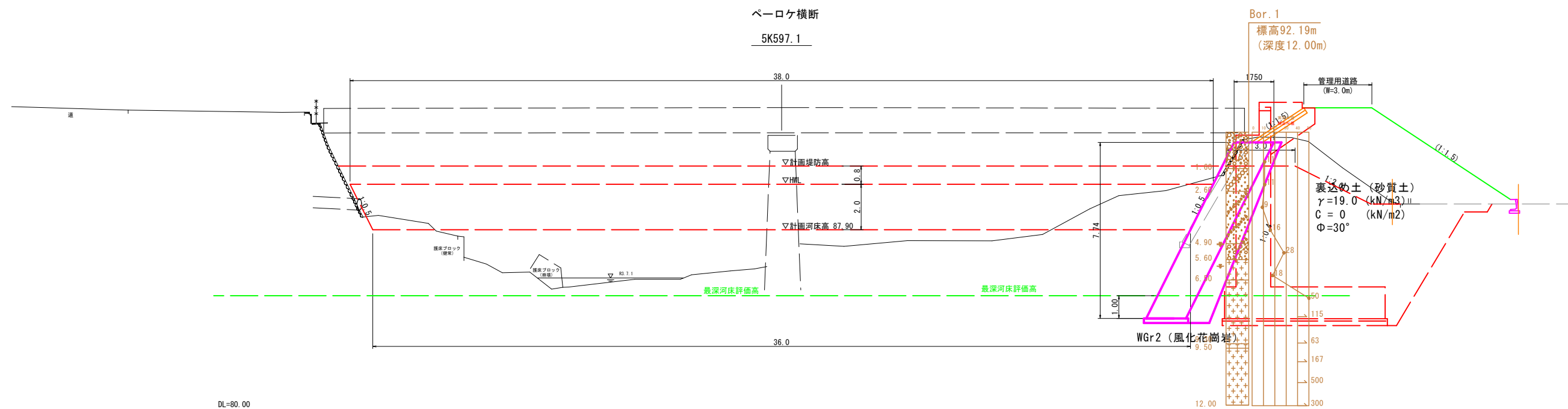


08 公共
実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	護 岸 計 画 一 般 図		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	図 示	単 位	M・MM
図 号	全 31 葉中の内 29		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
中部総合事務所 県土整備局			

※管理道の仕上げ及び張ブロックの施工予定は後続工事となる。

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。



08 公共 実施設計

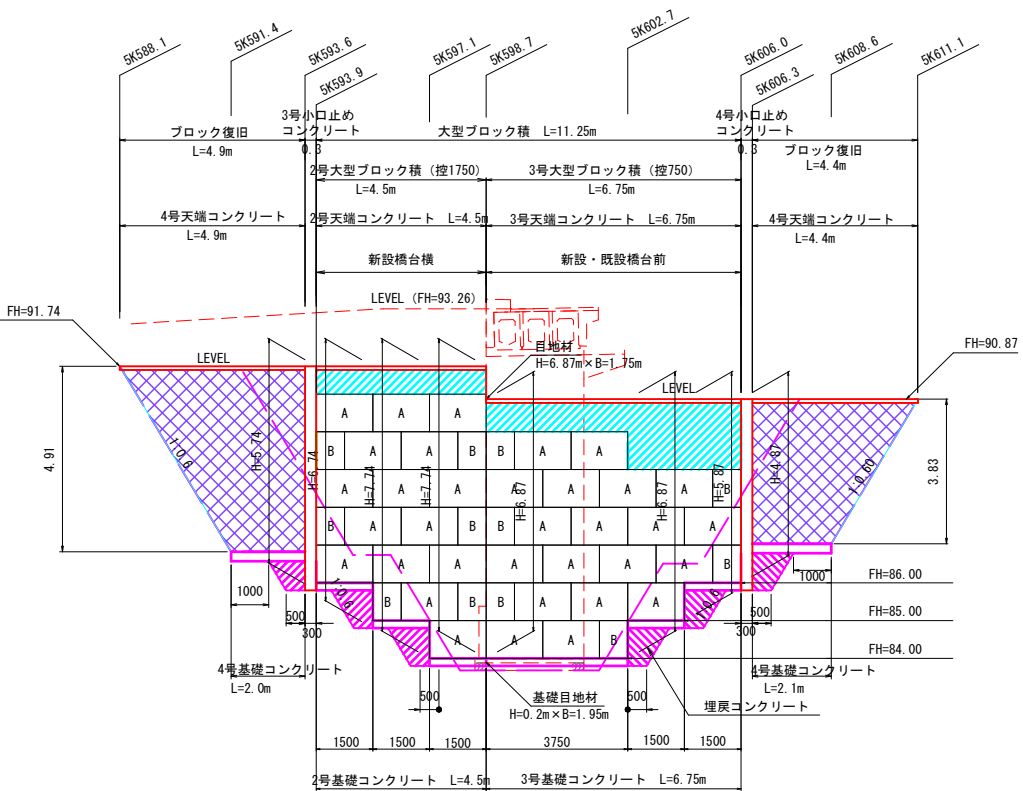
5K597.1 5K602.7 (参考図)

路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名	右岸大型ブロック検討横断		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 31 葉中の内 30		
令和 8 年度施行		鳥取県	
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

右岸護岸構造図

正面図 S=1:100

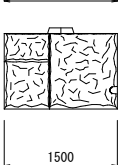
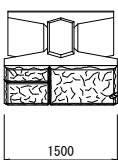


名 称	単位	数 量
控え750	A 形	個 19
	B 形	個 6
控え1750	A 形	個 15
	B 形	個 6

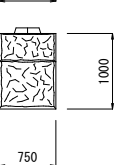
ブロック規格図 S=1:50

控え750

A形

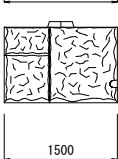
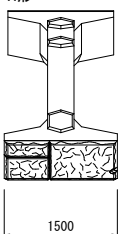


B形

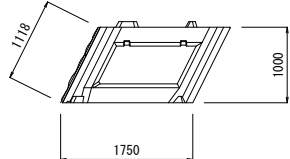
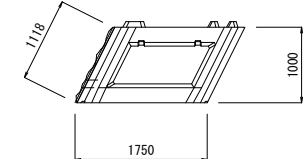
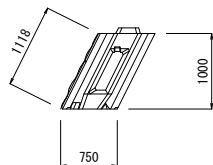
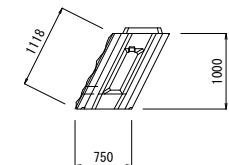
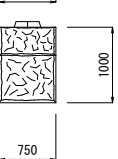
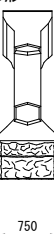


控え1750

A形

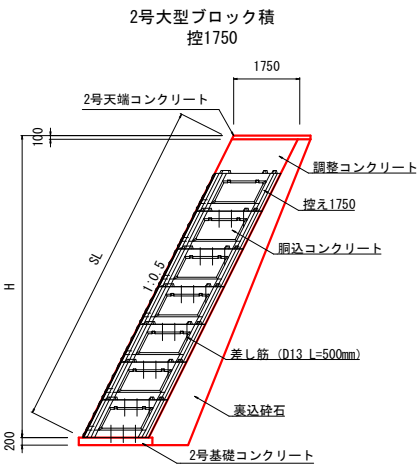


B形

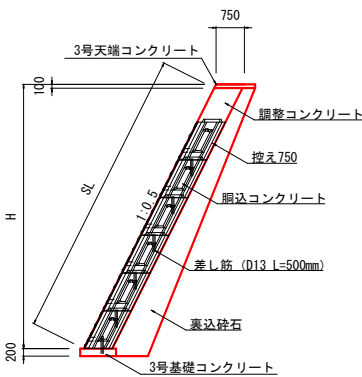


大型ブロック積標準断面図

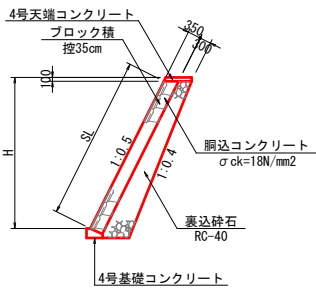
S=1:100



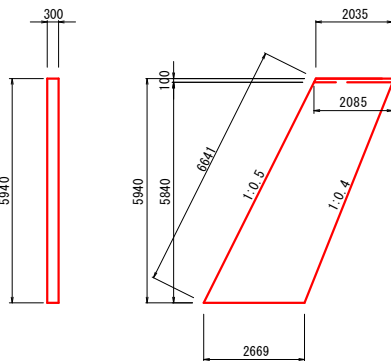
3号大型ブロック積
控え750



ブロック積標準図 S=1:100

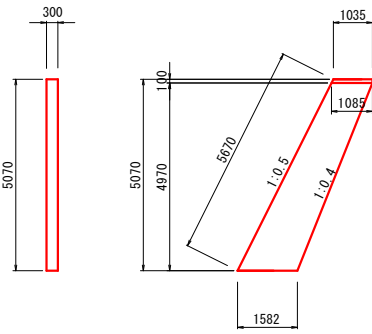


3号小口止コンクリート



名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	4.226
型 枠	小 型	m ²	30.168

4号小口止コンクリート



名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	2.020
型 枠	小 型	m ²	15.168

08 公共

実施設計

路線名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図名	右岸護岸構造図		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	図示	単位	M・MM
図号	全 31 葉中の内 31		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
中部総合事務所 県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

(令和8～9年度)

A1橋台、P1橋脚工事①

ステップ10 (9月下旬～12月上旬)

- 仮設工事：仮締切工
・準備工
・進入路仮盛土

ステップ11 (9月下旬～12月上旬)

- 仮設工事：仮締切工
・水路掘削・仮設管φ1200設置
・左岸側掘削(水路断面確保)
・仮締切盛土

注) 左岸掘削は、平時水量時に
(仮設管)へ排水替えて
行うこと。

ステップ12 (9月下旬～12月上旬)

- 仮設工事：仮締切工
・仮締切(大型土のう)

ステップ13-1 (12月中旬～2月上旬)

- 橋脚補強工事
・床掘
・橋脚補強工
・埋戻し

ステップ13-2 (2月中旬～3月中旬)

- 橋脚新設工事
・床掘
・橋脚工

ステップ13-3 (12月中旬～1月下旬)

- A1橋台新設工事
・舗装切断・破砕
・床掘
・橋台工

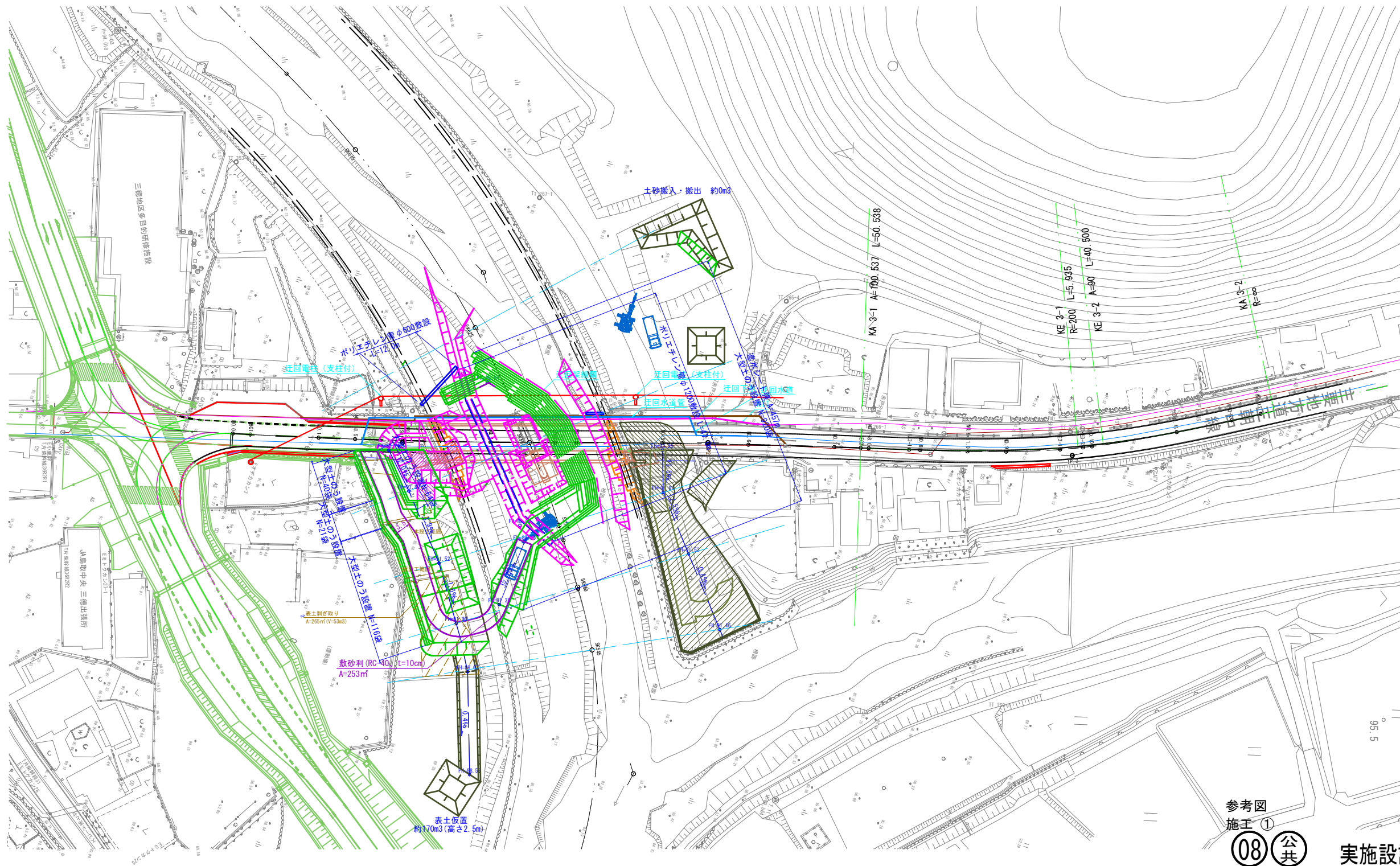
ステップ13-4 (2月上旬～3月下旬)

- 護岸ブロック工事
・大型ブロック積み
・間知ブロック積み
・埋戻し

ステップ13-5 (3月下旬)

- 舗装復旧工事
・舗装復旧

注) 準備、片付けを除く
本施工は、非出水期間中の
10月21日～6月9日に行うこと。



IP	IP.1
IA	3-00-44.96
R	1350.000
TL	35.498
CL	70.980
SL	0.467

IP	IP.2
IA	2-02-12.02
R	2000.000
TL	35.498
CL	71.093
SL	0.316

IPNO	IP.3		Y	2.126	1.366
KNO	3-1	3-2	Lc	2.108	
IA	14-44-26.075		CL	96.974	
R	200.000	200.000	TC	50.447	46.905
L	50.538	40.500	So	50.502	40.481
ΔR	0.532	0.342	W	25.914	
XM	25.256	20.243	A	100.537	90.000
X	50.458	40.459			

参考図
施工①

08 公共

実施設計

路 線 名		県道三朝中線	
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名		仮 設 工 平 面 図	
位 置		東伯郡三朝町片柴	
縮 尺		1:500	単 位 M
図 号		全 葉中の内	
令和 8 年度施行			鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局			

※1. 地下埋設物の位置は、台帳による推定である。
実際の位置、深さ等は管理者立会のもと、試掘等を行い確認すること。

測 点：5K545(左岸)			
本 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	-
	①路体盛土(2.5>W)	m2	-
	②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
	③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
	床 掘	m2	-
工	埋 戻	m2	-
	法面整形(盛土部)	m	-

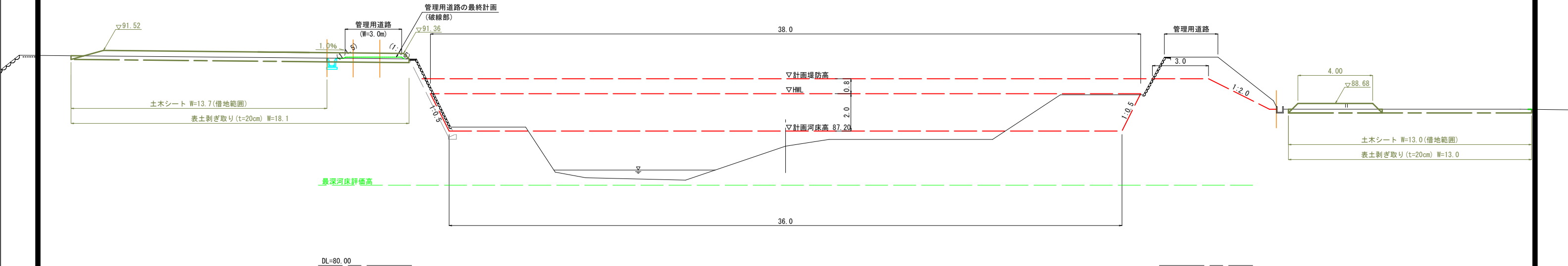
測 点：5K545(左岸)			
仮 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	-
	床 掘	m2	-
	埋 戻	m2	-
工	敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	-
	遮水シート	m	-

測 点：5K545(右岸)			
本 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	-
	①路体盛土(2.5>W)	m2	-
	②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
	③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
	床 掘	m2	-
工	埋 戻	m2	-
	法面整形(盛土部)	m	-

測 点：5K545(右岸)			
仮 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	-	m2	-
	盛 土	m2	-
	床 掘	m2	-
	埋 戻	m2	-
工	敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	-
	遮水シート	m	-

ペーロケ横断

5K545



測 点：5K560(左岸)			
本 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	-
	①路体盛土(2.5>W)	m2	-
	②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
	③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
	床 掘	m2	-
工	埋 戻	m2	-
	法面整形(盛土部)	m	-

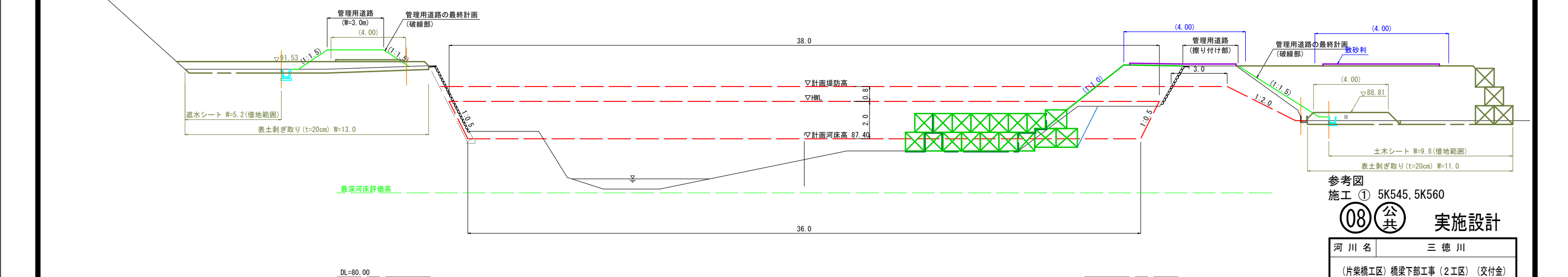
測 点：5K560(左岸)			
仮 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	-
	床 掘	m2	-
	埋 戻	m2	-
工	敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	-
	遮水シート	m	-

測 点：5K560(右岸)			
本 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	-
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	-
	①路体盛土(2.5>W)	m2	-
	②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
	③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
	床 掘	m2	-
工	埋 戻	m2	-
	法面整形(盛土部)	m	-

測 点：5K560(右岸)			
仮 設 工	種 別	単 位	数 量
	掘 削	m2	4.5
	表土戻し	m2	-
	盛 土	m2	10.5
	床 掘	m2	-
	埋 戻	m2	-
工	敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	別途計上
	遮水シート	m	12.5

ペーロケ横断

5K560



参考図
施工 ① 5K545, 5K560

08 公共 実施設計

河 川 名	三 徳 川		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	仮設工横断面図 ① 		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 葉中の内		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
中部総合事務所 県土整備局			

D=15.00

測 点：5K575(左岸)

測 点: 5K575(右岸)

測 点：5K575(右岸)



D=20.48

測 占 : 5K595 484 (3)

測 占 : 5K595 4840

測 占: 5K595 4840



施工 ①

08 公共

実施設計

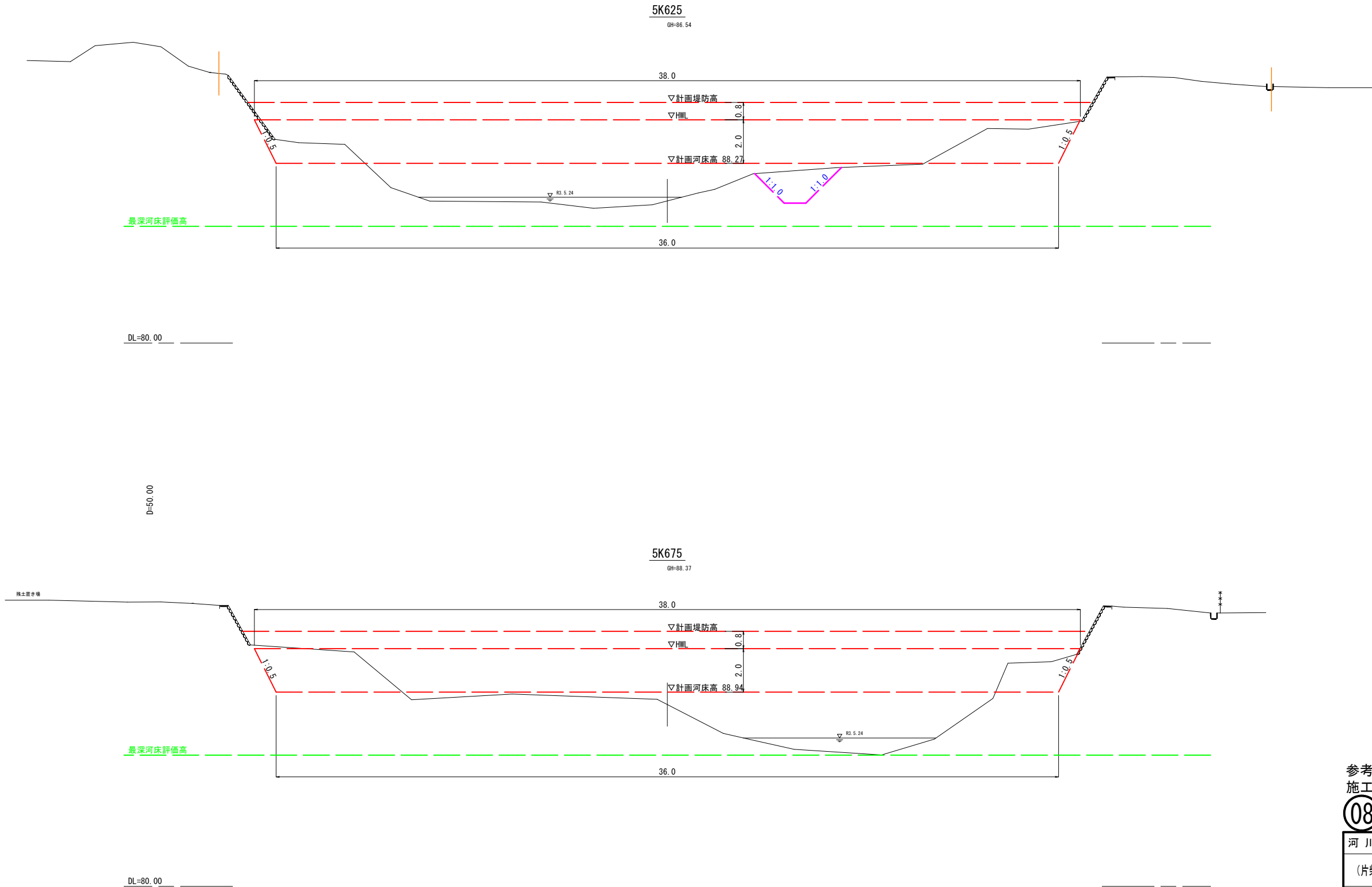
河川名	三徳川		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事(2工区)(交付金)			
図名	仮設工横断面図 ① $\left(\frac{2}{3}\right)$		
位置	東伯郡三朝町片柴		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全葉中の内		
令和 8 年度施行		鳥取県	
中部総合事務所 県土整備局			

測 点：5K625(左岸)			
種 別	単位	数 量	
掘 削	m2	-	
表土戻し	m2	-	
盛 土	m2	-	
①路体盛土(2.5>W)	m2	-	
②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-	
③路体盛土(4.0≤W)	m2	-	
床 掘	m2	-	
埋 戻	m2	-	
法面整形(盛土部)	m	-	

測 点：5K625(左岸)			
種 別	単位	数 量	
掘 削	m2	-	
表土戻し	m2	-	
盛 土	m2	-	
床 掘	m2	-	
埋 戻	m2	-	
敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	-	
遮水シート	m	-	

測 点：5K625(右岸)			
種 別	単位	数 量	
掘 削	m2	-	
表土戻し	m2	-	
盛 土	m2	-	
①路体盛土(2.5>W)	m2	-	
②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-	
③路体盛土(4.0≤W)	m2	-	
床 掘	m2	-	
埋 戻	m2	-	
法面整形(盛土部)	m	-	

測 点：5K625(右岸)			
種 別	単位	数 量	
掘 削	m2	-	
表土戻し	m2	-	
盛 土	m2	-	
床 掘	m2	3.7	
埋 戻	m2	-	
敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	-	
遮水シート	m	-	



参考図
施工 ① 5K625 , 5K675

08 公共 実施設計

河 川 名	三 徳 川		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	仮設工横断面図 ① 		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 葉中の内		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
中部総合事務所 県土整備局			

(令和8～9年度)

A1橋台・P1橋脚工事②

ステップ14 (3月下旬～5月下旬)

- 橋脚工事・護岸整形
・橋脚埋戻し (巨石張り)

・仮締切撤去

ステップ15 (3月下旬～5月下旬)

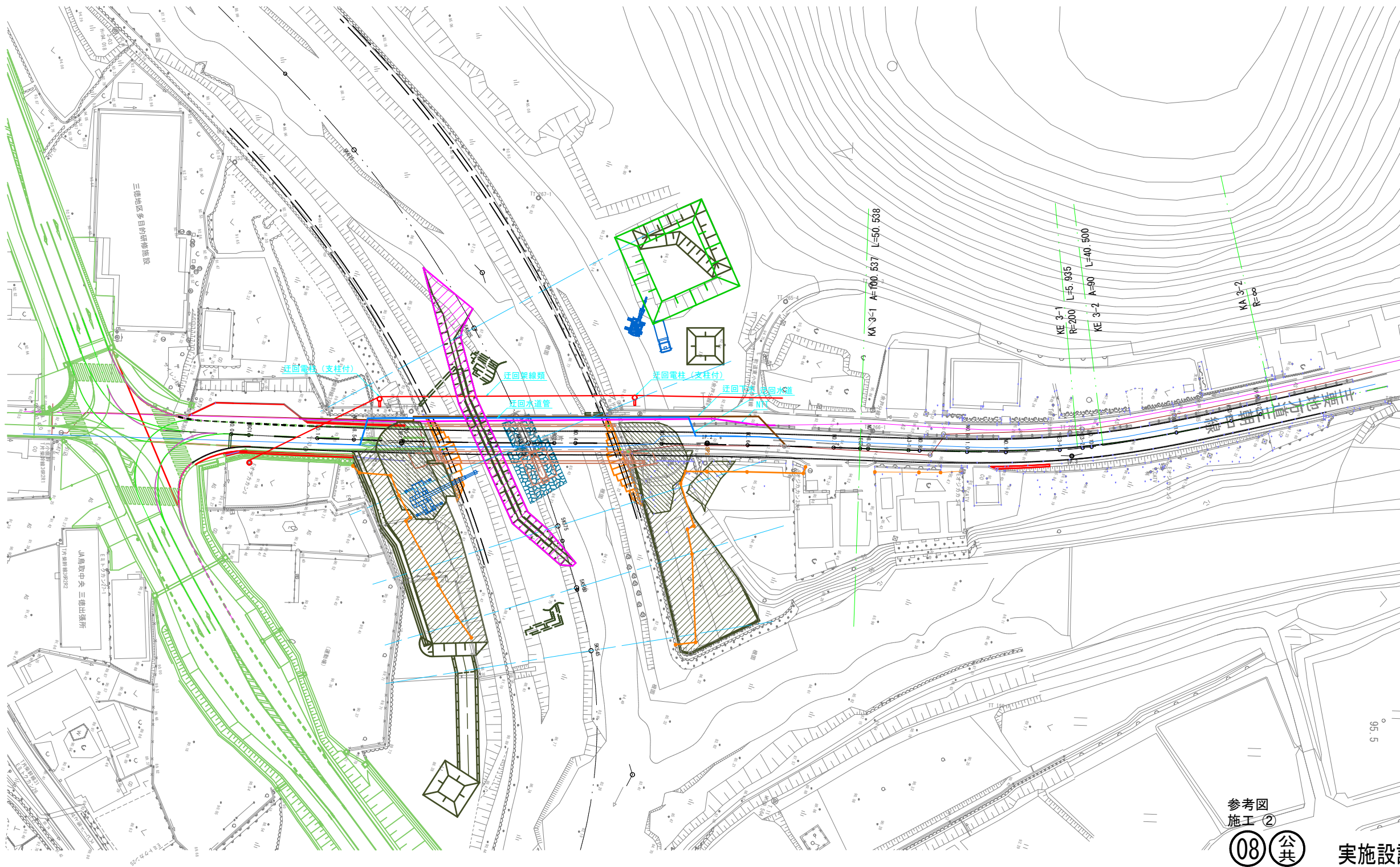
- 仮設撤去

・水路撤去・埋戻し
・進入路・沈砂池撤去

ステップ16 (5月下旬～6月下旬)

- 片付け
・片付け

注) 準備、片付けを除く
本施工は、非出水期間の
10月21日～6月9日に行うこと。



IP	IP.1
IA	3-00-44.96
R	1350.000
TL	35.498
CL	70.980
SL	0.467

IP	IP.2
IA	2-02-12.02
R	2000.000
TL	35.550
CL	71.093
SL	0.316

IPNO	IP.3		Y	2.126	1.366
KNO	3-1	3-2	Lc	2.108	
IA	14-44-26.075		CL	96.974	
R	200.000	200.000	TC	50.447	46.905
L	50.538	40.500	So	50.502	40.481
ΔR	0.532	0.342	W	25.914	
XM	25.256	20.243	A	100.537	90.000
X	50.458	40.459			

下水
上水
NTT

参考図
施工②

08 公共

実施設計

路 線 名	県道三朝中線		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)			
図 名	仮 設 工 平 面 図		
位 置	東伯郡三朝町片柴		
縮 尺	1:500	単 位	M
図 号	全 葉中の内		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
中部総合事務所 県土整備局			

※1. 地下埋設物の位置は、台帳による推定である。
実際の位置、深さ等は管理者立会のもと、試掘等を行い確認すること。

測 点：5K575(左岸)

種 別	単 位	数 量
掘 削	m2	0.8
表土戻し	m2	-
盛 土	m2	1.1
①路体盛土(2.5>W)	m2	-
②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
床 掘	m2	-
埋 戻	m2	-
法面整形(盛土部)	m	-

測 点：5K575(左岸)

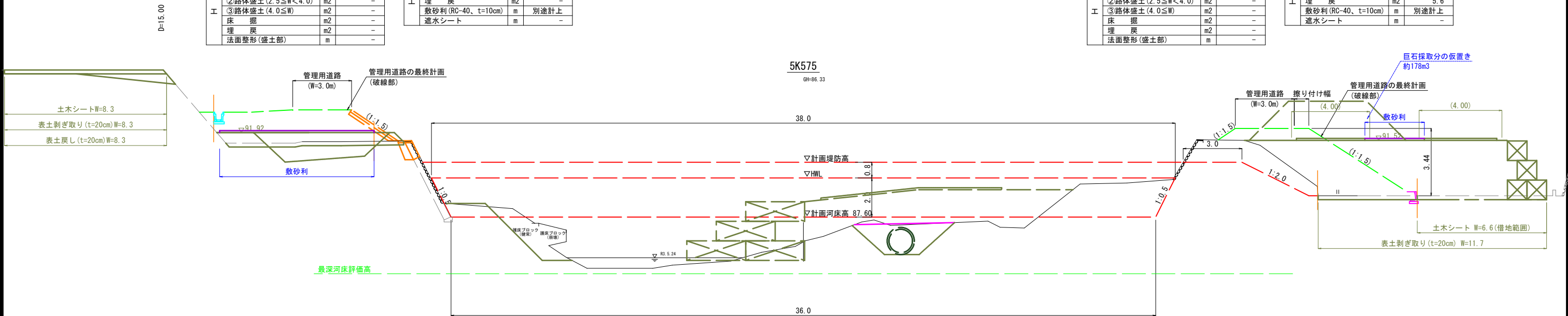
種 別	単 位	数 量
掘 削	m2	-
表土戻し	m2	-
盛 土	m2	-
床 掘	m2	-
埋 戻	m2	-
敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	別途計上
遮水シート	m	-

測 点：5K575(右岸)

種 別	単 位	数 量
掘 削	m2	-
表土戻し	m2	-
盛 土	m2	-
①路体盛土(2.5>W)	m2	-
②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
床 掘	m2	-
埋 戻	m2	-
法面整形(盛土部)	m	-

測 点：5K575(右岸)

種 別	単 位	数 量	(巨石仮置き分含む)
掘 削	m2	35.9	
表土戻し	m2	-	
盛 土	m2	-	
床 掘	m2	4.0	
埋 戻	m2	5.6	
敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	別途計上	
遮水シート	m	-	



測 点：5K595.484(左岸)

種 別	単 位	数 量
掘 削	m2	0.7
表土戻し	m2	-
盛 土	m2	1.0
①路体盛土(2.5>W)	m2	-
②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
床 掘	m2	-
埋 戻	m2	-
法面整形(盛土部)	m	-

測 点：5K595.484(左岸)

種 別	単 位	数 量
掘 削	m2	-
表土戻し	m2	-
盛 土	m2	-
床 掘	m2	-
埋 戻	m2	-
敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	-
遮水シート	m	-

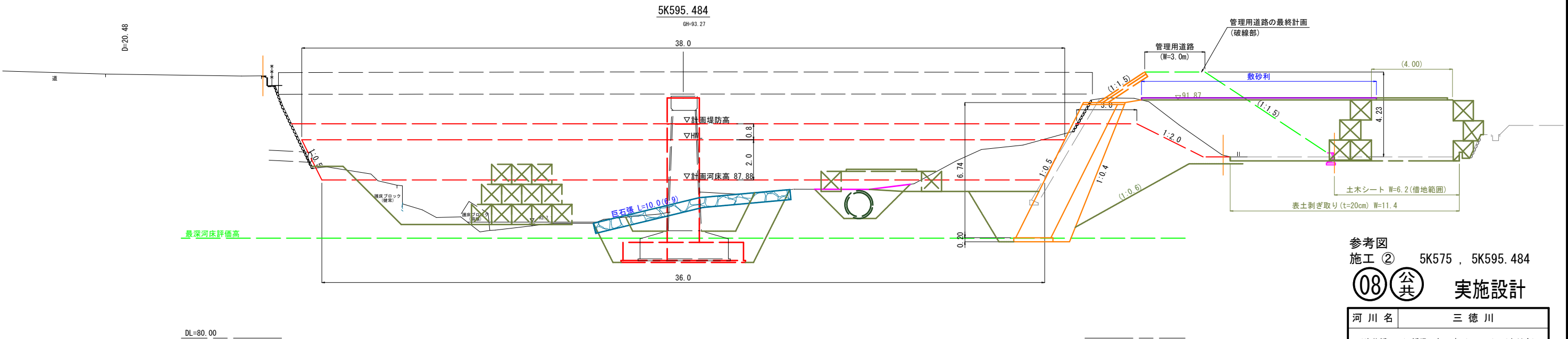
測 点：5K595.484(右岸)

種 別	単 位	数 量
掘 削	m2	-
表土戻し	m2	-
盛 土	m2	-
①路体盛土(2.5>W)	m2	-
②路体盛土(2.5≤W<4.0)	m2	-
③路体盛土(4.0≤W)	m2	-
床 掘	m2	-
埋 戻(橋脚)	m2	11.3(3.6)
法面整形(盛土部)	m	-

測 点：5K595.484(右岸)

種 別	単 位	数 量	(巨石仮置き分含む)
掘 削	m2	3.5	
表土戻し	m2	-	
盛 土	m2	-	
床 掘	m2	3.2	
埋 戻	m2	4.7	
敷砂利(RC-40、t=10cm)	m	別途計上	
遮水シート	m	-	

注意：()内は既設橋脚を示す。



参考図
施工 ② 5K575 , 5K595.484

08 公 共 実施設計

河 川 名		三 徳 川		
(片柴橋工区) 橋梁下部工事 (2工区) (交付金)				
図 名		仮設工横断面図 ② $\textcircled{\frac{2}{3}}$		
位 置		東伯郡三朝町片柴		
縮 尺		1:100	単 位	M
図 号		全 葉中の内		
令和 8 年度施行				鳥 取 県
中部総合事務所 県土整備局				